

事業年度	令和元年度
工事種別	改修工事（機械設備工事）
工事番号	地域工-1

工事名 川合地区センター空調・屋根防水他改修工事

---

◎注意事項

この内訳書の工事項目及び数量は、積算する上での参考資料です。  
積算の際は、設計図面にて工事項目及び数量を拾い出し積算して下さい。

可児市

市民部

地域振興課

当初 設計書

工事番号	地域工-1	工事箇所	可児市 川合 地内	施設名	川合地区センター
工事名	川合地区センター空調・屋根防水他改修工事				
理 由			工 事 概 要		
川合地区センターは建設時より20年以上経過しており、老朽化のため空調設備を更新する。また、上記機器が設けられている屋上についても同様に劣化がみられるため合わせて防水、屋根改修工事を実施する。			川合地区センター 延床面積：1529.3㎡ 機械設備工事 ・空調設備一式（全室） 建築工事 ・防水工事 屋上ウレタン防水X-1、X-2工法 ・屋根工事 鋼板パネル破風板巻き 軒、豎樋取り換え		
金 額		円	内消費税相当額		円
特 記 仕 様 書					
<p>1. 一般事項</p> <p>(1) 受注者は、工事請負契約書、可児市建設工事共通仕様書及び特記仕様書に基づき施工するものとする。なお、特記仕様書は共通仕様書に優先する。</p> <p>(2) 受注者は、本工事が「可児市工事品質証明実施要領」の対象となる場合、要領に基づき品質の証明を実施しなければならない。</p> <p>(3) 受注者は、受注時、変更時、完成時の各時点において工事請負代金額が500万円以上の工事について、工事実績情報システム(コリンズ)に基づき、受注・変更・完成・訂正時に工事実績情報として「登録のための確認のお願い」を提出し監督員の確認を受けた後に、受注時は契約後、土曜日、日曜日、祝日等を除き10日以内に、登録内容の変更時は変更があった日から、土曜日、日曜日、祝日等を除き10日以内に、完了時は完成後、土曜日、日曜日、祝日等を除き10日以内に、訂正時は適宜登録機関に登録申請をしなければならない。変更登録時は、工期、技術者に変更が生じた場合に行うものとし、工事請負代金のみの変更の場合は、原則として登録を必要としない。ただし、工事請負代金500万円未満に変更する場合には変更時登録を行うものとする。なお、変更時と完成時の間が10日間に満たない場合は、変更時の提示を省略できる。</p> <p>(4) 提出・提示書類は別添「可児市建設工事における取扱い書類一覧表」に基づき実施するものとする。また、工事打合簿(指示、協議、承諾は除く)、材料確認簿、夜間・休日作業届けの書類を提出する場合は、別添様式に基づき、電子メールにて提出するものとし、書面には署名または押印する必要はないものとする。これらに定めのない事項については、監督員と協議する。</p> <p>(5) 本工事において以下に示す建設機械を使用する場合は、「特定特殊自動車排出ガスの規制等に関する法律(平成27年6月改正法律第50号)」に基づく技術基準に適合する機械、または、「排出ガス対策型建設機械の普及促進に関する規定(最終改正平成24年3月23日付国土交通省告示第318号)」もしくは「第3次排出ガス対策型建設機械指定要領(最終改定平成23年7月13日付国総環第1号)」に基づき指定された排出ガス対策型建設機械(以下「排出ガス対策型建設機械等」という。)を使用しなければならない。 排出ガス対策型建設機械等を使用できないことを監督員が認めた場合は、平成7年度建設技術評価制度公募課題「建設機械の排出ガス浄化装置の開発」、またはこれと同等の開発目標で実施された民間開発技術の技術審査・証明事業もしくは、建設技術審査証明事業により評価された排出ガス浄化装置を装着した建設機械を使用することができ、これにより難しい場合は、監督員と協議するものとする。 排出ガス対策型建設機械あるいは排出ガス浄化装置を装着した建設機械を使用する場合、現場代理人は施工現場において使用する建設機械の写真撮影を行い、監督員に提出するものとする。</p>					
機 種			備 考		
一般工事中建設機械 ・バックホウ ・トラックシャベル(車輪式) ・ブルドーザ ・発動発電機(可搬式) ・空気圧縮機(可搬式) ・油圧ユニット (以下に示す基礎工事中用機械のうちベースマシンとは別に、独立したディーゼルエンジン駆動の油圧ユニットを搭載しているもの:油圧ハンマ、パイプロハンマ、油圧式鋼管圧入・引抜機、油圧式杭圧入引抜機、アースオーガ、オールケーシング掘削機、リバーサーキュレーションドリル、アースドリル、地下連続壁施工機、全回転型オールケーシング掘削機)			ティーゼルエンジン(エンジン出力7.5kw以上260kw以下)を搭載した建設機械に限る。		

- |  |  |
|--|--|
| •ローラー類<br>(ロードローラ、タイヤローラ、振動ローラ)<br>•ホイールクレーン |  |
|--|--|

## 2. 産業廃棄物の適正処理について

- (1) 受注者は、産業廃棄物が搬出される工事にあたっては、監督員の指示に従い、産業廃棄物関連書類の提出及び確認並びに処理施設の現地確認並びに建設廃棄物処理状況の管理を行い、産業廃棄物が最終処分に至るまで適正に処理されていることを確認しなければならない。
- (2) 建設発生土については、工事間流用とし、流用先は監督員が指示する。都合により工事間流用ができなくなった場合は、別途協議する。ただし、建設発生土が100m<sup>3</sup>未満の場合はこの限りではない。また受注者の都合により処分場を変更する時は監督員に報告するものとする。

## 3. 使用材料

- (1) アスファルト再生合材について  
本工事で使用するアスファルト再生合材には「ささゆりクリーンパーク溶融スラグ」を混入するものとし、使用にあたっては、「溶融スラグの土木資材への利用に関するガイドライン(可児市)」によること。
- (2) コンクリート二次製品について  
本工事に使用するコンクリート二次製品については、ささゆりクリーンパーク溶融スラグ混入資材を使用するものとし、施工前に溶出試験結果等の品質を証明する書類を提出し、監督員の許可を得ること。
- (3) 生コンクリートについて  
本工事に使用する生コンクリート(均しコンクリートを除く)については、水セメント比60%以下とし、品質を証明する書類を提出して、事前に監督員の許可を得ること。

## 4. 工事施工について

- (1) 契約書18条第1項第1号から5号に係る設計図書の照査を行い、監督員の確認を受けて施工を行うこと。
- (2) 受注者は、工事着手に先立ち、現場付近の地元住民等に対する周知、説明、説得等を行い、トラブルの生じないよう努めること。
- (3) 工事による既設構造物の破損については、未然に防止するよう予め十分調査をし、また、支障を及ぼさないよう相当の防護工を施工しなければならない。なお、誤って損傷を与えた場合は、請負人の責任において復旧しなければならない。調査に際しては、記録保存の必要を認めた場合は写真撮影、測量等を行わなければならない。
- (4) 工事着手前に、可児市基準点(世界測地系)を用い、境界(座標)を確認すること。また、特に指示しない限り、構造物を官民境界とするため、官民境界と構造物の位置を示した図面等にて施工した構造物が民地を侵していないことを報告すること。
- (5) 施工区間と現道との取付については、交通の支障とならないよう充分留意すること。
- (6) 必要に応じ交通誘導警備員を配置し、安全を期さなければならない。また、夜間の安全確保についても十分な対策を施すこと。

## 5. 工事保険について

本工事において、発注者、受注者及び全下請人を被保険者として、工事着手から工事目的物の引渡しまでの期間について、賠償責任保険(保険対象:第三者に与えた損害)及び工事保険(保険対象:工事目的物、工事材料及び仮設物等)に加入するものとする。

## 6. ワンデーレスポンスの取組について

- (1) この工事は、ワンデーレスポンス実施対象工事です。  
「ワンデーレスポンス」とは受注者からの質問、協議、報告、承諾願、立会願等への回答は、基本的に「その日のうち」に回答するよう対応することです。ただし、即日回答が困難な場合は、いつまでに回答が必要なのかを受注者と協議のうえ、回答期限を設けるなど、何らかの回答を「その日のうち」にすることとする。
- (2) 実施にあたっては、可児市工事監督におけるワンデーレスポンス実施要領に基づき実施する。
- (3) 受注者は工事施工中において、問題が発生した場合や計画工程と実施行程を比較照査し、差異が生じた場合は速やかに監督員へ報告すること。
- (4) 受注者は、施工計画書に基づいて適正な計画工程を作成し、工事の先々を予見しながら、施工するものとする。

## 7. 電子納品について

「岐阜県電子納品要領」等に基づき、電子納品を行うこと。なお、電子納品の内容については、監督員と事前に協議し、決定すること。

## 8. 暴力団等による不当介入における通報義務について

(1) 受注者は、契約の履行にあたって、暴力団又は暴力団員等から、事実関係及び社会通念等に照らして合理的な理由が認められない不当若しくは違法な要求又は契約の適正な履行を妨げる妨害を受けたときは、警察へ通報するとともに、可児市が行う契約からの暴力団排除に関する措置要綱(平成22年可児市訓令甲第47号)に定める様式第9号により可児市に報告しなければならない。なお、通報・報告がない場合は、可児市建設工事請負契約に係る指名停止措置要領に基づき、指名停止等の措置を行うことがある。

(2) 受注者は、暴力団又は暴力団員等による不当介入を受けたことにより、履行期間内に工事等を完了することができなときは、発注者に履行期間の延長変更を請求することができる。

9. 現場代理人の兼務について  
現場代理人は、工事請負契約約款第10条第2項の規定により、契約工期内の現場常駐が義務付けられているが、契約締結後、現場事務所の設置、資機材の搬入又は仮設工事等が開始されるまでの期間や、工事の全部の施工を一時中止している期間については、監督員との連絡体制を確保した上で、常駐義務を緩和するものとする。  
また、以下の条件を全て満たす場合に、他工事の現場代理人又は専任でない主任技術者を兼務することができる。
1. 他工事は、可児市発注の建設工事で、工事現場が市内であること。
  2. 他工事においても、本工事と同様に現場代理人の兼務を認めていること。
  3. 兼務を行う工事の総数が、本工事を含めて3件までであること。
  4. 兼務を行う工事の請負代金額の合計が2,500万円未満であること。
  5. 発注者又は監督員が求めた場合には、工事現場に速やかに向かう等の対応ができること。
- なお、工事現場における運営、取締り及び権限の行使に支障がある場合、及び、発注者との連絡体制が確保されていないと監督員の認めた場合は、兼務を取り消すものとする。  
現場代理人が兼務となった場合は、本工事の監督員及び他工事の監督員の双方に、現場代理人兼務届を提出しなければならない。
10. 主任技術者又は監理技術者の専任を要しない期間について  
請負契約の締結後、現場施工に着手するまでの期間（現場事務所の設置、資機材搬入、仮設工事等が開始されるまでの期間）については主任技術者または監理技術者の工事現場への専任を要しない。なお、現場施工に着手する日については、請負契約締結後、監督職員と打ち合わせにおいて定める。  
また、工事完成後、検査が終了し（発注者の都合により検査が遅延した場合は除く。）事務手続き、後片付け等のみが残っている期間については、主任技術者または監理技術者の工事現場への専任を要しない。なお、検査が終了した日は発注者が工事の完成を確認した旨、受注者に通知した日とする。
11. この契約の締結後、法令の改正等により、消費税法（昭和63年法律第108号）の規定による消費税及び地方税法（昭和25年法律第226号）の規定による地方消費税の額に変動が生じた場合は、発注者は、この契約を何ら変更することなく契約金額に相当額を加減して支払うものとする。
12. その他
- (1)施設利用の予約受付を4ヶ月前からとしているため、施設運営に影響のないよう事前協議を行うこと。  
（契約後直ちに工事着手できない場合は、上記9.10.を適用する。）
  - (2)工事期間中の仮設計画（安全管理区分等）を事前に作成し、工事着手前に監督員に提出し承諾を得ること。
  - (3)メーカー、施工者の連名で防水保証書（10年）を提出すること。
  - (4)この特記事項以外は下記に準拠する。但し、本工事に関係しない事項は適用しない。
    - ・国土交通省大臣官房官庁営繕部監修 公共建築改修工事標準仕様書（建築・機械設備工事編）平成28年度版
    - ・国土交通省大臣官房官庁営繕部監修 公共建築工事標準仕様書（建築・機械設備工事編）平成28年度版

その他図面特記仕様書による。

記号	工 事 名 称	摘 要	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
	川合地区センター空調・屋根防水他改修工事						
A	建築工事		1.0	式			
M	機械設備工事		1.0	式			
I	直接工事費 計		1.0	式			
II	共通仮設費		1.0	式			
	純工事費 計						
III	現場管理費		1.0	式			
	工事原価 計						
IV	一般管理費等負担額		1.0	式			
	工事価格 計						
V	消費税相当額		1.0	式			
	総 合 計						

	名 称	内 容	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
	川合地区センター空調・屋根防水他改修工事						
M	機械設備工事						
I	空調改修工事		1.0	式			
	計						
A	建築工事						
II	屋上防水改修工事		1.0	式			
III	屋根改修工事		1.0	式			
	計						
	細目工事費 計						

	名 称	内 容	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
I	空調改修工事						
1	機器設備		1.0	式			
2	配管設備		1.0	式			
3	ダクト設備		1.0	式			
4	換気設備		1.0	式			
5	電気設備		1.0	式			
6	付帯工事		1.0	式			
7	廃材運搬処分費		1.0	式			
	細目工事費 計						

	名 称	内 容	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
1	機器設備						
	空冷ヒートポンプツインエアコン	ACP-01 10馬力相当 天吊露出	1.0	組			
		冷房能力 25.0KW 暖房能力 28.0KW					
		室内機 2台 (冷)12.5kw (暖)14.0kw					
		ワイヤードリモコンx1個					
	同上搬入費		1.0	式			
	同上据付費		1.0	式			
	空冷ビルマルチエアコン 室外機	ACP-02 16馬力相当	1.0	台			
		冷暖切替リニューアルタイプ 消費電力 12.89Kw					
		冷房能力 45.0KW 暖房能力 50.0KW					
	同上搬入費		1.0	式			別紙明細03
	同上据付費		1.0	式			別紙明細04
	空冷ビルマルチエアコン 室内機	ACP-02 CK2-56	2.0	台			
		冷房能力 5.6KW 暖房能力 6.3KW					
		ワイヤードリモコンx1個					
	同上据付費		1.0	式			別紙明細05



名 称	内 容	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
空冷ビルマルチエアコン 室内機	ACP-02 CID-140	1.0	台			
	冷房能力 14.0KW 暖房能力 16.0KW					
	ワイヤードリモコンx1個					
同上据付費		1.0	式			別紙明細06
空冷ビルマルチエアコン 室内機	ACP-02 CK2-71	2.0	台			
	冷房能力 7.1KW 暖房能力 8.0KW					
	ワイヤードリモコンx1個					
同上据付費		1.0	式			別紙明細07
空冷ヒートポンプツインエアコン	ACP-03 10馬力相当 天井カセット2方向吹出形	2.0	台			
	冷房能力 25.0KW 暖房能力 28.0KW					
	室内機 2台 (冷)12.5kw (暖)14.0kw					
同上搬入費		1.0	式			別紙明細08
同上据付費		1.0	式			別紙明細09
ACP-03系統用ワイヤードリモコン		1.0	個			
空冷ヒートポンプペアエアコン	ACP-04 4馬力相当 天井埋込ダクト吹出し	2.0	台			
	冷房能力 10.0KW 暖房能力 11.2KW					
	ワイヤードリモコンx2個					

	名 称	内 容	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
	同上搬入費		1.0	式			別紙明細10
	同上据付費		1.0	式			別紙明細11
	空冷ヒートポンプツインエアコン	ACP-05 10馬力相当 天井カセット2方向吹き出し	1.0	台			
		冷房能力 25.0KW 暖房能力 28.0KW					
		室内機 2台 (冷)12.5kw (暖)14.0kw					
		ワイヤードリモコンx1個					
	同上搬入費		1.0	式			別紙明細12
	同上据付費		1.0	式			別紙明細13
	空冷ヒートポンプペアエアコン	ACP-06 4馬力相当 天井埋込ダクト吹き出し	2.0	台			
		冷房能力 10.0KW 暖房能力 11.2KW					
	同上搬入費		1.0	式			別紙明細10
	同上据付費		1.0	式			別紙明細11
	ACP-06系統用ワイヤードリモコン		1.0	個			
	空冷ビルマルチエアコン 室外機	ACP-07 6馬力相当	1.0	台			
		冷暖切替リニューアルタイプ 消費電力 4.43Kw					
		冷房能力 16.0KW 暖房能力 18.0KW					
	同上搬入費		1.0	式			別紙明細14

名 称	内 容	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
同上据付費		1.0	式			別紙明細15
空冷ビルマルチエアコン 室内機	ACP-07 CK2-80	2.0	台			
	冷房能力 8.0KW 暖房能力 9.0KW					
	ワイヤードリモコンx2個					
同上据付費		1.0	式			別紙明細16
空冷ビルマルチエアコン 室外機	ACP-08 20馬力相当	1.0	台			
	冷暖切替リニュアルタイプ 消費電力 16.42Kw					
	冷房能力 56.0KW 暖房能力 63.0KW					
同上搬入費		1.0	式			別紙明細17
同上据付費		1.0	式			別紙明細18
空冷ビルマルチエアコン 室内機	ACP-08 CID-140	4.0	台			
	冷房能力 14.0KW 暖房能力 16.0KW					
同上据付費		1.0	式			別紙明細19
ACP用ワイヤードリモコン		2.0	個			

	名 称	内 容	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
	空冷ヒートポンプツインエアコン	ACP-09 8馬力相当 天井カセット2方向吹き出し	1.0	台			
		冷房能力 20.0KW 暖房能力 22.4KW					
		室内機 2台 (冷)10.0kw (暖)11.2kw					
		ワイヤードリモコンx1個					
	同上搬入費		1.0	式			別紙明細20
	同上据付費		1.0	式			別紙明細21
	空冷ビルマルチエアコン 室外機	ACP-10 16馬力相当	2.0	台			
		冷暖切替リニュアルタイプ 消費電力 12.89Kw					
		冷房能力 45.0KW 暖房能力 50.0KW					
	同上搬入費		1.0	式			別紙明細22
	同上据付費		1.0	式			別紙明細23
	空冷ビルマルチエアコン 室内機	ACP-10 FIV-224	4.0	台			
		冷房能力 22.4KW 暖房能力 25.0KW					
	同上据付費		1.0	式			別紙明細24
	ACP-10用ワイヤードリモコン		1.0	個			
	集中リモコン		2.0	個			
	既設機器撤去費		1.0	式			別紙明細25

	名 称	内 容	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
	既設媒ガス回収および破壊処理費		1.0	式			別紙明細26
	小計						
	改め計						

	名 称	内 容	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
2	配管設備						
	冷媒配管(液管)	保温付銅管 φ6.4	1.0	m			
	冷媒配管(液管)	保温付銅管 φ9.5	17.0	m			
	冷媒配管(液管)	保温付銅管 φ12.7	4.0	m			
	冷媒配管(ガス管)	保温付銅管 φ12.7	1.0	m			
	冷媒配管(ガス管)	保温付銅管 φ15.9	14.0	m			
	冷媒配管(ガス管)	保温付銅管 φ19.1	2.0	m			
	冷媒配管(ガス管)	保温付銅管 φ22.2	1.0	m			
	冷媒配管(ガス管)	保温付銅管 φ25.4	3.0	m			
	冷媒配管(ガス管)	保温付銅管 φ31.8	2.0	m			
	冷媒配管(ガス管)	保温付銅管 φ38.1	1.0	m			
	ドレン管	屋内一般 JIS-K-6741 VP 30A	2.0	m			
	ドレン管	屋内一般 JIS-K-6741 VP 30A	13.0	m			
	保温工事	内部:GW保温筒、外部:SUS 撤去共	1.0	式			
	既設管切断費		1.0	式			



	名 称	内 容	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
3	ダクト設備						
	天井吊ダクト吹室内機接続ダクト	グラスウールダクト(補強あり)	50.0	m <sup>2</sup>			
	床置ダクト吹室内機接続継手	キャンバス継手	17.0	m			
	既設ダクト類撤去費		1.0	式			別紙明細29
	小計						
	改め計						



	名 称	内 容	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
4	換気設備						
	ホール 排風機	FE-1 消音形 ストレートシロッコ #13/4x1420CMHx0.49kW	2.0	台			別紙明細30
	料理教室 排風機	FE-2 消音形 ストレートシロッコ #13/4x2890CMHx1.075kW	1.0	台			別紙明細31
	排風機	FE-3 消音形 ストレートシロッコ #11/4x 350CMHx0.073kW	3.0	台			別紙明細32
	考古資料館 排風機	FE-4 消音形 ストレートシロッコ #11/2x 800CMHx0.195kW	1.0	台			別紙明細33
	倉 庫 排風機	FE-5 壁付 換気扇 羽根径 200φ 排気量 600CMH	1.0	台			別紙明細34
	湯沸室 排風機	FE-6 天井扇 低騒音形 150φx510CMHx50W VC(SUS)付	3.0	台			別紙明細35
	器具庫 排風機	FE-7 天井扇 低騒音形 100φx170CMHx24W VC(SUS)付	1.0	台			別紙明細36
	女子便所 排風機	FE-8 天井扇 低騒音形 150φx450CMHx88W VC(SUS)付	1.0	台			別紙明細37
	男子便所 排風機	FE-9 天井扇 低騒音形 150φx450CMHx88W VC(SUS)付	1.0	台			別紙明細38
	身障者便所 排風機	FE-10 天井扇 低騒音形 150φx120CMHx46W VC(SUS)付	1.0	台			別紙明細39
	排風機	FE-11 天井扇 インテリア形 150φx350CMHx62W VC(SUS)付	5.0	台			別紙明細40
	倉 庫 排風機	FE-12 天井扇 低騒音形 100φx 30CMHx10W VC(SUS)付	1.0	台			別紙明細41
	和室水屋 排風機	FE-13 天井扇 低騒音形 150φx100CMHx28W VC(SUS)付	1.0	台			別紙明細42
	事務室 排風機	FE-15 天井扇 低騒音形 150φx200CMHx28W VC(SUS)付	1.0	台			別紙明細44
	料理教室 給気用送風機	FS-1 消音形 ストレートシロッコ #13/4x3000CMHx1.075kW	1.0	台			別紙明細45

	名 称	内 容	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
	送風機接続用キャンバス継手	保温なし たわみ継手	1.0	式			別紙明細46
	既設機器類撤去費		1.0	式			別紙明細47
	小計						
	改め計						

	名 称	内 容	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
5	電気設備						
	動力制御盤	屋外自立型 SUS P-10	1.0	面			別紙明細48
	動力制御盤	屋外自立型 SUS P-11	1.0	面			別紙明細49
	動力制御盤	屋外自立型 SUS P-20	1.0	面			別紙明細50
	ケーブル	EM-CET 100° 管内	18.0	m			
	ケーブル	EM-CET 38° 管内	12.0	m			
	ケーブル	EM-CET 22° 管内	12.0	m			
	ケーブル	EM-CET 14° 管内	40.0	m			
	ケーブル	EM-CE 8° -3C 管内	6.0	m			
	ケーブル	EM-CE 5.5° -3C 管内	57.0	m			
	ケーブル	EM-CEE-S 1.25° -3C 天井コロガシ	233.0	m			
	ケーブル	EM-CEE-S 1.25° -3C PF内	23.0	m			
	電線	EM-IE 38°	18.0	m			
	電線	EM-IE 14°	23.0	m			
	電線	EM-IE 8°	32.0	m			
	電線	EM-IE 5.5°	6.0	m			
	電線	EM-IE 2°	32.0	m			

	名 称	内 容	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
	電線管	PE(70) 屋外露出	35.0	m			
	電線管	PE(42) 屋外露出	4.0	m			
	電線管	PE(36) 屋外露出	3.0	m			
	電線管	PE(28) 屋外露出	16.0	m			
	電線管	PE(22) 屋外露出	32.0	m			
	金属製可とう電線管	ビニル被覆あり F(38)	4.0	個			
	金属製可とう電線管	ビニル被覆あり F(30)	5.0	個			
	金属製可とう電線管	ビニル被覆あり F(24)	5.0	個			
	プルボックス	防水 SUS 500x500x300	1.0	個			
	プルボックス	防水 SUS 400x400x200	1.0	個			
	プルボックス	SS 500x500x300	1.0	個			
	器具取付費	空調リモコンスイッチ	1.0	式			別紙明細51
	既設器材撤去費		1.0	式			別紙明細52
	室内機、送排風機等結線費	改修	1.0	式			別紙明細55
	小計						
	改め計						

	名 称	内 容	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
6	付帯工事						
	軽量鉄骨天井下地 撤去		78.0	m2			
	軽量鉄骨天井下地 新設		78.0	m2			
	天井ボード張り -1	せっこうボード9.5t +ロックウール吸音板12t	40.0	m2			
	天井ボード張り -2	クロス貼下地せっこうボード9.5t	22.0	m2			
	天井ボード張り -3	化粧せっこうボード化粧9.5t	8.0	m2			
	天井ボード張り -4	けい酸カルシウム板 6t 貼	8.0	m2			
	ビニルクロス 張替え		238.0	m2			
	既設天井仕上材撤去	照明器具、吸込・吹出口類	78.0	m2			
	作業足場		1.0	式			別紙明細54
	器材搬入開口改修	屋根裏	1.0	式			別紙明細53
	床等養生費	屋内:294m2、屋上:(75.0+8.0)m <sup>2</sup>	377.0	m2			
	天井器具取外し再取付	照明器具、吸込・吹出口類	1.0	式			別紙明細56
	小計						
	改め計						

	名 称	内 容	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
7	廃材運搬処分費						
	廃材積込運搬費		31.3	m3			
	廃材処分費		31.3	m3			
	電線ケーブル類		157.2	kg			
	小計						
	改め計						

	名 称	内 容	数 量	单 位	单 価	金 額	備 考
II	屋上防水改修工事						
1	防水箇所①		1.0	式			
2	防水箇所②		1.0	式			
3	防水箇所③		1.0	式			
4	防水箇所④		1.0	式			
	細目工事費 計						

	名 称	内 容	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
1	防水箇所①						
	既存アスファルト防水不具合部補修	切開・炙り戻し 高圧洗浄含む	1.0	式			
	アスファルト活性剤塗布	平場のみ	7.9	m <sup>2</sup>			
	ウレタン塗膜防水	X-1工法 DPワングード・ゼロTVJ-OZ3F 遮熱仕上 同等仕様	7.9	m <sup>2</sup>			
	改修用ドレン設置	縦φ100	1.0	箇所			
	脱気筒設置	SUS	1.0	箇所			
	既存アルミ笠木撤去・復旧	巾350mm	6.5	m			
	立上がり端部 押え金物撤去	処分含む	6.5	m			
	立上がり既存防水層撤去	処分含む	5.9	m <sup>2</sup>			
	樹脂モルタル塗り	エポキシ系樹脂モルタル	5.9	m <sup>2</sup>			
	ウレタン塗膜防水	X-2工法 DPワングード・ゼロ OZW-2CF 遮熱仕上 同等仕様	5.9	m <sup>2</sup>			
	小計						
	改め計						



	名 称	内 容	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
2	防水箇所②						
	既存アスファルト防水不具合部補修	切開・炙り戻し 高圧洗浄含む	1.0	式			
	アスファルト活性剤塗布	平場のみ	7.7	m <sup>2</sup>			
	ウレタン塗膜防水	X-1工法 DPワングード・ゼロTVJ-OZ3F 遮熱仕上 同等仕様	7.7	m <sup>2</sup>			
	改修用ドレン設置	縦φ100	1.0	箇所			
	脱気筒設置	SUS	1.0	箇所			
	既存アルミ笠木撤去・復旧	巾350mm	6.3	m			
	立上がり端部 押え金物撤去	処分含む	6.3	m			
	立上がり既存防水層撤去	処分含む	5.7	m <sup>2</sup>			
	樹脂モルタル塗り	エポキシ系樹脂モルタル	5.7	m <sup>2</sup>			
	ウレタン塗膜防水	X-2工法 DPワングード・ゼロ OZW-2CF 遮熱仕上 同等仕様	5.7	m <sup>2</sup>			
	小計						
	改め計						

	名 称	内 容	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
3	防水箇所③						
	既存アスファルト防水不具合部補修	切開・炙り戻し 高圧洗浄含む	1.0	式			
	アスファルト活性剤塗布	平場のみ	70.2	m <sup>2</sup>			
	ウレタン塗膜防水	X-1工法 DPフンガード・ゼロTVJ-OZ3F 遮熱仕上 同等仕様	70.2	m <sup>2</sup>			
	改修用ドレン設置	縦φ100	2.0	箇所			
	脱気筒設置	SUS	1.0	箇所			
	既存瓦、アルミ笠木撤去・復旧	巾350mm	37.4	m			
	立上がり端部 押え金物撤去	処分含む	37.4	m			
	立上がり既存防水層撤去	処分含む	24.3	m <sup>2</sup>			
	樹脂モルタル塗り	エポキシ系樹脂モルタル	24.3	m <sup>2</sup>			
	ウレタン塗膜防水	X-2工法 DPフンガード・ゼロ OZW-2CF 遮熱仕上 同等仕様	24.3	m <sup>2</sup>			
	小計						
	改め計						

	名 称	内 容	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
4	防水箇所④						
	既存アスファルト防水不具合部補修	切開・炙り戻し 高圧洗浄含む	1.0	式			
	アスファルト活性剤塗布	平場のみ	238.3	m <sup>2</sup>			
	ウレタン塗膜防水	X-1工法 DPフンガード・ゼロTVJ-OZ3F 遮熱仕上 同等仕様	238.3	m <sup>2</sup>			
	改修用ドレン設置	縦φ100	4.0	箇所			
	脱気筒設置	SUS	4.0	箇所			
	既存瓦、アルミ笠木撤去・復旧	巾350mm	22.6	m			
	立上がり端部 押え金物撤去	処分含む	22.6	m			
	立上がり既存防水層撤去	処分含む	22.6	m			
	樹脂モルタル塗り	エポキシ系樹脂モルタル 2回塗り	69.4	m <sup>2</sup>			
	ウレタン塗膜防水	X-2工法 DPフンガード・ゼロ OZW-2CF 遮熱仕上 同等仕様	69.4	m <sup>2</sup>			
	防水層端部シーリング処理	MS-1、処分費含む	93.3	m			
	配管用ブロック取外し・再取付け		1.0	式			
	小計						
	改め計						

	名 称	内 容	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
Ⅲ	屋根改修工事						
	破風鋼板巻き	平側 角納め含む GLカラーt0.4	1.0	式			別紙明細57
	破風鋼板巻き	妻側 角納め含む GLカラーt0.4	1.0	式			別紙明細58
	軒樋	前高130 角	1.0	式			別紙明細59
	軒金物	ピッチ800 SUS	440.0	ヶ			
	落とし口	100φ 塩ビ	24.0	ヶ			
	落とし口	75φ 塩ビ	7.0	ヶ			
	縦樋	105φ SUS エルボ、ソケット含む	1.0	式			別紙明細60
	縦樋	VU100φ エルボ含む	1.0	式			別紙明細61
	縦樋	VU75φ エルボ含む	1.0	式			別紙明細62
	縦樋	80φ SUS エルボ、ソケット含む	1.0	式			別紙明細63
	縦樋	VU75φ エルボ、スライドエルボ含む	1.0	式			別紙明細64
	縦樋金物		3.0	ヶ			
	既設樋撤去		1.0	式			
	荷揚げ費		1.0	式			
	枠組足場	建地幅600mm 高さ12m未満	1,052.2	m <sup>2</sup>			
	処分費		1.0	式			





















	名 称	内 容	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
別紙25	既設機器撤去費						
	ACP-1 空冷ヒートポンプ 室外機 (25.0KW) 搬出	25.0kW 容積:1.55m3 質量:240kg	0.24	ton			
	ACP-1 空冷ヒートポンプ 室外機 撤去	25.0kW	1.0	台			
	ACP-1 空冷ヒートポンプ 室内機 撤去	天井吊形 12.5kW	2.0	台			
	ACP-2 空冷ヒートポンプ 室外機 (45.0KW) 搬出	45.0kW 容積:3.27m3 質量:530kg	0.53	ton			
	ACP-2 空冷ヒートポンプ 室外機 撤去	45.0kW	1.0	台			
	ACP-2 空冷ヒートポンプ 室内機 撤去	天吊カセット形 5.6kW	2.0	台			
	ACP-2 空冷ヒートポンプ 室内機 撤去	天井埋込ダクト外吹形 14.0kW	1.0	台			
	ACP-2 空冷ヒートポンプ 室内機 撤去	天吊カセット形 7.1kW	2.0	台			
	ACP-3 空冷ヒートポンプ 室外機 (25.0KW) 搬出	25.0kW 容積:1.55m3 質量:240kg	0.48	ton			2台
	ACP-3 空冷ヒートポンプ 室外機 撤去	25.0kW	2.0	台			
	ACP-3 空冷ヒートポンプ 室内機 撤去	天吊カセット形 12.5kW	4.0	台			
	ACP-4 空冷ヒートポンプ 室外機 撤去	10.0kW 質量: 96kg	2.0	台			
	ACP-4 空冷ヒートポンプ 室内機 撤去	天井埋込ダクト外吹形 10.0kW	2.0	台			
	ACP-5 空冷ヒートポンプ 室外機 (25.0KW) 搬出	25.0kW 容積:1.55m3 質量:240kg	0.24	ton			
	ACP-5 空冷ヒートポンプ 室外機 撤去	25.0kW	1.0	台			
	ACP-5 空冷ヒートポンプ 室内機 撤去	天吊カセット形 12.5kW	4.0	台			



































	名 称	内 容	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
別紙52	既設器材撤去費						
	既設動力盤 P10	動力負荷	1.0	式			
	既設動力盤 P11	動力負荷	1.0	式			
	既設動力盤 P11	動力負荷	1.0	式			
	ケーブル	CVT100° 管内	9.0	m			
	ケーブル	CV 38° -3C 管内	20.4	m			
	ケーブル	CV 14° -3C 管内	54.6	m			
	ケーブル	CV 8° -3C 管内	7.6	m			
	ケーブル	CV 5.5° -3C 管内	61.2	m			
	ケーブル	CVV-S 1.25° -3C 天井コロガシ	233.1	m			
	ケーブル	CVV-S 1.25° -3C PF管内	23.0	m			
	電線	IV 38° 管内	9.0	m			
	電線	IV 14° 管内	20.4	m			
	電線	IV 8° 管内	42.1	m			
	電線	IV 5.5° 管内	7.6	m			
	電線	IV 2° 管内	23.7	m			
	電線管	VE(70)	31.0	m			

















特記仕様書  
(条件明示)

工事名 川合地区センター空調・屋根防水他改修工事

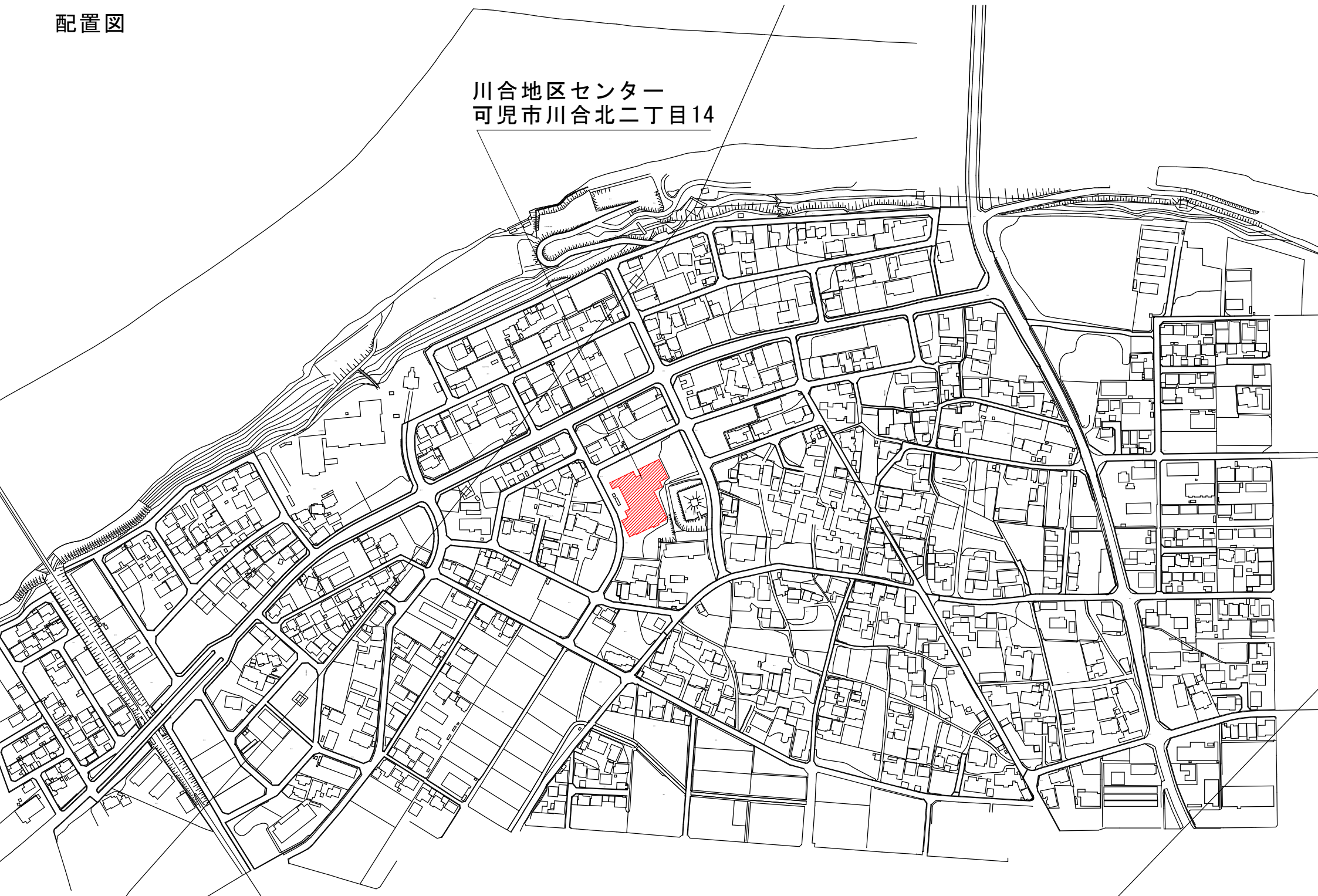
下記項目、事項のうちレ印該当欄は、工事施工にあたって制約等をうけることになるので明示する。  
なお、明示事項に変更が生じた場合及び明示されていない制約等が発生したときは、市と協議し適切な処置を講ずるものとする。

施工条件	明示事項	制約条件等		
工 程	<input type="checkbox"/> 1. 関連する別途発注工事あり	<input type="checkbox"/> A. 工種 ( ) <input type="checkbox"/> B. 期間 ( ~ )		
	<input type="checkbox"/> 2. 他機関協議による工程条件あり	<input type="checkbox"/> A. 工種 ( ) <input type="checkbox"/> B. 期間 ( ~ )		
	<input type="checkbox"/> 3. 他機関との協議状況	<input type="checkbox"/> A. 協議済機関及び内容 ( ) <input type="checkbox"/> B. 未協議機関及び内容 ( )		
	<input type="checkbox"/> 4. 占用許可状況 ( )	<input type="checkbox"/> A. 許可済 <input type="checkbox"/> B. 申請中		
	<input type="checkbox"/> 5. 建築確認	<input type="checkbox"/> A. 許可済 <input type="checkbox"/> B. 申請中		
	<input type="checkbox"/> 6. 河川区域、保全区域内作業あり	<input type="checkbox"/> A. 許可済 <input type="checkbox"/> B. 申請中		
	<input type="checkbox"/> 7. 文化財協議 (教育文化財課)	<input type="checkbox"/> A. 協議済内容 ( ) <input type="checkbox"/> B. 未協議内容 ( )		
	<input checked="" type="checkbox"/> 8. その他	<input checked="" type="checkbox"/> A. その他 ( 施工日時は施設管理者と協議すること )		
用 地	<input type="checkbox"/> 1. 用地補償物件撤去まで着工制限あり	<input type="checkbox"/> A. 区間 (N.C. ~ NO. ) <input type="checkbox"/> B. 着工見込時期 ( ) <input type="checkbox"/> C. 内容 ( )		
	<input type="checkbox"/> 2. 工事用地の未買取	<input type="checkbox"/> A. 場所 ( ) <input type="checkbox"/> B. 処理の見込み時期 ( ) <input type="checkbox"/> C. 未買収地への立ち入り可否 ( )		
	<input type="checkbox"/> 3. 仮設ヤードの有無	<input type="checkbox"/> A. 官有地 <input type="checkbox"/> B. 民有地 <input type="checkbox"/> C. その他 ( ) <input type="checkbox"/> D. 別途協議		
	<input type="checkbox"/> 4. その他	<input type="checkbox"/> A. その他 ( )		
	公 害 対 策	<input type="checkbox"/> 1. 施工方法の制限あり	<input checked="" type="checkbox"/> A. 騒音 (利用者に支障がないよう配慮すること) <input checked="" type="checkbox"/> B. 振動 (利用者に支障がないよう配慮すること) <input type="checkbox"/> C. 水質 ( ) <input type="checkbox"/> D. その他 ( )	
		<input checked="" type="checkbox"/> 2. 事業損失防止に関する調査あり	<input type="checkbox"/> A. 調査の項目 ( )	
		<input type="checkbox"/> 3. 環境影響調査あり	<input type="checkbox"/> A. 生物・植物調査あり <input type="checkbox"/> B. アスベスト含有材あり <input type="checkbox"/> C. フロン回収あり <input type="checkbox"/> D. その他 ( )	
		<input type="checkbox"/> 4. その他	<input type="checkbox"/> A. 調査の項目 ( )	
		安 全 対 策	<input type="checkbox"/> 1. 交通規制あり	<input type="checkbox"/> A. 全面通行止め <input type="checkbox"/> B. 片側通行止め <input type="checkbox"/> C. 時間制限あり ( )
			<input type="checkbox"/> 2. 通学路あり	<input type="checkbox"/> A. 迂回路あり <input type="checkbox"/> B. 仮設歩道必要
			<input type="checkbox"/> 2. 交通整理員	<input type="checkbox"/> A. 区間 (N.C. ~ ) 配置人員 人/日 <input type="checkbox"/> B. 区間 ( ) 配置人員 人/日 <input type="checkbox"/> C. 区間 (N.C. ~ ) 配置人員 人/日 <input type="checkbox"/> D. 交替要員あり
			<input type="checkbox"/> 3. 鉄道等の近接作業制限あり	<input type="checkbox"/> A. 工法制限あり ( ) <input type="checkbox"/> B. 作業時間制限あり ( )
<input type="checkbox"/> 4. バス路線 (運行者との協議)	<input type="checkbox"/> A. 協議済内容 ( ) <input type="checkbox"/> B. 未協議内容 ( )			
<input type="checkbox"/> 5. その他	<input type="checkbox"/> A. その他 ( )			
工 事 用 道 路	<input type="checkbox"/> 1. 一般道路 (搬入路) の使用制限		<input type="checkbox"/> A. 搬入経路指定あり <input type="checkbox"/> B. 時間帯制限あり	
	<input type="checkbox"/> 2. 仮設道路の設置条件あり		<input type="checkbox"/> A. 一般交通供用あり <input type="checkbox"/> B. 安全施設必要 ( ) <input type="checkbox"/> C. 路面工 ( ) <input type="checkbox"/> D. 工事完了後存続又は撤去 ( ) <input type="checkbox"/> E. 構造 ( ) <input type="checkbox"/> F. 用地 (借地) <input type="checkbox"/> G. 用地 (公用地) <input type="checkbox"/> H. 用地 (その他) <input type="checkbox"/> A. その他 ( )	
	<input type="checkbox"/> 3. その他		<input type="checkbox"/> A. その他 ( )	
	指 定 仮 設 備		<input type="checkbox"/> 1. 仮設物の指定又は一部指定あり	<input type="checkbox"/> A. 工種 ( )
			<input type="checkbox"/> 2. 仮設構造物の転用、兼用あり	<input type="checkbox"/> A. 工種 ( ) <input type="checkbox"/> B. 内容 ( )
			<input type="checkbox"/> 3. その他	<input type="checkbox"/> A. その他 ( )

明示項目	明示事項	制約条件等
建 設 発 生 土 建 設 ( 産 業 ) 廃 棄 物 関	<input type="checkbox"/> 1. 発生土砂等の有効利用、適正処理あり [場所が未確定]	<input type="checkbox"/> A. 運搬距離 ( Km ) <input type="checkbox"/> B. 投棄料計上あり <input type="checkbox"/> C. 整地 ( 押土、敷均、締固等 ) 必要 <input type="checkbox"/> D. 整地 ( 押土 ) 必要
	<input type="checkbox"/> 2. 発生土砂等の有効利用、適正処理あり [自工事へ流用]	<input type="checkbox"/> A. 盛土、埋戻 <input type="checkbox"/> B. ストックヤード利用あり ( ) <input type="checkbox"/> C. 仮置場必要 ( ) <input type="checkbox"/> D. 運搬距離 ( Km ) <input type="checkbox"/> E. 仮置場の用地借上費計上あり
	<input type="checkbox"/> 3. 発生土砂等の有効利用、適正処理あり [他工事へ流用、または処分地指定]	<input type="checkbox"/> A. 場所 ( ) <input type="checkbox"/> B. 盛土、埋戻 <input type="checkbox"/> C. 整地 ( 押土、敷き均し、転圧 ) あり <input type="checkbox"/> D. ストックヤード利用あり ( ) <input type="checkbox"/> E. 仮置場必要 ( ) <input type="checkbox"/> F. 運搬距離 ( Km ) <input type="checkbox"/> G. 仮置場の用地借上費計上あり <input type="checkbox"/> H. 処分料計上あり
	<input type="checkbox"/> 4. 発生土砂等の有効利用、適正処理あり [他工事からの流用]	<input type="checkbox"/> A. 他工事名 ( ) <input type="checkbox"/> B. 請負者運搬あり ( 運搬距離 ) <input type="checkbox"/> C. 盛土、埋戻 <input type="checkbox"/> D. ストックヤード利用あり ( ) <input type="checkbox"/> E. 仮置場必要 ( ) <input type="checkbox"/> F. 仮置場の用地借上費計上あり
	<input type="checkbox"/> 5. 産業廃棄物の処理条件あり [特別管理産業廃棄物]	<input type="checkbox"/> A. 種類 ( ) <input type="checkbox"/> B. 場所 ( ) <input type="checkbox"/> C. 中間処理施設までの運搬距離 ( Km ) <input type="checkbox"/> D. 処理費計上あり
	<input type="checkbox"/> 6. 浄化槽、汲み取り便槽の取壊し処分あり	<input type="checkbox"/> A. 槽内洗浄必要 <input type="checkbox"/> B. 可児市環境課と打合せの必要あり
工 事 支 障 物 件	<input checked="" type="checkbox"/> 7. 「可児市が発注する公共工事から発生する産業廃棄物適正処理について」に基づく提出・提示書類あり	<input checked="" type="checkbox"/> A. 産業廃棄物管理票 ( マニフェスト ) <input checked="" type="checkbox"/> B. 建設発生土処理地の関係図書 <input checked="" type="checkbox"/> C. コプリス <input checked="" type="checkbox"/> D. フロンガス
	<input type="checkbox"/> 1. 占用支障物件あり ( 電気 )	<input type="checkbox"/> A. 移設時期 ( H 年 月 頃 ) <input type="checkbox"/> B. 移設時期 ( 別途協議 )
	<input type="checkbox"/> 2. 占用支障物件あり ( 電話 )	<input type="checkbox"/> A. 移設時期 ( H 年 月 頃 ) <input type="checkbox"/> B. 移設時期 ( 別途協議 )
	<input type="checkbox"/> 3. 占用支障物件あり ( 水道 )	<input type="checkbox"/> A. 移設時期 ( H 年 月 頃 ) <input type="checkbox"/> B. 移設時期 ( 別途協議 )
	<input type="checkbox"/> 4. 占用支障物件あり ( 下水道 )	<input type="checkbox"/> A. 移設時期 ( H 年 月 頃 ) <input type="checkbox"/> B. 移設時期 ( 別途協議 )
	<input type="checkbox"/> 5. 占用支障物件あり ( ガス )	<input type="checkbox"/> A. 移設時期 ( H 年 月 頃 ) <input type="checkbox"/> B. 移設時期 ( 別途協議 )
	<input type="checkbox"/> 6. 占用支障物件あり ( マネー蓋、仕切り弁蓋等 )	<input type="checkbox"/> A. 管理者による高さ調整 ( ) <input type="checkbox"/> B. 請負者による高さ調整 ( )
	<input type="checkbox"/> 7. 占用支障物件あり ( その他 )	<input type="checkbox"/> A. 移設時期 ( ) <input type="checkbox"/> B. 移設時期 ( 別途協議 ) <input type="checkbox"/> C. その他 ( )
排 水 工 関 係	<input type="checkbox"/> 1. 濁水、湧水処理条件あり	<input type="checkbox"/> A. 方法 ( ) <input type="checkbox"/> B. その他 ( )
	<input type="checkbox"/> 2. その他	<input type="checkbox"/> A. その他 ( )
再 生 材 使 用 及 び 溶 融 ス ラ グ	<input type="checkbox"/> 1. 再生材使用指定あり	<input type="checkbox"/> A. RC <input type="checkbox"/> B. アスファルト再生合材 ( 30% 再生 ) <input type="checkbox"/> C. アスファルト再生合材 ( 100% 再生 ) <input type="checkbox"/> D. 溶融スラグ使用あり ( ) <input type="checkbox"/> E. 再生材を使用できない場合別途協議
そ の 他	<input type="checkbox"/> 2. その他	<input type="checkbox"/> A. その他 ( )
	<input type="checkbox"/> 1. 現場発生材あり	<input type="checkbox"/> A. 品名 ( ) <input type="checkbox"/> B. 納入場所 ( )
	<input type="checkbox"/> 2. 支給材あり	<input type="checkbox"/> A. 品名 ( ) <input type="checkbox"/> B. 引渡し場所 ( )
	<input type="checkbox"/> 3. イメージアップあり	<input type="checkbox"/> A. 仮設費 ( ) <input type="checkbox"/> B. 安全費 ( ) <input type="checkbox"/> C. 當番費 ( ) <input type="checkbox"/> D. 特別なイメージアップ ( )
	<input type="checkbox"/> 4. 「可児市工事品質証明実施要領」該当あり	<input type="checkbox"/> A. 品質証明員の配置あり
<input type="checkbox"/> 5. その他	<input type="checkbox"/> A. その他 ( )	

配置図

川合地区センター  
可児市川合北二丁目14



# 川合地区センター空調・屋根防水他改修工事

図 面 リ ス ト		
図面番号	図 面 名 称	縮 尺
空調改修工事		
1	特記仕様書(1)	—
2	特記仕様書(2)	—
3	配置図、凡例	1/300
4	機 器 表 (1)	—
5	機 器 表 (2)	—
6	機 器 表 (撤去)	—
7	系統図(配管・ダクト・換気)	—
8	1階平面図(機器・配管)	1/200
9	1階平面図(換気・ダクト)	1/200
10	屋根伏図(機器・配管)	1/100
11	1階ホール機械室詳細図	1/50
12	屋根裏平面詳細図	1/100
13	屋根伏、屋上平面詳細図(機器・配管)	1/100
14	屋外 室外機置場平面詳細図(機器・配管・動力)	1/100
15	屋根伏、屋上平面詳細図(動力)	1/100
16	動力盤改修図	—
17	1階平面図(計装)	1/200
18	1階天井伏図	1/200
防水改修工事		
19	屋根伏せ図(防水改修)	—
20	現況屋上断面図、設備基礎	1/30、60
21	改修屋上断面図、設備基礎	1/30、60
屋根改修工事		
22	屋根伏せ図(屋根改修)	—
23	北・東立面図	—
24	南・西立面図	—



**機械設備工事特記仕様書**

A. 工事概要

1. 工事名称 川合地区センター空調・屋根防水他改修工事
2. 工事場所 可見市川合北地内
3. 建物概要

建物名称	構造	階数	延面積	消方法施工令別表第一
地区センター	RC	2	1,529.33 m <sup>2</sup>	

4. 工事種目 (●印のあるものを適用する。)

工事種目	建物及び屋外			
	公民館			屋外
A 空調設備工事				
● 機器設備	●			○
● ダクト設備	●			
● 配管設備	●			○
● 換気設備	●			
● 電気設備	●			○
B 衛生設備工事				
○ 衛生器具設備				
○ 給水設備				
○ 排水通気設備				
○ 給湯設備				
○ 消火設備				
○ プロパンガス設備				
○ 都市ガス設備				

- B. 工事仕様
1. 共通仕様
    - 1) 図面及び特記仕様に記載されていない事項は、すべて国土交通省官庁営繕部監修の「公共建築工事標準仕様書」(機械設備工事編(平成28年版)及び「公共建築設備工事標準図」(機械設備工事編(平成28年版)による。
    - 2) 電気設備工事及び建築工事を本工事に含む場合は、それぞれの工事仕様書を適用する。
    - 3) 機器類の仕様は、製造者標準仕様とする。
  2. 特記仕様
    - 1) 項目は○印のついたものを適用する。
    - 2) 特記事項は、無印あるいは○印のものを適用する。

項目	特記事項
① 適用基準等	設計図書間に相異なる場合の優先順位は、次の1)~(4)のとおりとする。 (1) 現場説明書 (2) 特記仕様 (3) 図面 (4) 標準仕様書及び標準図 (5) 可見市建設工事共通仕様書
② 工事実施詳細の登録	請負金額が500万円以上の元請人は、工事実施詳細(財)日本建設情報総合センターに登録するものとし、工事請負代金が2,500万円未満の工事の登録は、工事受注時にのみ行うものとする。 なお、登録内容を訂正する必要がある場合は、標準仕様書に記載された登録の手順を順じて訂正するものとする。また、変更契約日と工事完了日の間が、10日に満たない場合は、変更契約時の登録を省略することができるものとする。
③ 機材等	1. 機器及び材料は設計図書に定める品質及び性能を有する新品とし、監督職員の検査を受けて合格したものとする。 2. 主要材料については、契約後、速やかに主要材料の製作所名等一覧表を提出し、監督職員の確認をうける。 3. 設計図書に記載してあるもの及び監督職員の指示する材料、仕上げの程度、色合い等については、あらかじめ見本を提出して指示をうける。
④ 機器姿図	姿図の形状及び寸法は、概略をしめす。
⑤ 技能士	1) 技能士の適用は、次の欄参照による。 ○ 配管(建築配管作業) ○ 熱線緑線施工 ○ 冷凍空調配管機器施工 ・ ダクト板金(ダクト板金作業) ・ 塗装(木工塗装・建築塗装・金属塗装・噴霧塗装作業)
⑥ 施工図等	施工図等の著作権にかかわる使用権は、発注者に移譲するものとする。
⑦ 工事写真	国土交通大臣官庁官庁営繕部監修「工事写真の撮り方(建築設備編)」による他、監督職員の指示により撮影し提出する。

⑧. 完成写真

下記のもの原板(ネガ)とも監督職員に提出する。

分類	規格	箇所	部数	原板の大きさ(mm)	備考
カラー	○ キヤビネ板	20	2	100x125	フリーアルム (300mx300mm)
	・ 四ッ切パネル				表紙に工事名称を記載
	・ 全紙パネル		1		
	・ スライド		1	24x36	

- ・ 航空写真 カラーキヤビネ版のうち 箇所を航空写真とする。  
 ※ 電子データ カラーキヤビネ版の電子データを提出する。  
 (注) 撮影位置及び提出物は監督職員の承諾を受け。  
 撮影業者 ※ 監督職員の承諾する建築写真専門撮影業者
- 完成図(施工図、施工計画書を除く)
- 完成図CADデータ(CD-R)(作成方法が「當繕工事電子納品要領(案)」による。)
- 施工図及び施工計画書
- 保全に関する資料

- ⑩ 着手時の提出書類
- 工事着手前二次の図書を作成し監督員に提出する。  
 契約図のA3版 2ッ折り製本 2部

- ⑪ 工用電力
- 水・その他
- ⑫ 工用仮設物
- 構内につくることが ○ できる ・ できない  
 但し、全て請負者の負担とする。

- ⑬ 施工計画書
- 総合施工計画書  
 工事の総合的な計画をまとめた総合計画書を工事の着手前に先立ち作成し監督職員に提出する。  
 工種別施工計画書  
 該当する工種別に作成し監督職員に提出する。

- ⑭ 火災保険等
- 加入方法等
- 保険(保険対象:工事建物)に加入すること。  
 本工事において、発注者、請負者及び全下請人を被保険者として、工事着手から工事的のりきしまでの期間について、賠償責任保険(保険対象 第3者へ与えた被害)及び、火災保険(保険対象 工事建物、建設工事保険等(保険対象 一般被損害)に加入するものとする。また、工事着手前に保険証書の写しを提出すること。

- ⑮ 軽微な変更
- 現場の納まり、取り合いなどの関係による1箇處の中で、設計図書によることが困難又は、不都合な場合の軽微な変更は、監督職員の指示による。この場合請負金額の変更は行わない。

- ⑯ 総合調整
- 本工事として下記の測定表を提出する。  
 ・ 風量調整 ○ 水量調整 ○ 室内外空気の温湿度測定  
 ○ 騒音測定 ・ 振動調整 ・ 室内空気汚染の測定  
 ○ 初期運転状態の測定 ・ 飲料水の品質測定
- ・ 監督職員が指示する場所に敷きならしとする。  
 ○ 構外撤出適切処理とする。

- ⑰ 残土処分
- ⑱ 地中埋設工事等
- (1) 地中埋設管(排水管を除く)  
 1) 地中埋設票 ○ 要(分岐及び曲りの箇所) 不要  
 2) 地中埋設テープ ○ 要 ・ 不要  
 3) 埋戻し土及び盛土  
 ○ 根切り土の中の良質土 ・ 場外搬入土  
 ○ 山砂の類(配管上部100mm・配管下部100mm)

- ⑲ 貫通部の処理
- 不燃材料以外の配管が防火区画を貫通する場合は、建築基準法令に適合する工法、又は、(財)日本建築センター防火認定委員会の評定工法とする。  
 さらに、消方法令による防火区画を貫通する場合は、消方法令に適合する工法、又は、(財)日本消防設備安全センター評定工法による。

- ⑳ 発生材の処理
- ・ 引き渡しを要するもの ( )
  - ・ 特別換算廃棄物 ( )
  - ・ 再生資源化を図るもの ( )
  - ・ 上記以外の発生材の処分地 ( )
- 撤去する配管、ダクト等の保温材は分離する  
 ○ 配管ダクト等の支持金物、吊りボルト等は本工事にて撤去する

- ㉑ 産業廃棄物の適正処理
- 産業廃棄物が搬出される工事にあつては、監督職員の指示に従い、産業廃棄物処理書類の提出及び弁別並びに処理施設の現地確認並びに建設廃棄物処理状況の管理を行い、産業廃棄物が最終処理に至るまで適正に処理されていることを確認する。  
 建設工事における建設現場管理マニュアルに従い適切に処理する。

- ㉒ 容量等の表示
- (1) 機器類の能力、容量等は表示された数値以上とする。  
 (2) 電動機出力、燃料消費量、圧力損失は、原則として表示された数値以下とする。
- ㉓ 案内板
- 機器等の取扱方法及び重要な定期点検項目を記載した案内板を設備機械室に設置する。  
 1) 材質 ・ アクリル樹脂製 ・ 市販パネル  
 2) 寸法 約 m<sup>2</sup>

- ㉔ 配管
- (1) 呼び径65以下ステンレス鋼管の継手は、下記による。  
 メカニカル継手(・ 拡管式 ・ プレス式)
  - (2) 建物導入部の配管  
 ・ 図示による ○ 変位を吸収できるようにスリークッションとする。
  - (3) 溶接部の非破壊検査 ・ 不要 ・ 要( )
  - (4) 給水に使用するポリエチレン管は、呼び径50A以下は、(・ 1種 ・ 2種)の2層管とし75A以上の管は、JWWA114による。
  - (5) 呼び径40A以下のポリエチレン管の継手は、金属継手(JWWA-B-114)とする

- ㉕ 管の接合
- (1) 鋼管  
 80A以下 ○ ネジ ・ ・  
 100A ・ ネジ ○ フランジ ○ 溶接  
 125A以上 ・ ネジ ○ フランジ ○ 溶接  
 ※排水通気管の場合は、ネジ接合とする。
  - (2) ライニング鋼管  
 80A以下 ○ ネジ  
 100A以上 ・ フランジ ・ ネジ(・ 内外面ライニング管 ・ その他)  
 ※むを得ず現場でフランジを取付ける場合は、監督職員の承諾を受け、標準図(施行2)による。
  - (3) 外面被覆鋼管  
 80A以下 ○ ネジ ・ ・  
 100A ・ ネジ ・ フランジ ・ 溶接  
 125A以上 ・ ネジ ・ フランジ ・ 溶接

- ㉖ 弁類
- 特記のない弁は、10Kとする。  
 油系に使用する弁は、10K(マレアップ弁等)とする。  
 水道直結給水管系に使用する弁は、10Kとする。  
 ステンレス鋼管に使用する呼び径65以上の弁は、ステンレス製とする。  
 不凍水抜き栓の長さは、呼び長さ400mmとする。
- 図示の箇所に取付ける。  
 ・ ベローズ形 ・ スリーブ形
- 既存のコンクリートの床・壁などの配管貫通部が明けは、図面に特記のない場合はダイヤモンドカッターによる。

- ㉗ 絶縁フランジ・継手
28. 伸縮継手
- ㉘ 研り
- 図面に特記なき場合は、別表「工事区分表」による。

- ㉙ 他工事との工事区分
- ③ 電線類
- 電線及びケーブルの規格は、標準仕様書による。  
 ○ 電線類は、EMケーブルを使用する。(機器・盤類を除いてもよい。)

- ㉚ 施工条件
- 設計図書に施工時間が定められていない場合で、官公庁の休日又は夜間工事の施工を行う場合は、あらかじめ理由を付した書面によって監督職員に通知する。

- 1) 保温材の種類は、○ ロックウール保温材 ○ グラスウール保温材  
 ・ ポリスチレンフォーム保温材
- 2) 保温の種類(下記の他も、標準仕様書による)

衛生設備 (仕上記号は、標準仕様書による)				
施工区分	種別	給水管	排水管	給湯管
屋内露出				
天井・PS内				
機械室等ポンプ室				
床下・暗渠内				
屋外露出				

空調設備 (仕上記号は、標準仕様書による)			
施工区分	種別	冷媒管(保温付)+外装材	ドレン管
屋内露出		a1(□)Ⅱ	a1(□)Ⅲ
天井・PS内		c2(□)Ⅱ	c2(□)Ⅲ
屋外露出		e2(□)Ⅱ	e2(□)Ⅲ

空調設備 (仕上記号は、標準仕様書による)				
施工区分	種別	冷温水管	空気抜き管	ドレン管
屋内露出		A1(□)Ⅱ		a1(□)Ⅲ
天井・PS内		B1(□)Ⅲ		c2(□)Ⅲ
機械室		B(□)Ⅲ	B(□)Ⅲ	b(□)Ⅲ

- 3) 次の金属電線管は塗装を行う。  
 ○ 屋外露出 ・ ポンプ室 ○ 機械室

改修関係事項	
項目	特記事項
① 改修共通仕様書	国土交通省大臣官庁官庁営繕部監修「公共建築改修工事標準仕様書(機械設備工事編(平成28年度版))」を使用する。(以下改修標準という)
② 再使用機器	取外し再使用の機器は、清掃の上取付ける。又、電気使用機器は絶縁抵抗を測定の上取付ける。
③ 既設との取合い	本工事施工に伴う既設設備の軽微な加工改修は、本工事とする。
④ 施工調査	下記によるほか、「改修標準」第1編1.5.1及び1.5.2による。 施工計画調査 調査項目 調査範囲 方法 ・ 図示 ・ 事前調査 調査項目 調査範囲 方法 ・ 図示 ・
⑤ 養生	既存部分の養生は、下記によるほか「改修標準」第1編3章による。 養生範囲(・ 図示 ・ ) 養生方法(・ )
⑥ 試験	(1) 各種配管の試運転は、原則として新設配管に適用するか監督員と別途協議の上決定すること (2) 新設配管は、既設配管との接続部は試験を行う。
⑦ 撤去工事	撤去する配管、ダクト等の保温材は分離する。 撤去する配管、ダクト等の支持金物、吊ボルト等は本工事にて撤去する。 石綿含有分析調査 ・ 本工事 ・ 別途工事 石綿撤去方法 ・ 図示による
⑧ 冷媒(フロン系)の回収	冷凍機等の撤去に伴う冷媒回収方法は、以下による。 (1) 冷媒の回収は、「特定製品に係るフロン類の回収及び破壊の実施の確保等に関する法律(フロン回収破壊法)」にしたがって行い、監督員に次の書類の写しを提出すること。 (ア) 第一種フロン回収業者登録通知書 (イ) フロン回収に携わる者の知識に関する説明書 (ウ) 回収量等に関する報告書 (2) 家庭用エアコン等で「特定家庭用機器再商品化法(家電リサイクル法)」の対象となっているものは、同法に従ってリサイクルを行い監督員に次の書類を提出すること。 (ア) 「特定家庭用機器廃棄物管理票(家電リサイクル券)」 撤去する前に、フロンを屋外ユニットに集める作業(ポンプダウン)を行う。 (3) パッケージ型空調機等の移設等により、冷媒の回収が必要となる場合においても上記に準じて冷媒の大气中への放出を防止する措置を講ずること。 冷媒回収費用は(○ 本工事 ・ 別途)
⑨ 仮設備	仮設備項目(・ ・) 仮設備期間(・ ・)

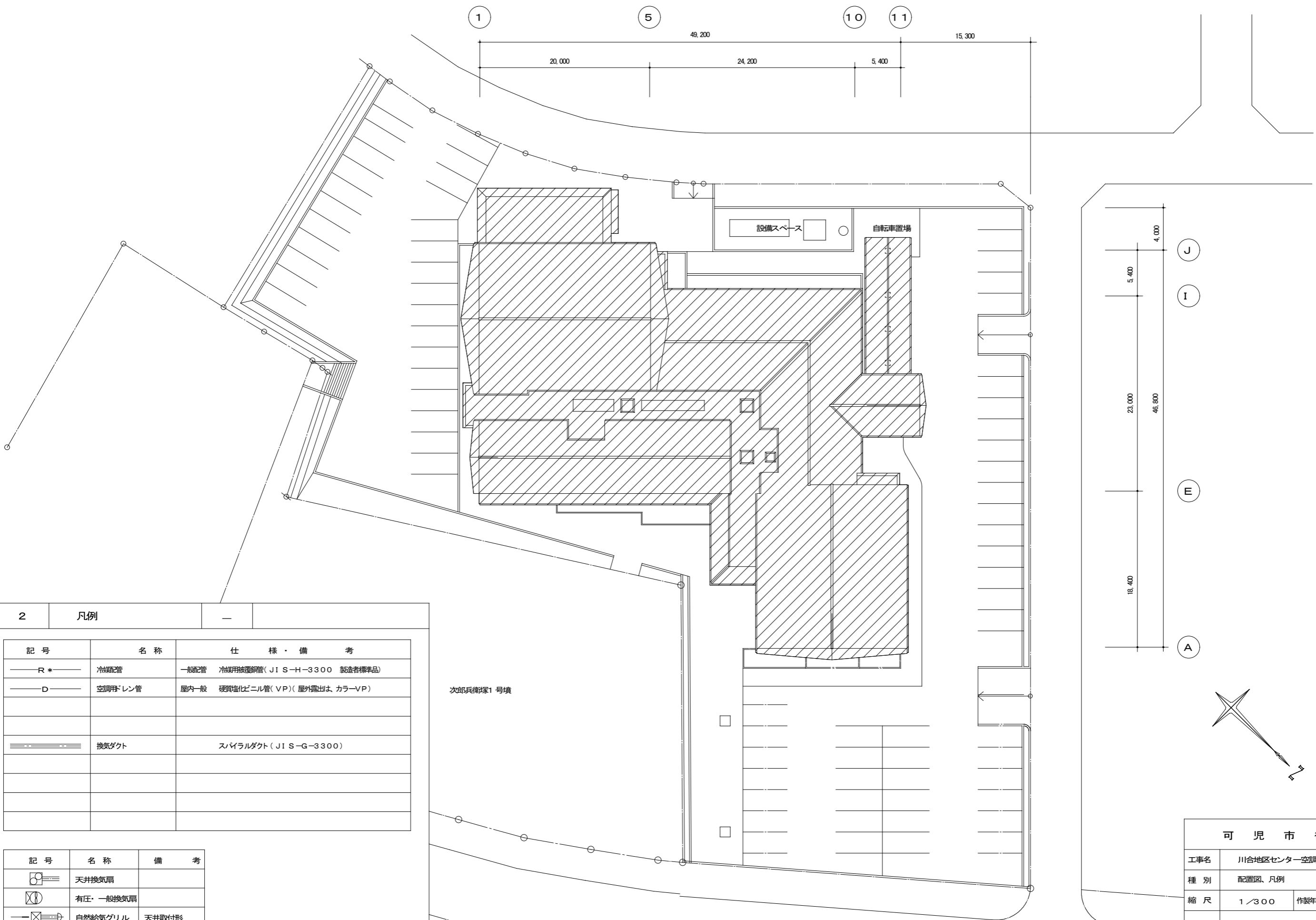
工事内容	
項目	特記事項

1. 空調設備
1. 本工事は公民館施設の空調設備機器(冷暖房、換気)の更新を行う。
  2. 既存空調機、冷媒管内冷媒ガスの回収および破壊処理を行うこと。
  3. 既存冷媒配管は再利用を原則とします。
  4. 送排風機等換気装置の更新を行う。ダクト系は原則再利用とする。

可見市役所			
工事名	川合地区センター空調・屋根防水他改修工事		
種別	特記仕様書(1)	図面番号	01
縮尺	—	作製年月日	平成 年 月 日
(株) 岐阜建築設備計画			

(1) 空気調和設備		(3) 排煙設備		(5) 衛生器具設備		(9) 消火設備																															
項目	特記事項	項目	特記事項	項目	特記事項	項目	特記事項																														
① 設定温度	<table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2">外 気</th> <th colspan="4">室内調整目標値</th> </tr> <tr> <th colspan="2"></th> <th colspan="2">一般系統</th> <th colspan="2"></th> </tr> <tr> <th>温度(DB)</th> <th>湿度(RH)</th> <th>温度(DB)</th> <th>湿度(RH)</th> <th>温度(DB)</th> <th>湿度(RH)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>夏 期</td> <td>36.6℃ 51.8%</td> <td>℃</td> <td>%</td> <td>26.0℃</td> <td>— %</td> </tr> <tr> <td>冬 期</td> <td>0.5℃ 56.5%</td> <td>℃</td> <td>%</td> <td>22.0℃</td> <td>— %</td> </tr> </tbody> </table>	外 気		室内調整目標値						一般系統				温度(DB)	湿度(RH)	温度(DB)	湿度(RH)	温度(DB)	湿度(RH)	夏 期	36.6℃ 51.8%	℃	%	26.0℃	— %	冬 期	0.5℃ 56.5%	℃	%	22.0℃	— %	1. ダクト 2. 排煙口の形式 3. 排煙口解放装置 4. チャンバー 5. 排煙風量測定	<ul style="list-style-type: none"> <li>垂鉛鉄板製 ・ 普通薄板製(厚1.6mm以上)</li> <li>天井取付( ・ スリット形 ・ スイング形 )</li> <li>壁取付 ( ・ スリット形 ・ )</li> <li>電気式(遠隔操作 ・ 要 ・ 不要) ・ 手動式</li> </ul> 空気調和設備の当該項目による。 建築設備定期検査業務指導者(日本建築設備安全センター)の排煙風量の点検方法に準ずる。	1. 衛生器具 2. 衛生器具種類 3. 水 栓 4. 大便器用カバー	<ul style="list-style-type: none"> <li>一般地仕様 ・ 寒冷地仕様</li> <li>洗面器 ・ 手洗器 ・ 小便器( ・ 壁掛 ・ 床置 )</li> <li>洗面化粧台 ・ 大便器( ・ 和風 ・ 腰掛式 ) ・ 浴槽</li> <li>ユニット ・ キッチン</li> <li>一般地仕様 ・ 寒冷地仕様(一部一般地仕様)</li> </ul> 和風大便器の取付火区画貫通処理は、標準図(施工66(b))による。	1. 配管材料 (詳細は凡例参照) 2. 埋設配管 3. その他( )	(1) 屋内消火栓用配管 1) 一般配管 <ul style="list-style-type: none"> <li>配管用炭素鋼管(白)</li> <li>圧力用配管用炭素鋼管(sch-40)</li> <li>消火用硬質塩化ビニル外面被覆鋼管(VS)</li> </ul> 2) 埋設配管 <ul style="list-style-type: none"> <li>配管用炭素鋼管(白)</li> <li>圧力用配管用炭素鋼管(sch-40)</li> <li>消火用硬質塩化ビニル外面被覆鋼管(VS)</li> </ul> 3) その他( ) <ul style="list-style-type: none"> <li>配管用炭素鋼管(白)</li> <li>圧力用配管用炭素鋼管(sch-40)</li> <li>消火用硬質塩化ビニル外面被覆鋼管(VS)</li> </ul> 箱内個別機器(発信機及び電鈴)取付用の板を取付ける。 屋外埋設の消火管の埋設深さは、給水設備の項に準ずる。 屋外露出の消火管は、標準仕様書の給水設備の項による。
外 気		室内調整目標値																																			
		一般系統																																			
温度(DB)	湿度(RH)	温度(DB)	湿度(RH)	温度(DB)	湿度(RH)																																
夏 期	36.6℃ 51.8%	℃	%	26.0℃	— %																																
冬 期	0.5℃ 56.5%	℃	%	22.0℃	— %																																
2. 熱源方式	<ul style="list-style-type: none"> <li>液化石油ガスヒートポンプ方式</li> <li>ガス焚き吸収式温水発生機(都市ガス)</li> <li>空冷ヒートポンプ方式</li> </ul>	(4) 自動制御設備		(6) 給水設備		2. 屋内消火栓箱																															
3. 燃焼濃度計	<ul style="list-style-type: none"> <li>設ける</li> <li>設けない</li> <li>既設調整</li> </ul>	1. 中央監視装置 2. 中央監視装置の機能 3. 配管配線サイズ 4. 計装工事の配線	<ul style="list-style-type: none"> <li>有り(空調機器用)</li> <li>無し</li> </ul> 図示による。 配管配線の種類、太さ、本数及び盤類等の寸法で図示されていないものは、製造業者等の標準仕様とする。 屋外・屋内の露出配線は、図面に特記のない限り金属管配線とする。	1. 配管材料 2. 弁類 3. 引き込み納付金 4. 量水器 5. 量水器箱 6. 管の埋設深さ	1) 一般配管 <ul style="list-style-type: none"> <li>水道用硬質塩化ビニルライニング鋼管(VB ・ FVB)</li> <li>ステンレス鋼管</li> </ul> 2) 屋内土中埋設部 <ul style="list-style-type: none"> <li>水道用硬質塩化ビニルライニング鋼管(VD ・ FVD)</li> <li>水道用耐衝撃性硬質塩化ビニル管(HI VP)</li> </ul> 3) 屋外土中埋設部 <ul style="list-style-type: none"> <li>水道用硬質塩化ビニルライニング鋼管(VD ・ FVD)</li> <li>水道用耐衝撃性硬質塩化ビニル管(HI VP)</li> <li>水道用ポリエチレン二層管(PP)</li> </ul> 4) 水道直結配管 <ul style="list-style-type: none"> <li>引込管は、水道事業者の指定による。</li> <li>量水器以降は、3)による。</li> </ul> 5) JIS 5kg <sup>2</sup> /cm <sup>2</sup> ・ JIS 10kg <sup>2</sup> /cm <sup>2</sup> 50A以下は青銅製管端コア付弁 65A以上は鍛鉄製ナイロンライニング弁	2. 配管材料 (詳細は凡例参照) 3. ガス充填容器 4. ガスメーター 5. ガス漏れ警報機 6. ガス遮断弁 7. 機器試験 8. その他	(10) ガス設備 1. ガスの種類 <ul style="list-style-type: none"> <li>液化石油ガス (12,000kcal/ Nm)</li> <li>都市ガス13A (11,000kcal/ Nm)</li> </ul> 2. 配管材料 (詳細は凡例参照) (1) 都市ガス供給事業者の供給規程による。 (2) 液化石油ガス 1) 一般配管及びコンクリート埋設配管 <ul style="list-style-type: none"> <li>配管用炭素鋼管(白)</li> <li>ポリエチレン被覆鋼管</li> </ul> 2) 土中埋設配管 <ul style="list-style-type: none"> <li>ポリエチレン被覆鋼管</li> <li>ナイロン被覆鋼管</li> <li>塩化ビニル被覆鋼管</li> <li>ポリエチレン管</li> </ul> 3. ガス充填容器 4. ガスメーター 5. ガス漏れ警報機 6. ガス遮断弁 7. 機器試験 8. その他																														
4. 燃焼濃度測定口	<ul style="list-style-type: none"> <li>設けない</li> <li>設ける(口径80A以上)</li> </ul>					3. ガス充填容器	・ 貸与品 ・ 本工事																														
5. ダクト	低圧ダクト <ul style="list-style-type: none"> <li>アングルフランジ工法</li> <li>共板フランジ工法</li> <li>スライドオンフランジ工法</li> </ul>					4. ガスメーター	・ 貸与品 ・ 本工事																														
6. チャンバー	1) 内視鏡を施すチャンバーの表寸法は、外法を示す。 2) 空気調和機の吸込み側及び吐出し側に接続するチャンバーの板厚は、1.2mm以上とする。なお、製作及び取付は、アングル工法ダクトの当該事項による。 3) 外壁に面するガラリに取付けるチャンバー及びカバーは、雨水の滞留のないように施工する。 4) チャンバーの点検口は図示より取付けること。(寸法は図示による。) 5) 吹出口チャンバーは図示より取付けること。(寸法・内視鏡は図示による。) 2) 図示されたチャンバーには点検口を設け、寸法は図示による。					5. ガス漏れ警報機	・ 設ける(外部出力端子 ・ 有り ・ 無し 設けない ・ 別途電気工事)																														
7. 風量測定口	取付位置 ・ 図示した位置 ・					6. ガス遮断弁	・ 貸与品 ・ 本工事																														
8. 吹出口、吸込口	<ul style="list-style-type: none"> <li>アルミニウム製</li> <li>鋼製</li> </ul>					7. 機器試験	保持時間は、25分以上とし記録簿による測定表を提出する。																														
9. ダンパー	1) 風量調整ダンパーは、角形、丸形ともウォームギア式ベンドルとする。但し、防火ダンパーと共用する場合は除く。 2) 防煙ダンパーの復帰方式は、遠隔式 ・ 手元式					8. その他	LPG集合装置(4本交互8本立) 本工事 ・ 別途工事 ガスボンベ転倒防止装置 ・ 本工事 ・ 別途工事 ガスボンベ置場のコンクリート基礎 本工事 ・ 別途工事(建築工事) LPG容器収納庫 ・ 本工事 ・ 別途工事																														
10. 温度計	◎ バイメタル式(100mm) ・ ガード付L形温度計																																				
11. 圧力計	◎ 設ける(図示による)																																				
12. 瞬間流量計	流量計は、着脱式 ・ 固定式 とし、取付は冷水ポンプ、冷却水ポンプの吐出管及び冷凍機等の冷却水の送管と冷水の往管とする。その他は図示による。																																				
13. 油面計	<ul style="list-style-type: none"> <li>ゲージ式(側圧式)</li> <li>ガラス管式(流出防止形)</li> </ul>																																				
⑭ 配管材料	1) 冷温水管 <ul style="list-style-type: none"> <li>配管用炭素鋼管(白)</li> <li>塩ビライニング鋼管</li> </ul> 2) 冷却水管 <ul style="list-style-type: none"> <li>配管用炭素鋼管(白)</li> <li>塩ビライニング鋼管</li> <li>外面ライニング鋼管(土中埋設)</li> </ul> 3) 蒸気管(往) <ul style="list-style-type: none"> <li>配管用炭素鋼管(黒)</li> </ul> 4) 蒸気管(還) <ul style="list-style-type: none"> <li>圧力配管用炭素鋼管(黒Sch40)</li> </ul> 4) 油管 <ul style="list-style-type: none"> <li>配管用炭素鋼管(黒)</li> <li>外面ライニング鋼管(土中埋設)</li> </ul> 5) 冷媒管 <ul style="list-style-type: none"> <li>断熱材被覆鋼管(原管はJIS H 3300) 保温筒は製造者標準</li> </ul> 6) 空調用排水管 <ul style="list-style-type: none"> <li>配管用炭素鋼管(白)</li> <li>樹脂製管</li> <li>硬質塩化ビニル管(VP) ・ 屋外はカラーVP</li> </ul> 空気抜き管 冷媒管の屋外露出部分は、 <ul style="list-style-type: none"> <li>ステンレス鋼板 ・ 着色垂鉛鉄板</li> <li>保温化粧ケース</li> </ul> 冷媒管の屋内露出部分は、 <ul style="list-style-type: none"> <li>ステンレス鋼板 ・ 着色垂鉛鉄板</li> <li>保温化粧ケース</li> </ul>																																				
15. 弁及び継ぎ手類	1) ・ JIS 5kg <sup>2</sup> /cm <sup>2</sup> ・ JIS 10kg <sup>2</sup> /cm <sup>2</sup> 50A以下は青銅製管端コア付弁 65A以上は鍛鉄製ナイロンライニング弁 2) 油用は、仕切弁(マレアル鉄) ・ コック(青銅弁) 3) ポンプ廻りの各弁類は、ポンプ付属品を使用してもよいため、JIS相当品を使用すること。 4) ポンプ廻りの逆止弁はスモールレスキー型を使用する。																																				
(2) 換気設備																																					
項目	特記事項	項目	特記事項	項目	特記事項	項目	特記事項																														
① ダクト	低圧ダクト <ul style="list-style-type: none"> <li>アングルフランジ工法</li> <li>共板フランジ工法</li> <li>スライドオンフランジ工法</li> <li>スパイラルダクト</li> </ul> ・ 厨房系統の排気ダクトは、標準仕様書より一番手厚いものを使用する。																																				
2. 風量測定口	取付位置 ・ 図示した位置 ・																																				
③ ダンパー	空気調和設備の当該項目による。																																				
4. ダクトのシール	シールする排気ダクトの系統 ・ 厨房系統 ・ 浴室系統 ・																																				
5. チャンバー	空気調和設備の当該項目による。																																				
6. 排気フード	ステンレス鋼板製(SUS304又は430)とし、厚さは1.0mm以上、板の継ぎ目には溶接とし、必要に応じ補綴材を入れる。																																				
⑤ 吹出口、吸込口	空気調和設備の当該項目による。																																				
(7) 排水通気設備																																					
項目	特記事項	項目	特記事項	項目	特記事項	項目	特記事項																														
1. 配管材料 (詳細は凡例参照)	1) 屋内排水管 <ul style="list-style-type: none"> <li>硬質ポリ塩化ビニル管(VP) ・ 排水用鉛管 ・ 配管用炭素鋼管(白)</li> <li>排水用塩化ビニルライニング鋼管 ・ メカニカル形鉄管</li> <li>硬質塩化ビニル耐火二層管(VP)</li> </ul> 2) 通気管 <ul style="list-style-type: none"> <li>硬質ポリ塩化ビニル管(VP) ・ 配管用炭素鋼管(白)</li> <li>硬質塩化ビニル耐火二層管(VP)</li> </ul> 3) 屋外排水管 <ul style="list-style-type: none"> <li>硬質ポリ塩化ビニル管(VP ・ VU)</li> <li>リサイクル硬質塩化ビニル管( ・ REP-VU ・ RF-VP ・ RS-VU)</li> <li>遡り力鉄筋コンクリート管( ・ 外圧管1種のB ・ )</li> </ul> 4) ポンプアップ排水管 <ul style="list-style-type: none"> <li>排水用ターレエボキシ塗装鋼管</li> </ul>																																				
2. 洗面器等の排水管	1) 洗面器及び手洗器に直結する排水管は、器具ラップより1サイズアップとする。 2) 公団形流し等の床上部分の配管は、硬質塩化ビニル管(VP)を使用してもよい。  屋外土中埋設配管の廻りには、その保護用に山砂を入れて配管を保護すること。																																				
3. 樹	1) ・ 樹脂製排水樹 <ul style="list-style-type: none"> <li>鉄筋コンクリート製( ・ 現削打 ・ 工場製品)</li> </ul> 2) 樹蓋の仕様は図示による。 ※ 下水道管理者により指定品が定められそれを優先して使用する。																																				
4. 試験	衛生器具等の取付完了後に行う試験は( ・ 満水試験 ・ 煙試験 ・ 通水試験)とする。																																				
5. 放流納付金	<ul style="list-style-type: none"> <li>要( ・ 本工事 ・ 別途工事 )</li> <li>不要</li> </ul>																																				
(8) 給湯設備																																					
項目	特記事項	項目	特記事項	項目	特記事項	項目	特記事項																														
1. 配管材料 (詳細は凡例参照)	<ul style="list-style-type: none"> <li>一般配管用ステンレス鋼管 ・ 保温付被覆鋼管(Mタイプ)</li> <li>水道用耐衝撃性硬質塩化ビニルライニング鋼管(SGP-HVA)</li> </ul> 下記によるほか、標準仕様書による。 ・ 給湯器の給湯排気筒(二重管を含む)の隠蔽箇所は保温(断熱)を行う。																																				
2. 保 温																																					
1. 事前調査	掘削の前、( ・ 既設井分布調査 ・ 地表調査 )を行う。																																				
2. ケーシング	ケーシングに使用する管材は、 <ul style="list-style-type: none"> <li>配管用炭素鋼管(黒)</li> <li>硬質塩化ビニル管(VP)</li> </ul>																																				
3. 試験	(1) 電気検層 (2) 揚水試験 (3) 水質試験																																				
4. 報告書	(1) 地質標本(1組み) (2) 地質柱状図(3部)																																				
(12) さく井設備																																					
項目	特記事項	項目	特記事項	項目	特記事項	項目	特記事項																														
1. 事前調査	掘削の前、( ・ 既設井分布調査 ・ 地表調査 )を行う。																																				
2. ケーシング	ケーシングに使用する管材は、 <ul style="list-style-type: none"> <li>配管用炭素鋼管(黒)</li> <li>硬質塩化ビニル管(VP)</li> </ul>																																				
3. 試験	(1) 電気検層 (2) 揚水試験 (3) 水質試験																																				
4. 報告書	(1) 地質標本(1組み) (2) 地質柱状図(3部)																																				
(株) 岐阜建築設備計画																																					

可 児 市 役 所			
工事名	川合地区センター空調・屋根防水他改修工事		
種 別	特記仕様書(2)	図面番号	02
縮 尺	————	作製年月日	平成 年 月 日
(株) 岐阜建築設備計画			

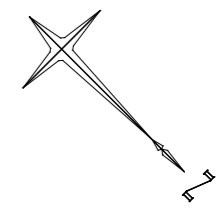
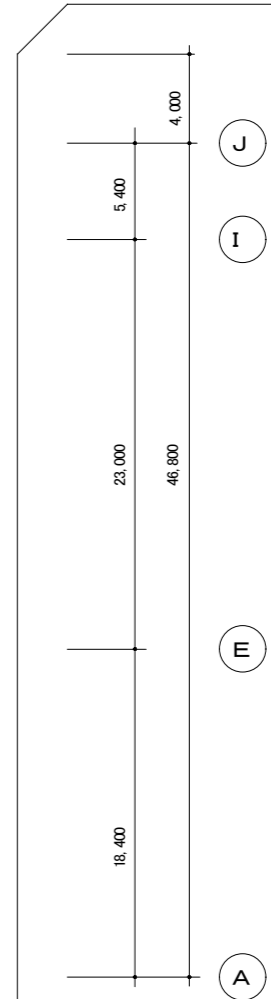


2 凡例

記号	名称	仕様・備考
—R*	冷媒配管	一般配管 冷媒用液種銅管 (JIS-H-3300 製造者標準品)
—D	空調種レン管	屋内一般 硬質塩化ビニル管 (VP) (屋外露出は、カラーVP)
≡≡≡	換気ダクト	スパイラルダクト (JIS-G-3300)

記号	名称	備考
☐≡	天井換気扇	
⊗	有圧一般換気扇	
—☒≡	自然給気グリル	天井取付形
—☒	自然給気グリル	窓サッシ取付形

次郎兵衛塚1号墳



可児市役所			
工事名	川合地区センター空調・屋根防水他改修工事		
種別	配置図、凡例	図面番号	03
縮尺	1/300	作製年月日	平成 年 月 日
印			
(株) 岐阜建築設備計画			

1		機器表(1)											
記号	名称	仕	様	電気容量		台数	取付場所	備考					
				電源	容量								
ACP	空冷ヒートポンプ式エアコン	<共通事項> 1. 能力表示 JIS条件時 (冷房 27.0℃(DB)・19.0℃(WB)・35.0℃(外気)) (暖房 20.0℃(DB)・7.0℃(外気))											
		2. 室外機型式 インバーター対応											
		3. 冷媒ガス 新冷媒											
		4. 室外機付属品 冷媒分歧ユニット・既製コンクリート 架台											
		5. 室内機型式 CK2 : 天井埋込カセット形2方向吹出タイプ(化粧パネル付)											
		CR : 天井吊タイプ											
		CID : 天井埋込ダクトタイプ											
		FIV : 床置(隠ぺい)立型ダクトタイプ ビルトイン											
		6. 室内機付属品 メーカー標準ロングライフフィルター・ドレンアップ機構・リモコンスイッチ											
		7. 電源 室外機への1次側電源供給は動力盤より供給、但し壁掛形は室内機へ電源供給とする。											
		室外機・室内機の連絡配線は冷媒配管共巻とする。(室内機及び室内機の電源線を含む)											
		8. その他 個別リモコン(ワイヤード) x 15個、集中リモコン x 2取付 取付場所は、計装図参照											
ACP-01	空冷ヒートポンプ式ソインエアコン (ホールステージ系統)	型式	天吊形 同時運転タイプ(10馬力相当) 消費電力 10.4KW			1セット		参考品番					
		室外機	冷房能力 25.0KW 暖房能力 28.0KW 冷媒配管 液管12.7φ ガス管 25.4φ	3φ200V	C: 5.7KW F: 0.2x2 KW	1	陸屋根	PCZX-ZRP280KM					
		室内機	CR型(CR-140) 冷房能力 12.5KW 暖房能力 14.0KW 冷媒配管 液管 9.5φ ガス管 15.9φ		F: 0.16KW	2	ホール・ステージ						
ACP-02	空冷ヒートポンプ式マルチエアコン (研修室・会議室系統)	型式	冷媒配管1系統タイプ(16馬力相当) 冷房暖房切替標準タイプ 消費電力 12.89KW			1セット		参考品番					
		室外機	冷房能力 45.0KW 暖房能力 50.0KW 消費電力 12.89KW 冷媒配管 液管 15.9φ ガス管 31.8φ	3φ200V	C: 4.0x2KW F: 0.35x2KW	1	陸屋根	PUHY-RP450SDMG5					
		室内機	CK2型(CK2-56) 冷房能力 5.6KW 暖房能力 6.3KW 冷媒配管 液管 6.4φ ガス管 12.7φ	1φ200V	F: 0.05 KW	2	研修室2	PFLY-P56LMG5					
		室内機	CID型(CID-140) 冷房能力 14.0KW 暖房能力 16.0KW 冷媒配管 液管 9.5φ ガス管 15.9φ	1φ200V	F: 0.37 KW	1	会議室	PEFY-P140MG5					
		室内機	CK2型(CK2-71) 冷房能力 7.1KW 暖房能力 8.0KW 冷媒配管 液管 9.5φ ガス管 15.9φ	1φ200V	F: 0.05 KW	2	研修室1	PFLY-P71LMG5					
ACP-03	空冷ヒートポンプ式ソインエアコン (エントランス系統)	型式	天井埋込カセット形2方向吹出同時運転タイプ(10馬力相当) 消費電力 8.44KW			2セット		参考品番					
		室外機	冷房能力 25.0KW 暖房能力 28.0KW 冷媒配管 液管 12.7φ ガス管 25.4φ	3φ200V	C: 2.40KW F: 0.23KW	2	陸屋根	PLZD-ZRP280LM					
		室内機	CK2型(CK2-140) 冷房能力 12.5KW 暖房能力 14.0KW 冷媒配管 液管 9.5φ ガス管 15.9φ		F: 0.106KW	4	エントランス、廊下						
ACP-04	空冷ヒートポンプ式ベアエアコン (和室系統)	型式	天井埋込ダクト吹出タイプ(4馬力相当) 消費電力 2.63KW			2セット		参考品番					
		室外機	冷房能力 10.0KW 暖房能力 11.2KW 冷媒配管 液管 9.5φ ガス管 15.9φ	3φ200V	C: 2.03KW F: 0.23KW	2	陸屋根	PEZ-ZRMP112DM					
		室内機	CID型(CID-112) 冷房能力 10.0KW 暖房能力 11.2KW 冷媒配管 液管 9.5φ ガス管 15.9φ		F: 0.106KW	2	和室						
ACP-05	空冷ヒートポンプ式ソインエアコン (料理教室系統)	型式	天井埋込カセット形2方向吹出同時運転タイプ(10馬力相当) 消費電力 8.44KW			1セット		参考品番					
		室外機	冷房能力 25.0KW 暖房能力 28.0KW 冷媒配管 液管 12.7φ ガス管 25.4φ	3φ200V	C: 2.40KW F: 0.23KW	1	陸屋根	PLZD-ZRP280LM					
		室内機	CK2型(CK2-140) 冷房能力 12.5KW 暖房能力 14.0KW 冷媒配管 液管 9.5φ ガス管 15.9φ		F: 0.106KW	2	料理教室						
ACP-06	空冷ヒートポンプ式ベアエアコン (ロビー系統)	型式	天井埋込ダクト吹出タイプ(4馬力相当) 消費電力 2.63KW			2セット		参考品番					
		室外機	冷房能力 10.0KW 暖房能力 11.2KW 冷媒配管 液管 9.5φ ガス管 15.9φ	3φ200V	C: 2.03KW F: 0.23KW	2	陸屋根	PEZ-ZRMP112DM					
		室内機	CID型(CID-112) 冷房能力 10.0KW 暖房能力 11.2KW 冷媒配管 液管 9.5φ ガス管 15.9φ		F: 0.106KW	2	ロビー						
ACP-07	空冷ヒートポンプ式マルチエアコン (事務室系統)	型式	冷媒配管1系統タイプ(6馬力相当) 冷房暖房切替標準タイプ 消費電力 4.43KW			1セット		参考品番					
		室外機	冷房能力 16.0KW 暖房能力 18.0KW 冷媒配管 液管 9.5φ ガス管 22.2φ	3φ200V	C: 3.0 KW F: 0.35KW	1	陸屋根	PUHY-RP160DMG5					
		室内機	CK2型(CK2-80) 冷房能力 8.0KW 暖房能力 9.0KW 冷媒配管 液管 9.5φ ガス管 15.9φ	1φ200V	F: 0.05x2 KW	2	事務室、応接室	PFLY-P80LMG5					

可児市役所			
工事名	川合地区センター空調・屋根防水他改修工事		
種別	機器表(1)	図面番号	04
縮尺	————	作製年月日	平成 年 月 日
(株) 岐阜建築設備計画			

1 機器表(2)

記号	名称	仕 様	電 気 容 量		台数	取 付 場 所	備 考	
			電 源	容 量				
ACP-08	空冷ヒートポンプ式マルチエアコン (考古資料室系統)	型式	冷媒配管1系統タイプ(20馬力相当) 冷房暖房切替標準タイプ 消費電力 16.42KW			1セット	参考品番	
		室外機	冷房能力 56.0KW 暖房能力 63.0KW 消費電力 16.42KW 冷媒配管 液管 15.9φ ガス管 38.1φ	3φ200V	C: 5.1x2KW F: 0.46x2KW	1	屋外北側 室外機置場	PUHY-RP560SDMG5
		室内機	CID型(CID-140) 冷房能力 14.0KW 暖房能力 16.0KW 冷媒配管 液管 9.5φ ガス管 15.9φ	1φ200V	F: 0.37KW	4	考古資料室	PEFY-P140MG5
ACP-09	空冷ヒートポンプ式ソインエアコン (収蔵庫系統)	型式	天井埋込カセット形2方向吹出同時運転タイプ(8馬力相当) 消費電力 6.33KW			1セット	参考品番	
		室外機	冷房能力 20.0KW 暖房能力 22.4KW 冷媒配管 液管 9.5φ ガス管 25.4φ	3φ200V	C: 4.6KW F: 0.15x2KW	1	屋外北側 室外機置場	PLZX-ZRP224LM
		室内機	CK2型(CK2-112) 冷房能力 10.0KW 暖房能力 11.2KW 冷媒配管 液管 9.5φ ガス管 15.9φ		F: 0.05x4KW	2	収蔵庫	
ACP-10	空冷ヒートポンプ式マルチエアコン (ホール系統)	型式	冷媒配管1系統タイプ(16馬力相当) 冷房暖房切替標準タイプ 消費電力 12.89KW			2セット	参考品番	
		室外機	冷房能力 45.0KW 暖房能力 50.0KW 消費電力 12.89KW 冷媒配管 液管 15.9φ ガス管 31.8φ	3φ200V	C: 4.0x2KW F: 0.35x2KW	2	屋外西側 室外機置場	PUHY-RP450SDMG5
		室内機	FIV型(FIV-224) 冷房能力 22.4KW 暖房能力 25.0KW 冷媒配管 液管 9.5φ ガス管 19.1φ 送風機電動機用インバーター組込	1φ200V	F: 0.40KW	4	ホール	PFFY-P224RMG5
FE-1	ホール 排風機	ストレートシロッコファン 消音形 #1 3/4 x 1,420CMHx 10mmAq	3φ200V	消費電力: 0.49 KW	2	ホール天井内		
FE-2	料理教室 排風機	ストレートシロッコファン 消音形 #1 3/4 x 2,890CMHx 20mmAq	3φ200V	消費電力: 1.075KW	1	料理教室		
FE-3	排風機	ストレートシロッコファン 消音形 #1 1/4 x 350CMHx 10mmAq	3φ200V	消費電力: 0.073KW	3	会議室、和室2、ロビー		
FE-4	考古資料館 排風機	ストレートシロッコファン 消音形 #1 1/2 x 800CMHx 10mmAq	3φ200V	消費電力: 0.195KW	1	考古収蔵庫天井内		
FE-5	倉庫 排風機	壁取付換気扇 羽根径 20cm 排気量 600CMH	1φ100V	消費電力: 0.0205KW	1	倉庫 壁		
FE-6	湯沸室 排風機	天井扇 低騒音形 150φx 510CMHx 8mmAq ベンドキャップ(SUS) 150φ	1φ100V	消費電力: 0.05 KW	3	湯沸室		
FE-7	器具庫 排風機	天井扇 低騒音形 100φx 170CMHx 5mmAq ベンドキャップ(SUS) 100φ	1φ100V	消費電力: 0.024KW	1	器具庫		
FE-8	女子便所 排風機	天井扇 低騒音形 150φx 450CMHx 8mmAq ベンドキャップ(SUS) 150φ	1φ100V	消費電力: 0.088KW	1	女子便所		
FE-9	男子便所 排風機	天井扇 低騒音形 150φx 450CMHx 10mmAq ベンドキャップ(SUS) 150φ	1φ100V	消費電力: 0.088KW	1	男子便所		
FE-10	身障者便所 排風機	天井扇 低騒音形 150φx 120CMHx 10mmAq ベンドキャップ(SUS) 150φ	1φ100V	消費電力: 0.046KW	1	身障者便所		
FE-11	排風機	天井扇 インテリア形 150φx 350CMHx 10mmAq ベンドキャップ(SUS) 150φ	1φ100V	消費電力: 0.062KW	6	研修室1,2 和室1,事務室,応接室,収蔵庫		
FE-12	倉庫 排風機	天井扇 低騒音形 100φx 30CMHx 10mmAq	1φ100V	消費電力: 0.01 KW	1	倉庫		
FE-13	和室 水屋 排風機	天井扇 低騒音形 150φx 100CMHx 10mmAq	1φ100V	消費電力: 0.028KW	1	和室		
FE-15	書庫 排風機	天井扇 低騒音形 150φx 200CMHx 5mmAq ベンドキャップ(SUS) 150φ	1φ100V	消費電力: 0.028KW	1	書庫		
FS-1	料理教室 送風機	ストレートシロッコファン 消音形 #1 3/4 x 3,000CMHx 10mmAq	3φ200V	消費電力: 1.075KW	1	ロビー天井		

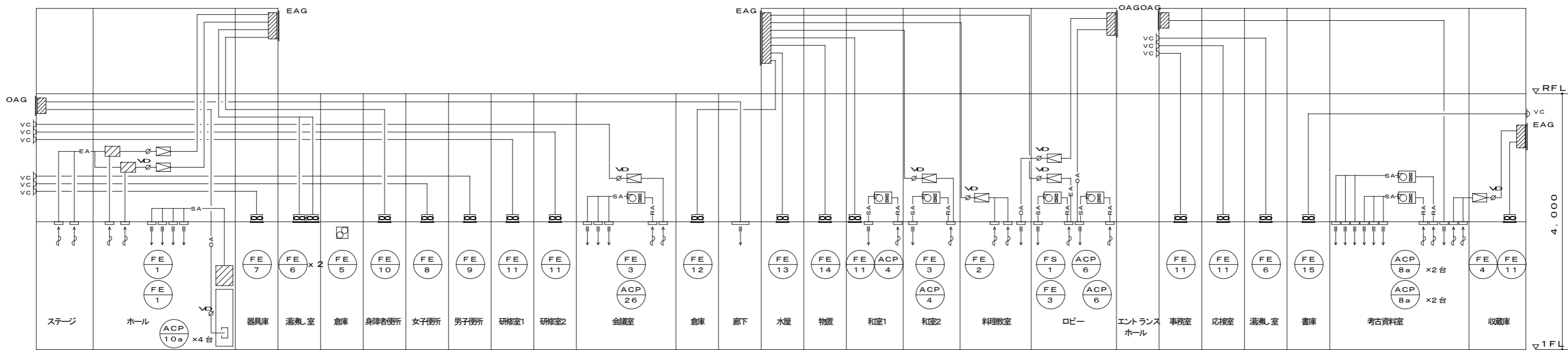
可 児 市 役 所			
工事名	川合地区センター空調・屋根防水他改修工事		
種 別	機器表(2)	図面番号	05
縮 尺	————	作製年月日	平成 年 月 日
(株) 岐 阜 建 築 設 備 計 画			

1		機 器 表( 撤去)		—				
記 号	名 称	仕 様	電 気 容 量		台数	取付場所	備 考 ( 三菱電機)	
			電 源	容 量				
ACP-1	空冷ヒートポンプ式 ツインエアコン (ステージ系統)	型 式	天井吊露出形(同時ソイン)(10HP相当)		3φ200V	C : 7.5 KW	1 セット	
		室外機	冷房能力 28.0KW 暖房能力 31.5KW 冷媒配管共	F(外): 0.7 KW				1
		室内機	冷房能力 14.0KW 暖房能力 15.0KW 冷媒配管共	F(内): 0.1 KW				2
ACP-2	空冷ヒートポンプ式 マルチエアコン (研修室、会議室系統)	型 式	冷媒配管1系統タイプ(16.0HP相当) 冷暖切替標準タイプ		3φ200V	C : 4.5 KW	1 セット	
		室外機	冷房能力 45.0KW 暖房能力 50.0KW 冷媒配管共	F(外): 0.165KW				1
		室内機	(天理2方向) 冷房能力 5.6KW 暖房能力 6.3KW 冷媒配管共	F(内): 0.17 KW				2
		室内機	(埋込ダクト) 冷房能力 14.0KW 暖房能力 16.0KW 冷媒配管共	F(内): 0.66 KW				1
		室内機	(天理2方向) 冷房能力 7.1KW 暖房能力 8.0KW 冷媒配管共	F(内): 0.2 KW				2
ACP-3	空冷ヒートポンプ式 ツインエアコン (エントランス系統)	型 式	天理2方向形(同時ソイン)(10HP相当)		3φ200V	C : 7.5 KW	2 セット	
		室外機	冷房能力 28.0KW 暖房能力 31.5KW 冷媒配管共	F(外): 0.7 KW				2
		室内機	冷房能力 14.0KW 暖房能力 15.0KW 冷媒配管共	F(内): 0.09 KW				4
ACP-4	空冷ヒートポンプ式 ペアエアコン (和室系統)	型 式	天理ダクト形(ペアタイプ)(4.0HP相当)		3φ200V	C : 7.5 KW	2 セット	
		室外機	冷房能力 11.2KW 暖房能力 12.5KW 冷媒配管共	F(外): 0.12 KW				2
		室内機	冷房能力 11.2KW 暖房能力 12.5KW 冷媒配管共	F(内): 0.24 KW				2
ACP-5	空冷ヒートポンプ式 ツインエアコン (料理教室系統)	型 式	天理2方向形(同時ソイン)(10HP相当)		3φ200V	C : 7.5 KW	1 セット	
		室外機	冷房能力 28.0KW 暖房能力 31.5KW 冷媒配管共	F(外): 0.7 KW				1
		室内機	冷房能力 14.0KW 暖房能力 15.0KW 冷媒配管共	F(内): 0.15 KW				2
ACP-6	空冷ヒートポンプ式 ペアエアコン (ロビー系統)	型 式	天理ダクト形(ペアタイプ)(4.0HP相当)		3φ200V	C : 3.0 KW	2 セット	
		室外機	冷房能力 11.2KW 暖房能力 12.5KW 冷媒配管共	F(外): 0.12 KW				2
		室内機	冷房能力 11.2KW 暖房能力 12.5KW 冷媒配管共	F(内): 0.24 KW				2
ACP-7	空冷ヒートポンプ式 マルチエアコン (事務室系統)	型 式	冷媒配管1系統タイプ(6.0HP相当) 冷暖切替標準タイプ		3φ200V	C : 4.0 KW	1 セット	
		室外機	冷房能力 16.0KW 暖房能力 17.0KW 冷媒配管共	F(外): 0.12 KW				1
		室内機	(天理2方向) 冷房能力 8.0KW 暖房能力 9.0KW 冷媒配管共	F(内): 0.095KW				2
ACP-8	空冷ヒートポンプ式 マルチエアコン (考古資料室系統)	型 式	冷媒配管1系統タイプ(20HP相当) 冷暖切替標準タイプ		3φ200V	C : (7.5x4) KW	1 セット	
		室外機	冷房能力 56.0KW 暖房能力 63.0KW 冷媒配管共	F(外): 0.055KW				1
		室内機	(埋込ダクト) 冷房能力 14.0KW 暖房能力 16.0KW 冷媒配管共	F(内): 0.1 KW				4
ACP-9	空冷ヒートポンプ式 ツインエアコン (収蔵庫系統)	型 式	天理2方向形(同時ソイン)(8.0HP相当)		3φ200V	C : 5.5 KW	1 セット	
		室外機	冷房能力 22.4KW 暖房能力 25.0KW 冷媒配管共	F(外): 0.35 KW				1
		室内機	冷房能力 11.2KW 暖房能力 12.5KW 冷媒配管共	F(内): 0.09 KW				2
ACP-10	空冷ヒートポンプ式 ビルマルチエアコン (ホール系統)	型 式	冷媒配管1系統タイプ(16HP相当) 冷暖切替標準タイプ		3φ200V	C : 7.5+3.75KW	2 セット	
		室外機	冷房能力 45.0KW 暖房能力 50.0KW 冷媒配管共	F(外): 1.11 KW				2
		室内機	冷房能力 22.4KW 暖房能力 25.0KW 冷媒配管共	F(内): 0.9 KW				4

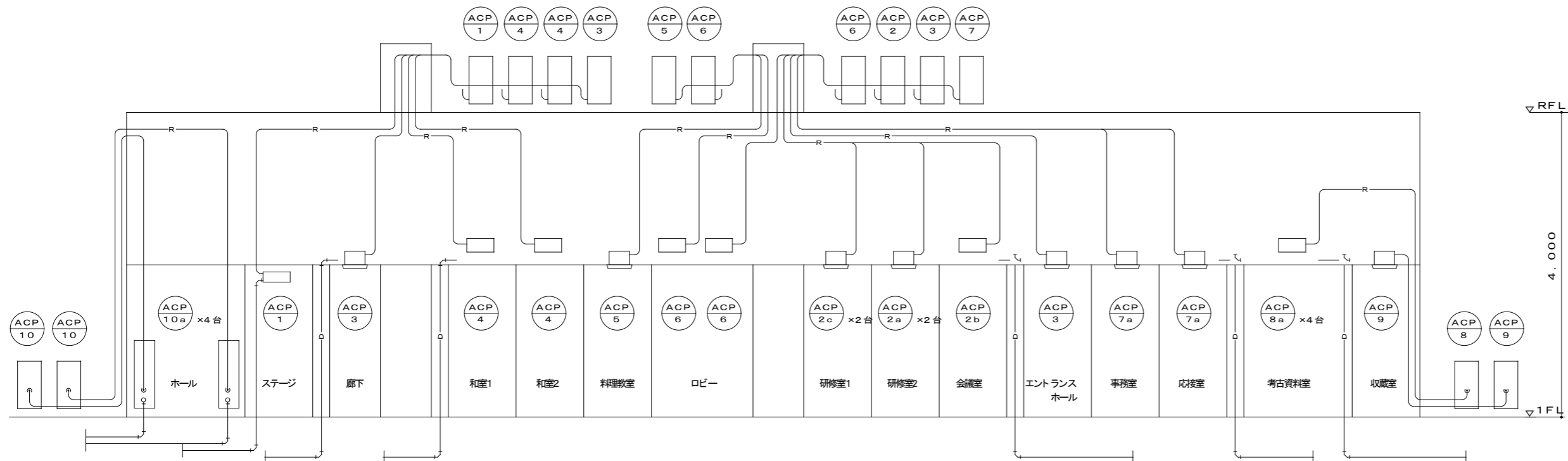
記 号	名 称	仕 様	電 気 容 量		台数	取付場所	備 考
			電 源	容 量			
FE-1	ホール 排風機	ストレートシロッコファン消音形 #1 3/4 x 1,420CMHx10mmAq	3φ200V	消費電力: 0.49 KW	2	ホール天井内	三菱 BFS-120TU
FE-2	料理教室 排風機	ストレートシロッコファン消音形 #1 3/4 x 2,890CMHx20mmAq	3φ200V	消費電力: 1.075KW	1	料理教室	三菱 BFS-30FTU
FE-3	排風機	ストレートシロッコファン消音形 #1 1/4 x 350CMHx10mmAq	3φ200V	消費電力: 0.073KW	3	会議室、和室、ロビー	三菱 BFS-40FU
FE-4	考古資料館 排風機	ストレートシロッコファン消音形 #1 1/2 x 800CMHx10mmAq	3φ200V	消費電力: 0.195KW	1	考古資料館天井内	三菱 BFS-90FU
FE-5	倉庫 排風機	壁取付換気扇 羽根径 20cm 排気量 600CMH	1φ100V	消費電力: 0.0205KW	1	倉庫 壁	三菱 VD-202B4
FE-6	湯沸室 排風機	天井扇 低騒音形 150φx510CMHx8mmAq ベンドキャップ(SUS)150φ	1φ100V	消費電力: 0.05 KW	3	湯沸室	三菱 VD-232P4
FE-7	器具庫 排風機	天井扇 低騒音形 100φx170CMHx5mmAq ベンドキャップ(SUS)100φ	1φ100V	消費電力: 0.024KW	1	器具庫	三菱 VD-152P4
FE-8	女子便所 排風機	天井扇 低騒音形 150φx450CMHx8mmAq ベンドキャップ(SUS)150φ	1φ100V	消費電力: 0.088KW	1	女子便所	三菱 VD-232B4
FE-9	男子便所 排風機	天井扇 低騒音形 150φx450CMHx10mmAq ベンドキャップ(SUS)150φ	1φ100V	消費電力: 0.088KW	1	男子便所	三菱 VD-232B4
FE-10	身障者便所 排風機	天井扇 低騒音形 150φx120CMHx10mmAq ベンドキャップ(SUS)150φ	1φ100V	消費電力: 0.046KW	1	身障者便所	三菱 VD-182B4
FE-11	排風機	天井扇 円形形 150φx350CMHx10mmAq ベンドキャップ(SUS)150φ	1φ100V	消費電力: 0.062KW	6	備室1,2、応接室 和室1、事務系、収蔵庫	三菱 VD-202XP4
FE-12	倉庫 排風機	天井扇 低騒音形 100φx30CMHx10mmAq	1φ100V	消費電力: 0.01 KW	1	倉庫	三菱 VD-102SJ4
FE-13	和室 水屋 排風機	天井扇 低騒音形 150φx100CMHx10mmAq	1φ100V	消費電力: 0.028KW	1	和室	三菱 VD-152P4
FE-15	書庫 排風機	天井扇 低騒音形 150φx200CMHx5mmAq ベンドキャップ(SUS)150φ	1φ100V	消費電力: 0.028KW	1	書庫	三菱 VD-182B4
FS-1	料理教室 送風機	ストレートシロッコファン消音形 #1 3/4 x 3,000CMHx10mmAq	3φ200V	消費電力: 1.075KW	1	ロビー天井	三菱 BFS-30FTU

可 児 市 役 所			
工事名	川合地区センター空調・屋根防水他改修工事		
種 別	機器表(撤去)	図面番号	06
縮 尺	—	作製年月日	平成 年 月 日
印			
(株) 岐 阜 建 築 設 備 計 画			

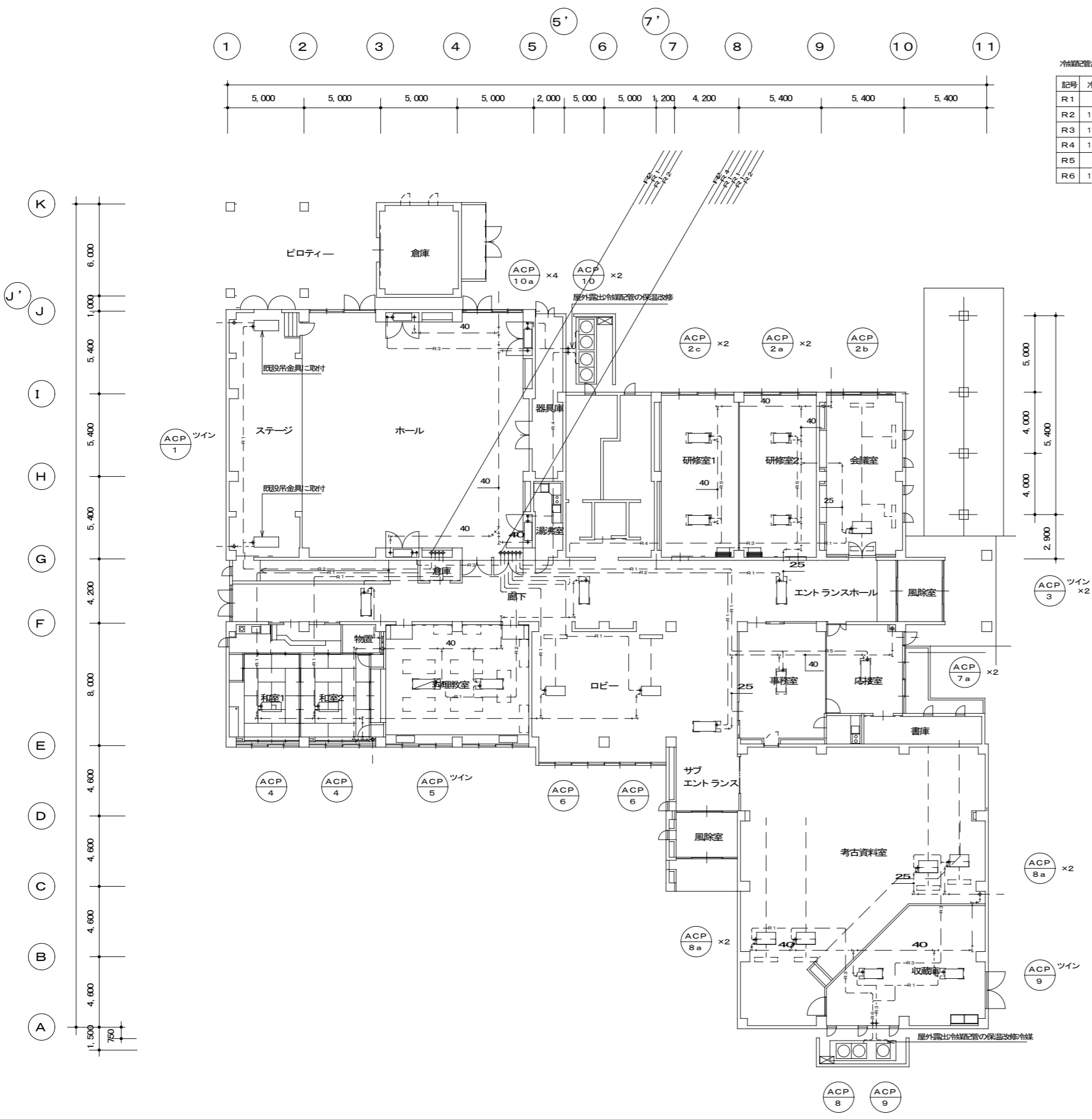
1 空調ダクト・換気設備系統図



2 空調配管設備系統図



可 児 市 役 所			
工事名	川合地区センター空調・屋根防水他改修工事		
種 別	空調ダクト・換気・配管設備系統図	図面番号	07
縮 尺	—	作製年月日	平成 年 月 日
印			
(株) 岐 阜 建 築 設 備 計 画			

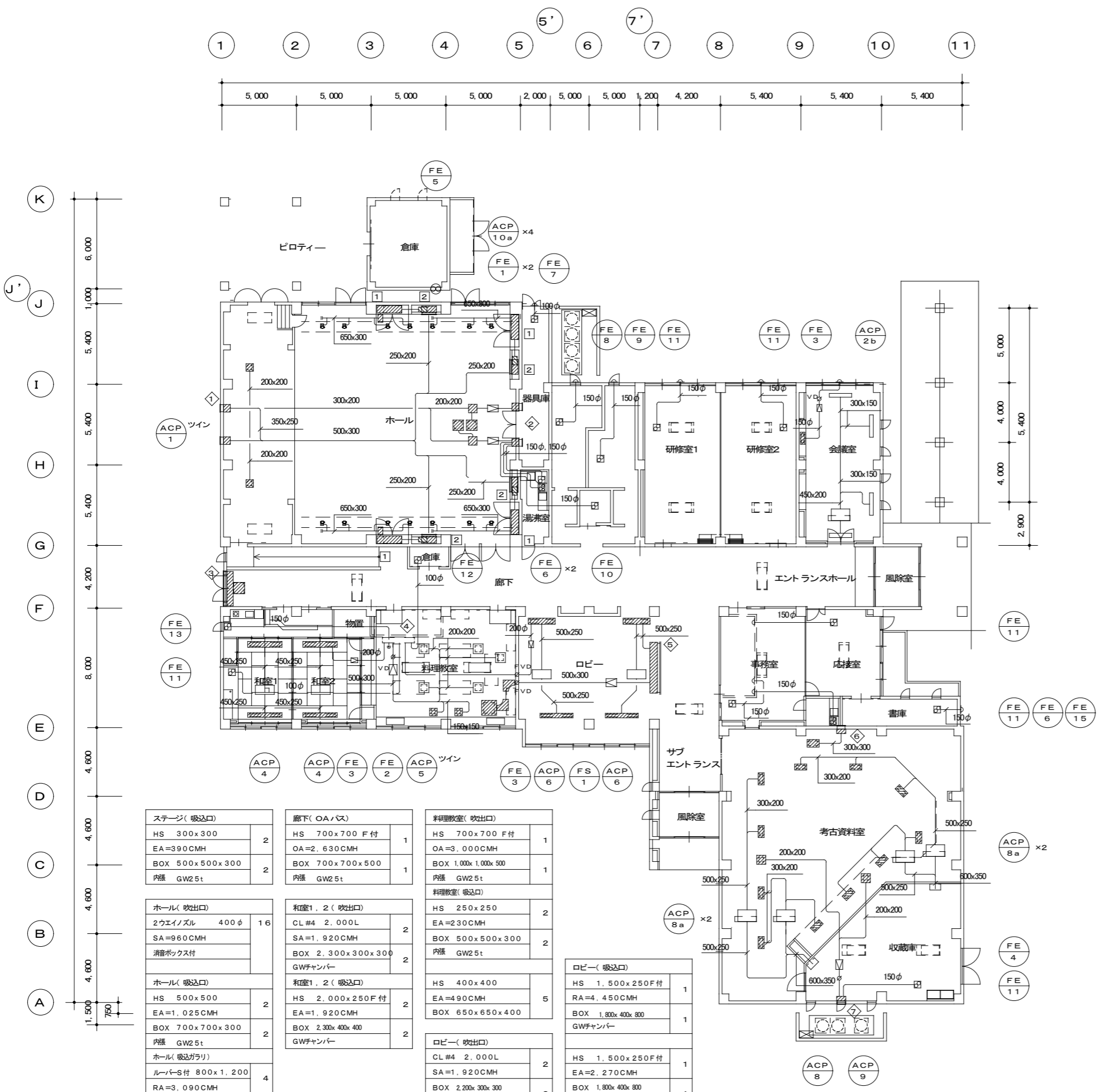


冷暖配管および配線一覧表

記号	冷暖液管	冷暖ガス管	室外内機渡り配線
R1	9.52φ	19.05φ	VCT2" x 2C
R2	15.88φ	28.58φ	VCT2" x 2C
R3	12.70φ	25.40φ	VCT2" x 2C
R4	15.88φ	31.75φ	VCT2" x 2C
R5	9.52φ	15.88φ	VCT2" x 2C
R6	19.05φ	38.10φ	VCT2" x 2C

可 児 市 役 所			
工事名	川合地区センター空調・屋根防水他改修工事		
種 別	1階平面図(機器配管設備)	図面番号	08
縮 尺	1/200	作製年月日	平成 年 月 日
印			
(株) 岐 阜 建 築 設 備 計 画			





ステージ(吸込口)	
HS 300x300	2
EA=390CMH	
BOX 500x500x300	2
内張 GW25t	

ホール(吹出口)	
2ウエノズル 400φ	16
SA=960CMH	
消音ボックス付	

ホール(吸込口)	
HS 500x500	2
EA=1,025CMH	
BOX 700x700x300	2
内張 GW25t	
ホール(吸込ガラリ)	
ルーバーS付 800x1,200	4
RA=3,090CMH	

廊下(OAノズ)	
HS 700x700 F付	1
OA=2,630CMH	
BOX 700x700x500	1
内張 GW25t	

和室1,2(吹出口)	
CL#4 2,000L	2
SA=1,920CMH	
BOX 2,300x300x300	2
GWチャンバー	

和室1,2(吸込口)	
HS 2,000x250 F付	2
EA=1,920CMH	
BOX 2,300x400x400	2
GWチャンバー	

料理教室(吹出口)	
HS 700x700 F付	1
OA=3,000CMH	
BOX 1,000x1,000x500	1
内張 GW25t	

料理教室(吸込口)	
HS 250x250	2
EA=230CMH	
BOX 500x500x300	2
内張 GW25t	

ロビー(吹出口)	
CL#4 2,000L	2
SA=1,920CMH	
BOX 2,200x300x300	2
GWチャンバー	

ロビー(吸込口)	
HS 1,500x250 F付	1
RA=4,450CMH	
BOX 1,800x400x800	1
GWチャンバー	
ロビー(吸込口)	
HS 1,500x250 F付	1
EA=2,270CMH	
BOX 1,800x400x800	1
GWチャンバー	

会議室(吹出口)	
CL#5 1,500L	3
SA=620CMH	
BOX 1,800x300x300	3
GWチャンバー	

会議室(吸込口)	
HS 1,500x300 F付	1
SA=1,860CMH	
BOX 1,800x400x600	1
GWチャンバー	
HS 600x150 F付	1
EA=350CMH	
BOX 800x300x300	1
内張 GW25t	

考古資料室(吹出口)	
VHS 600x200	11
SA=800CMH	
BOX	11
GWチャンバー	
VHS 600x300	1
OA=800CMH	
BOX 800x500x300	1
内張 GW25t	

考古資料室(吸込口)	
RA=4,800CMH	
HS 300x300	2
EA=400CMH	
BOX 600x600x300	2
内張 GW25t	

1 サブライチャンバー	
1,650x500x650	4
消音内貼 GW25t	
アルミハンチング挿入	

2 レターチャンバー	
1,400x1,000x450	4
消音内貼 GW25t	
ガラスクロス挿入	

① OAG 2,000x450(建具)	
OA=2,440CMH	1
BOX 2,000x450x500	1
消音内貼 GW25t	

② EAG 1,800x450(建具)	
EA=3,490CMH	1
BOX 1,800x450x500	1
消音内貼 GW25t	

③ OAG 2,300x400(建具)	
OA=2,630CMH	1
BOX 2,300x400x500	1
消音内貼 GW25t	

④ ウェザーカバー	
SUS4,000x500 防虫網付	1
EA=4,590CMH	

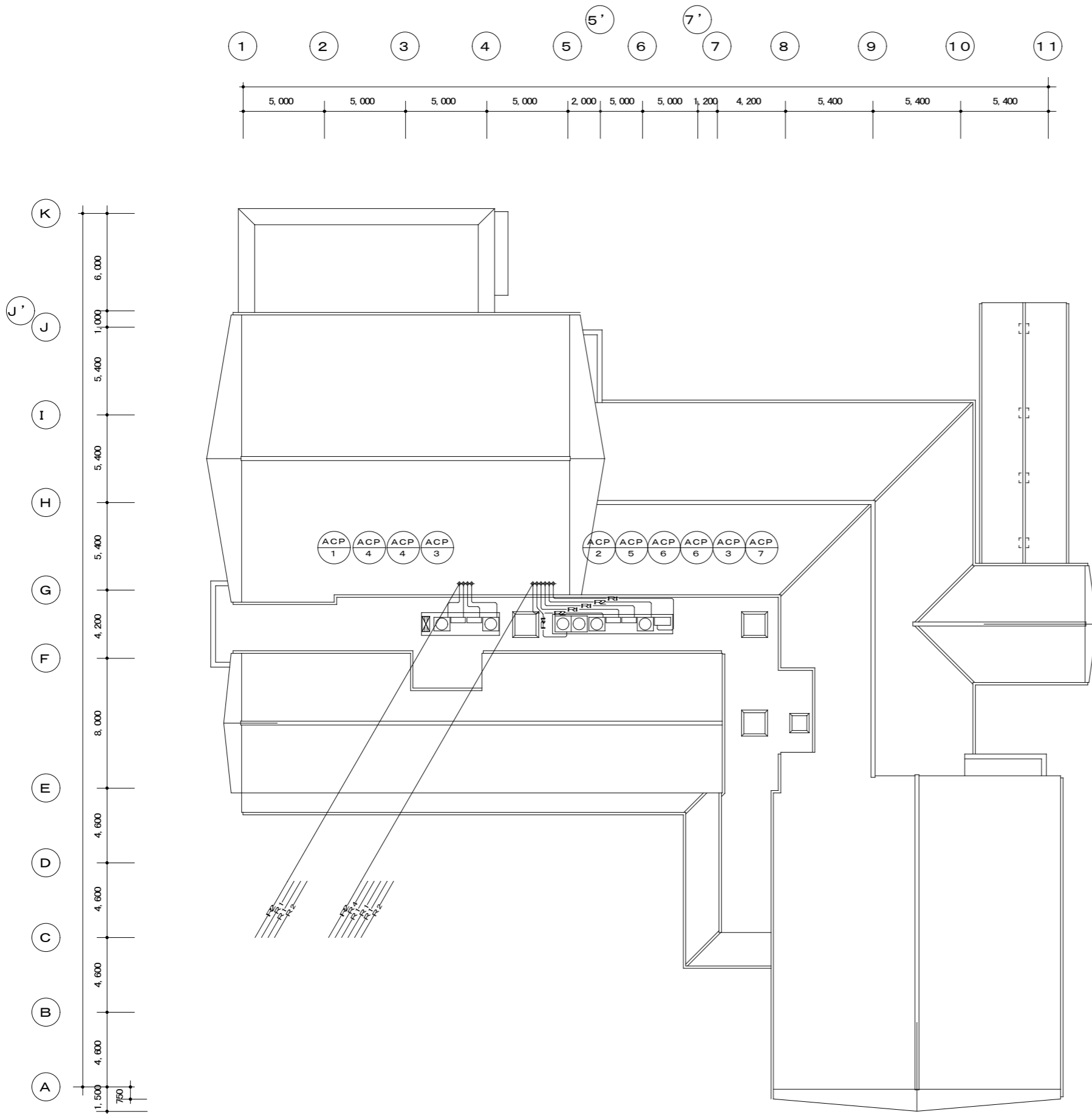
⑤ OAG 3,400x500(建具)	
OA=5,530CMH	1
BOX 3,400x500x500	1
消音内貼 GW25t	

⑥ OAG 1,000x350(建具)	
OA=1,150CMH	1
BOX 1,300x300x600	1
消音内貼 GW25t	

⑦ EAG 1,000x500(建具)	
EA=1,150CMH	1
BOX 1,300x300x600	1
消音内貼 GW25t	

**可 児 市 役 所**

工事名	川合地区センター空調・屋根防水他改修工事		
種 別	1階平面図(換気ダクト設備)	図面番号	09
縮 尺	1/200	作製年月日	平成 年 月 日
印			
(株) 岐 阜 建 築 設 備 計 画			



冷媒配管および連絡線一覧表

R1 記号	冷媒液管	冷媒ガス管	室外内機渡り配線
R1	9.52φ	19.05φ	VCT2' x 2C
R2	15.88φ	28.58φ	VCT2' x 2C
R3	12.70φ	25.40φ	VCT2' x 2C
R4	15.88φ	31.75φ	VCT2' x 2C
R5	9.52φ	15.88φ	VCT2' x 2C
R6	19.05φ	38.10φ	VCT2' x 2C

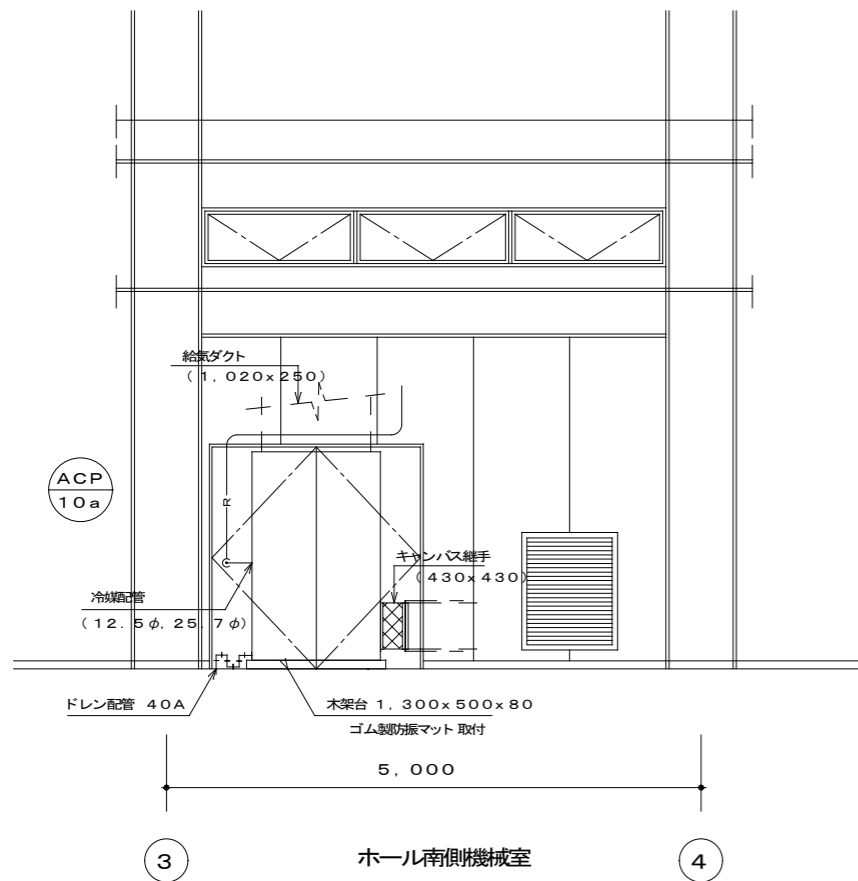
可 児 市 役 所

工事名	川合地区センター空調・屋根防水他改修工事		
種 別	屋根伏平面図(機器配管設備)	図面番号	10
縮 尺	1/200	作製年月日	平成 年 月 日

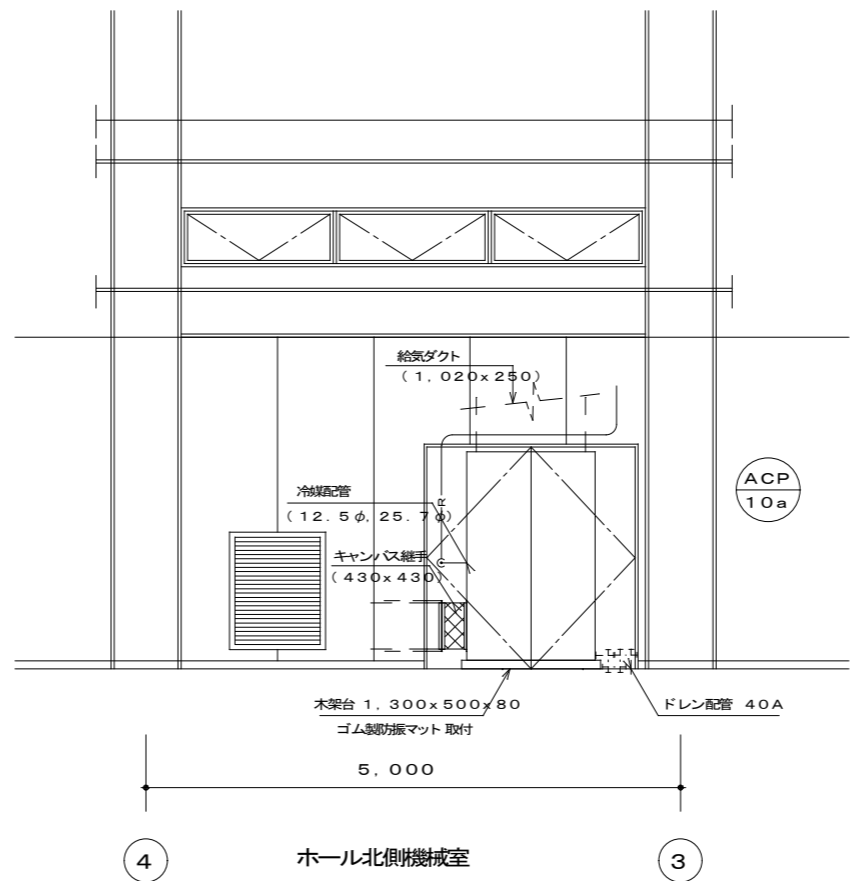
印

(株) 岐阜建築設備計画

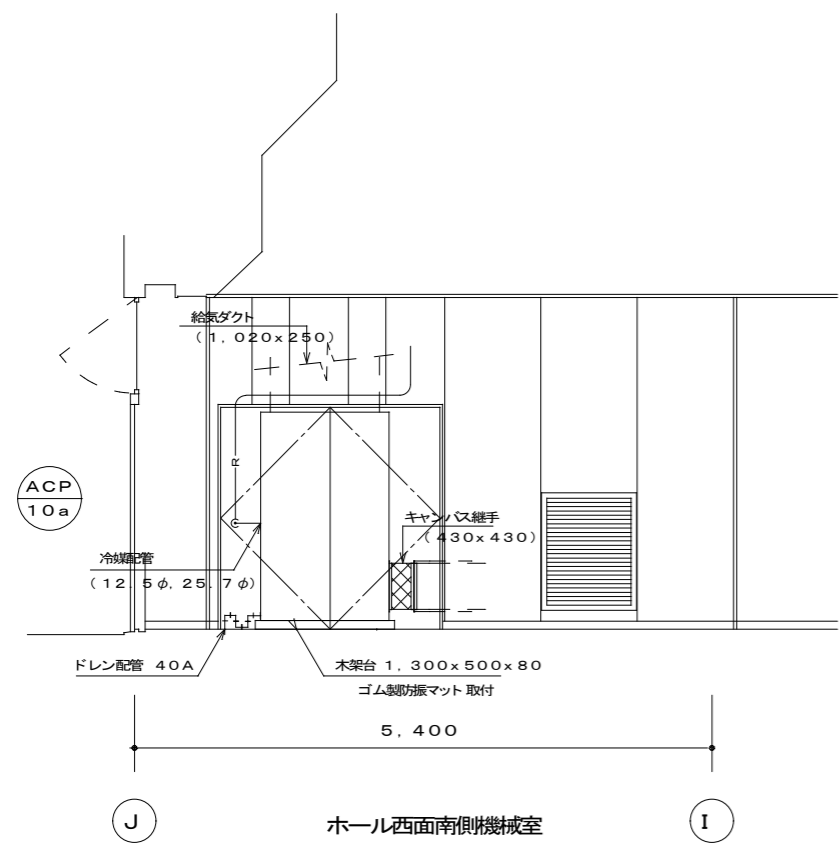
1 ホール南側機械室側面図 1/50



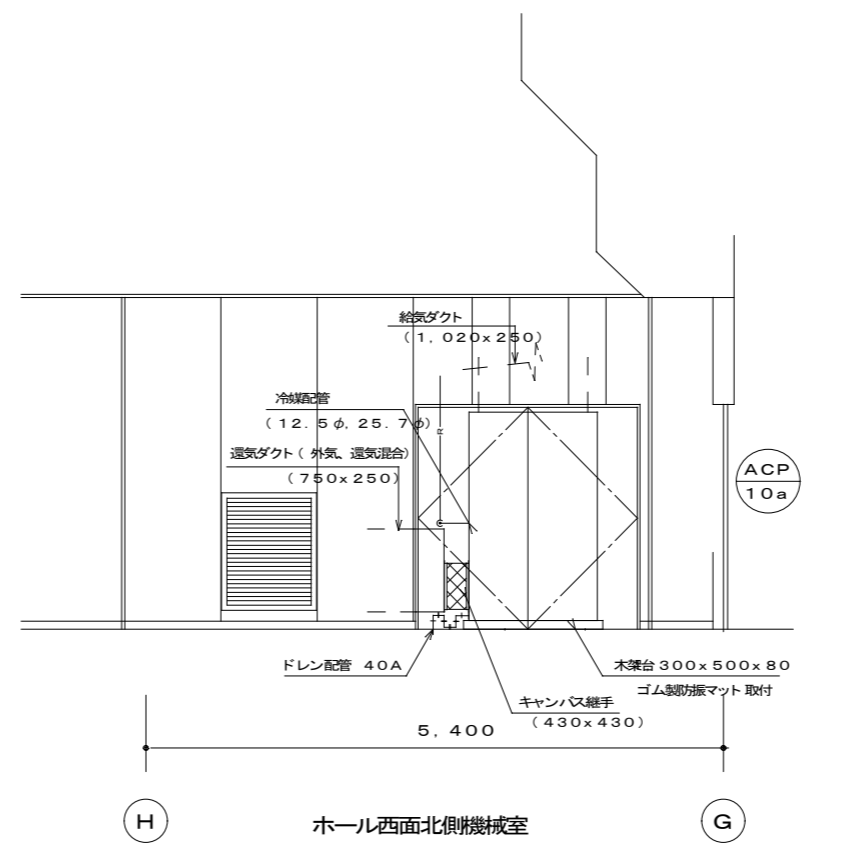
2 ホール北側機械室側面図 1/50



3 ホール西面南側機械室側面図 1/50

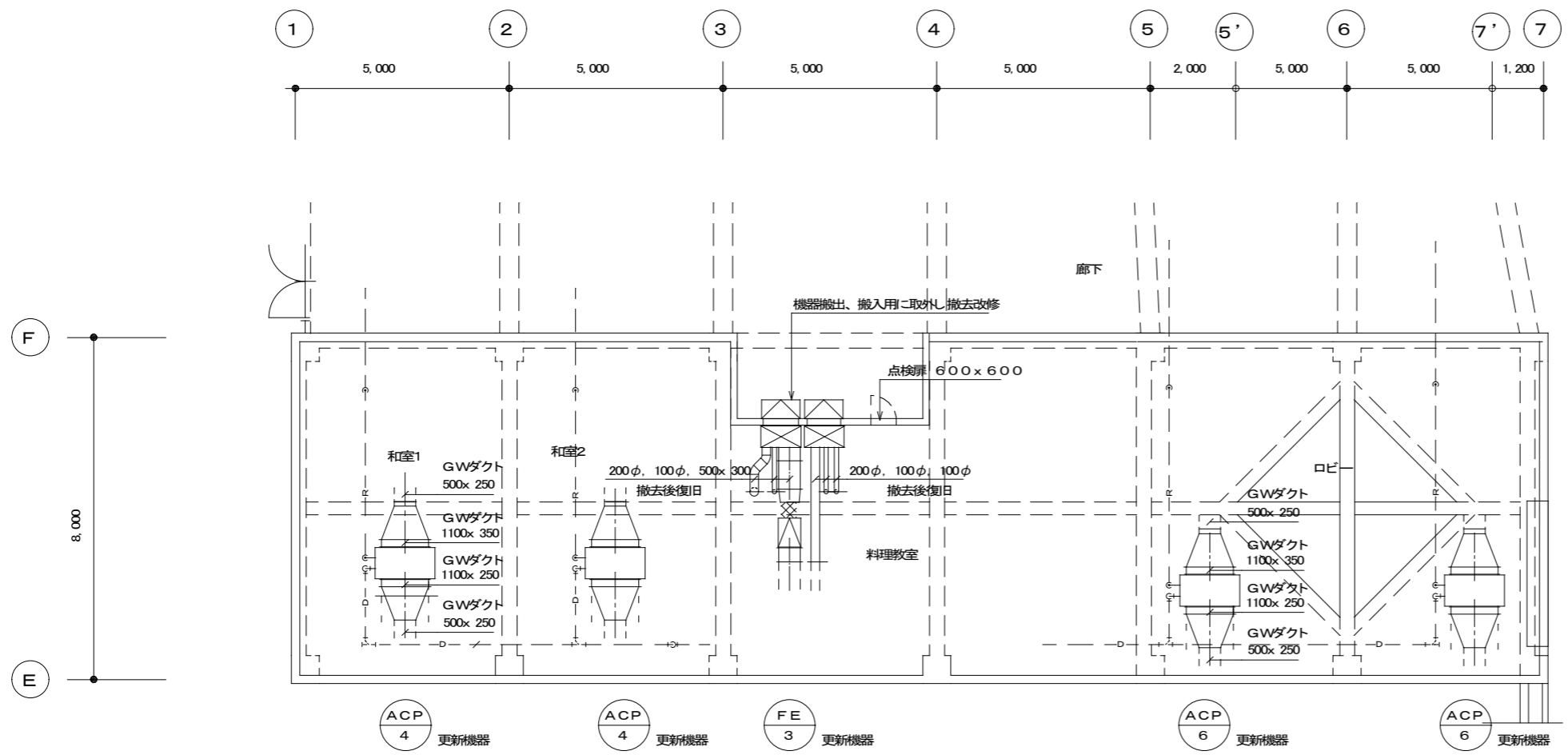


3 ホール西面北側機械室側面図 1/50

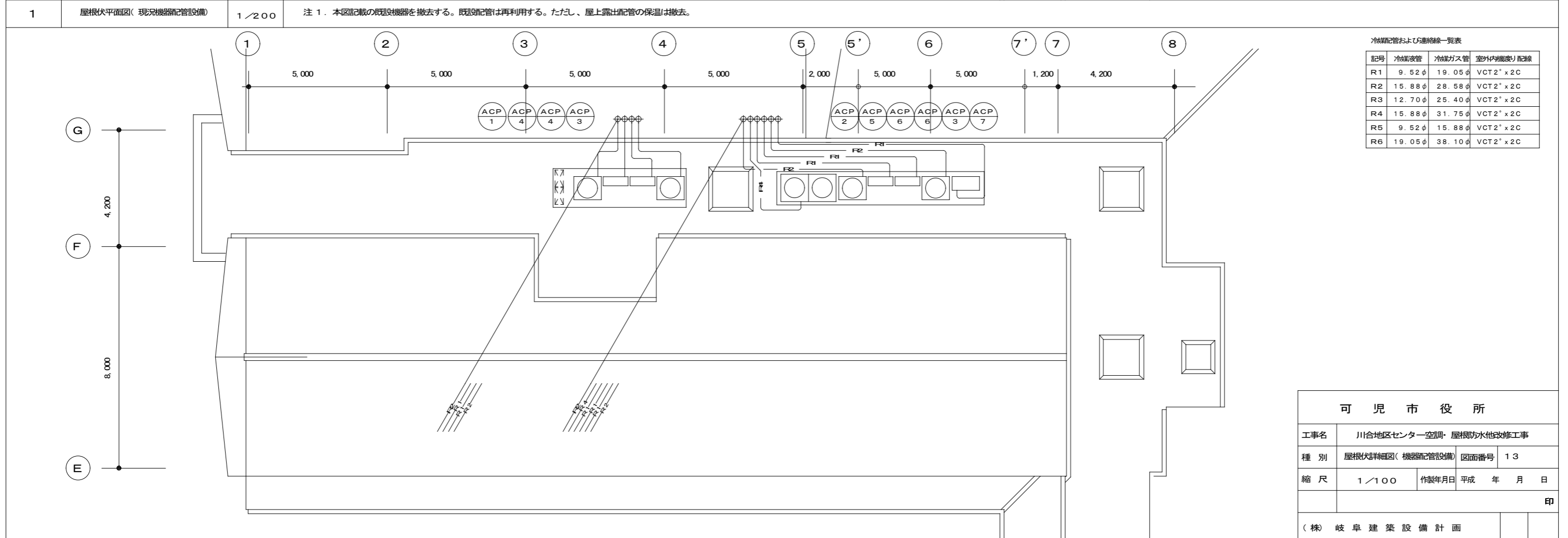
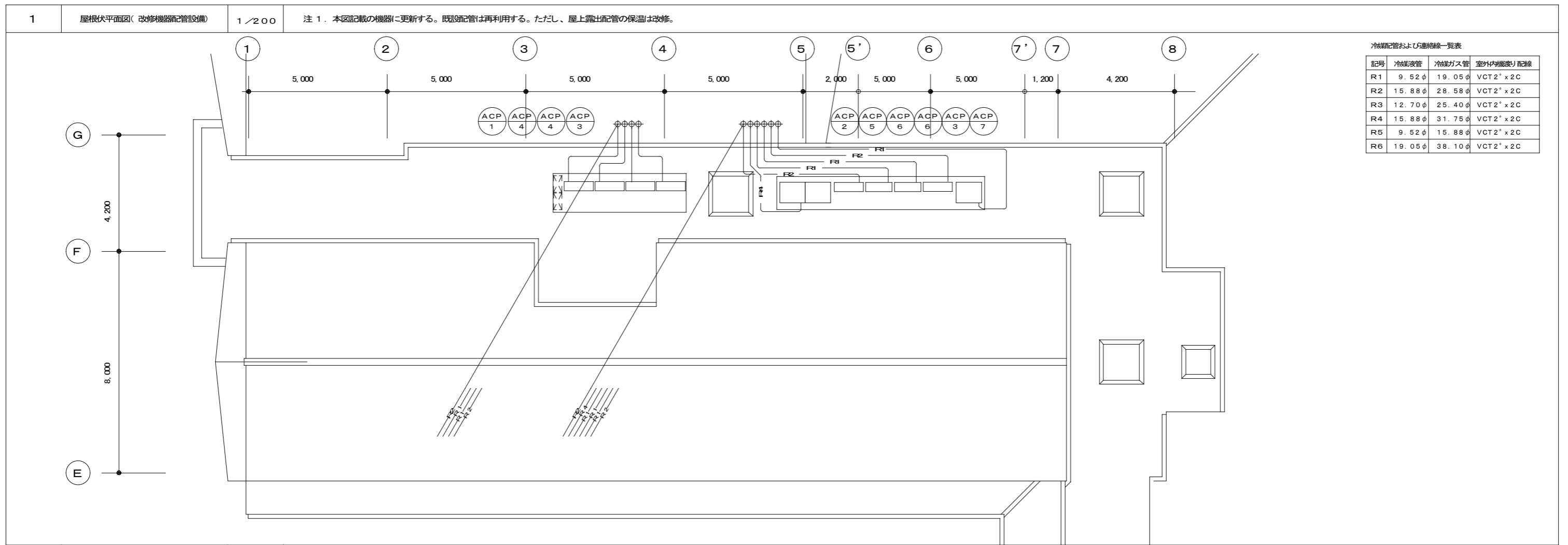


可 見 市 役 所			
工事名	川合地区センター空調・屋根防水他改修工事		
種 別	1階ホール機械室詳細図	図面番号	11
縮 尺	1/50	作製年月日	平成 年 月 日
印			
(株) 岐阜建築設備計画			

- 1. 屋根裏機器撤去および新設機器搬入用開口部改修(排気フード、チャンバー、ダクト改修)
- 2. エアコン室内機(和室およびロビー系統)の更新こともない、吹出し、吸込みダクト(GWダクト)および機器接続用配管の部分改修工事を行う。

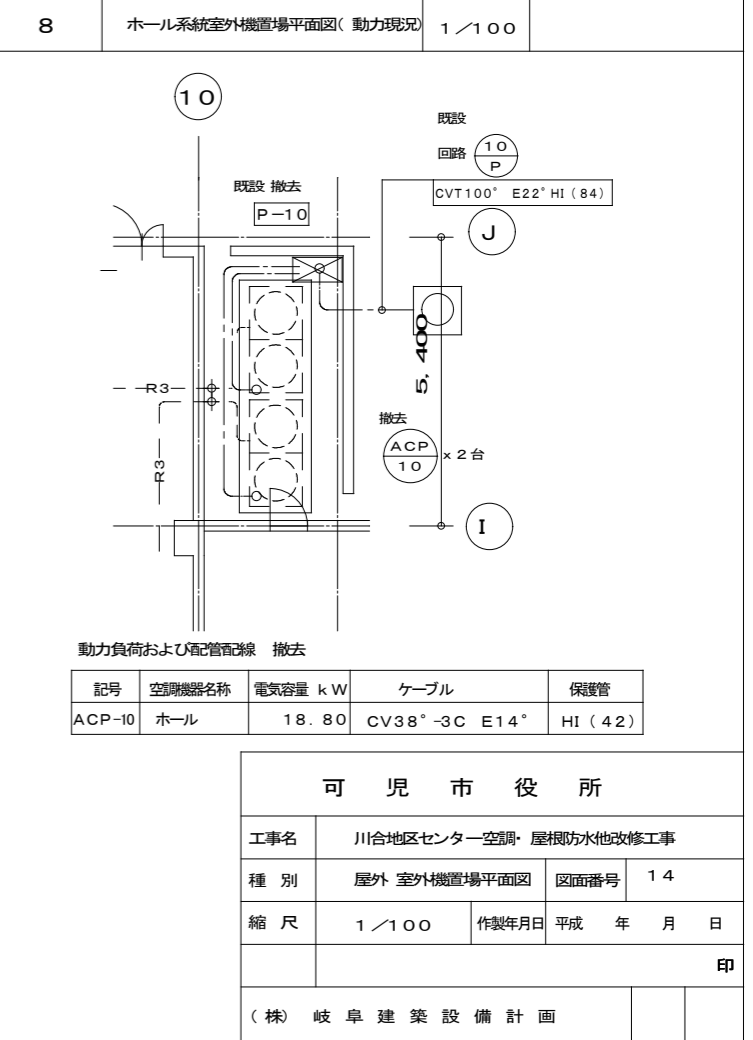
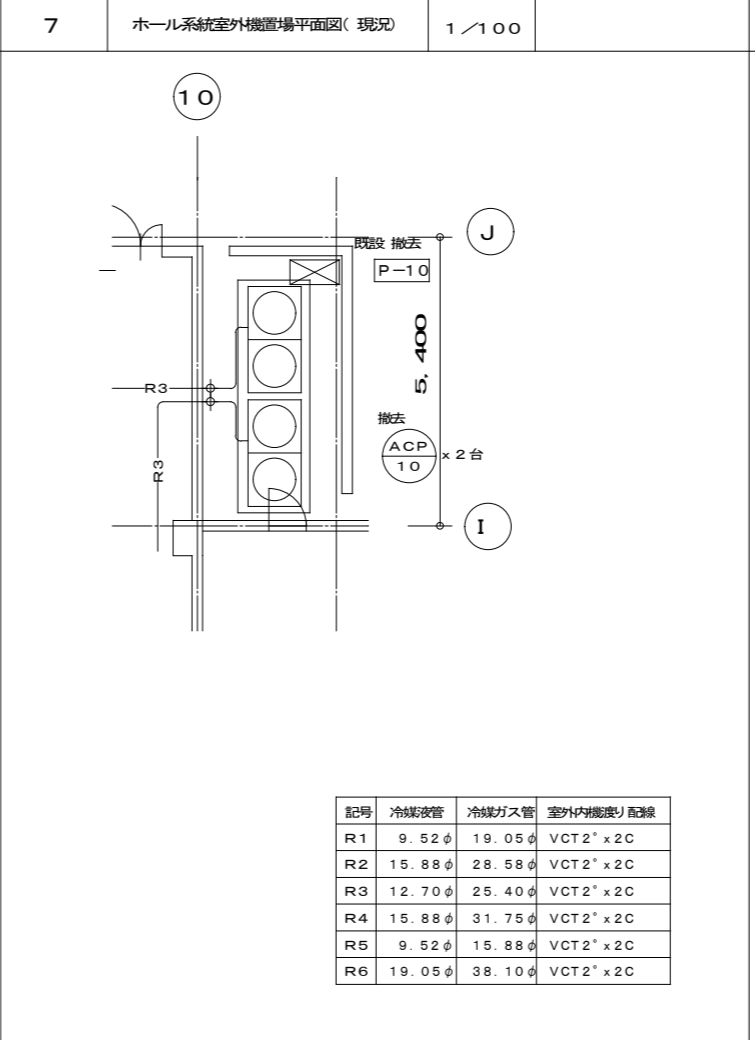
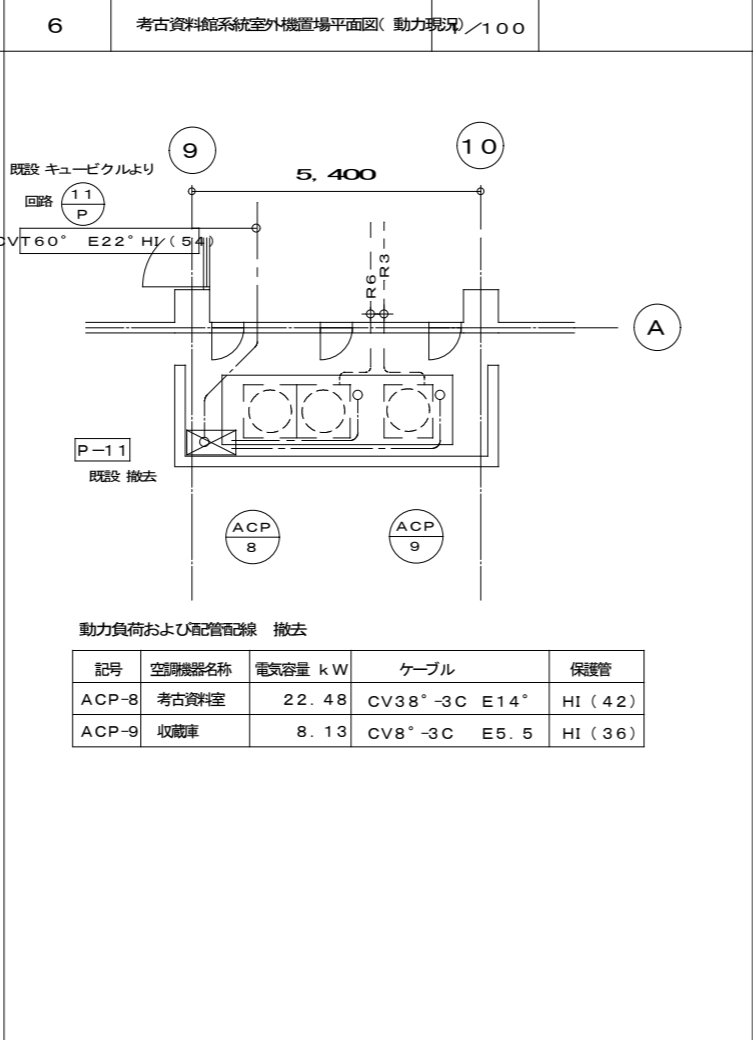
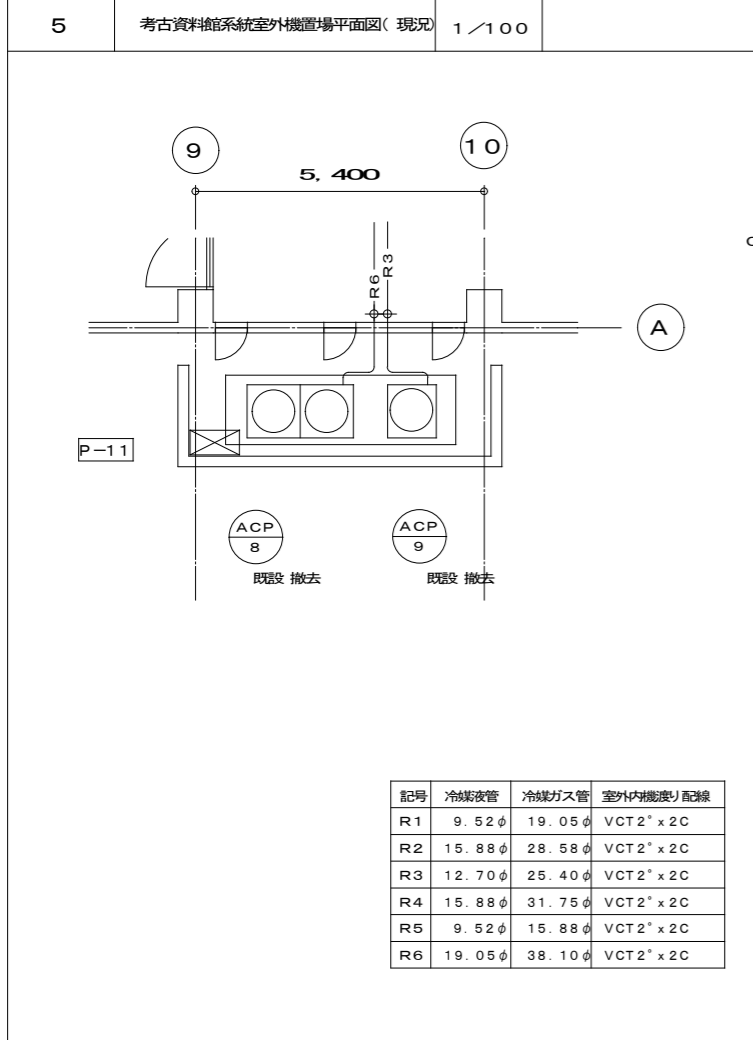
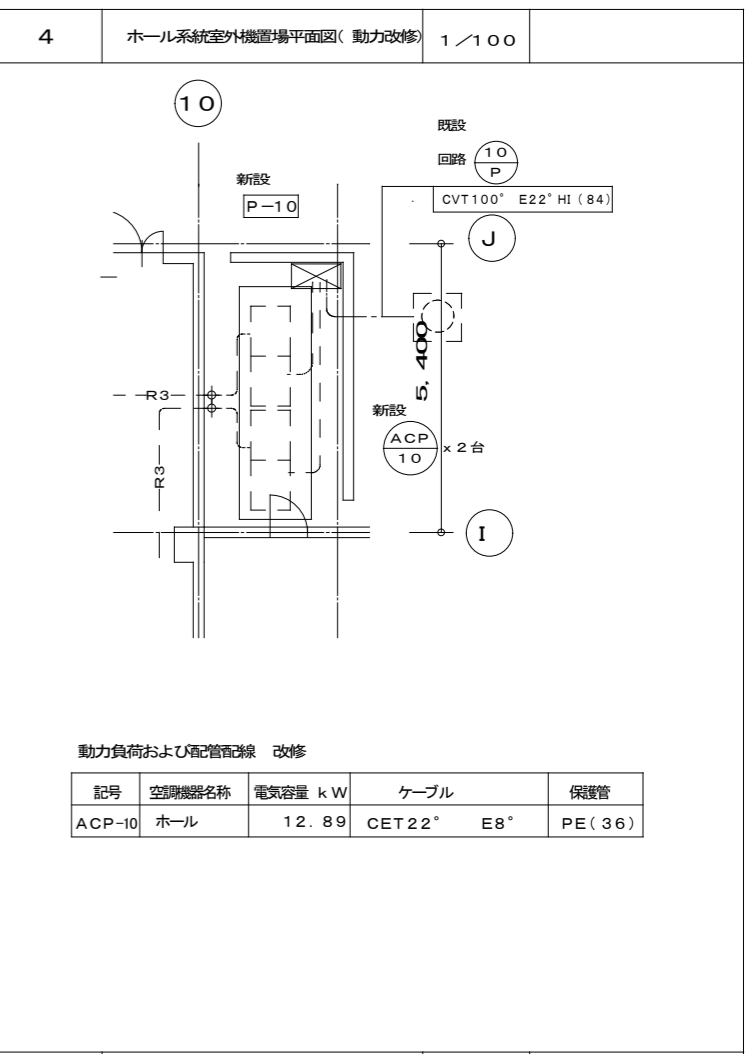
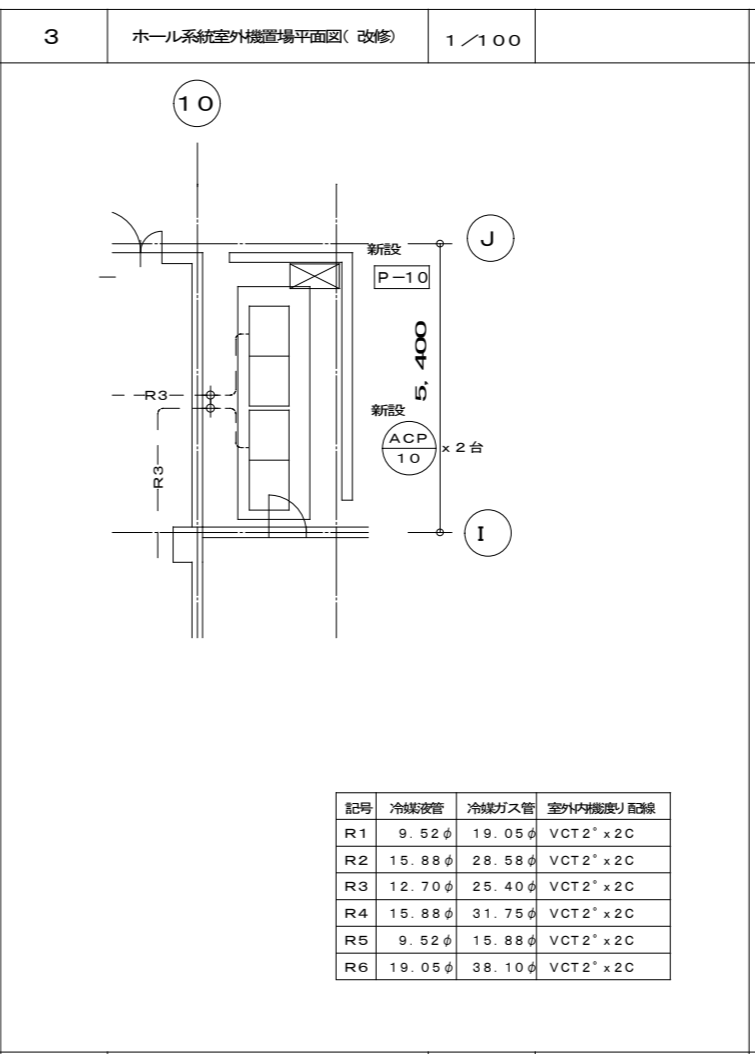
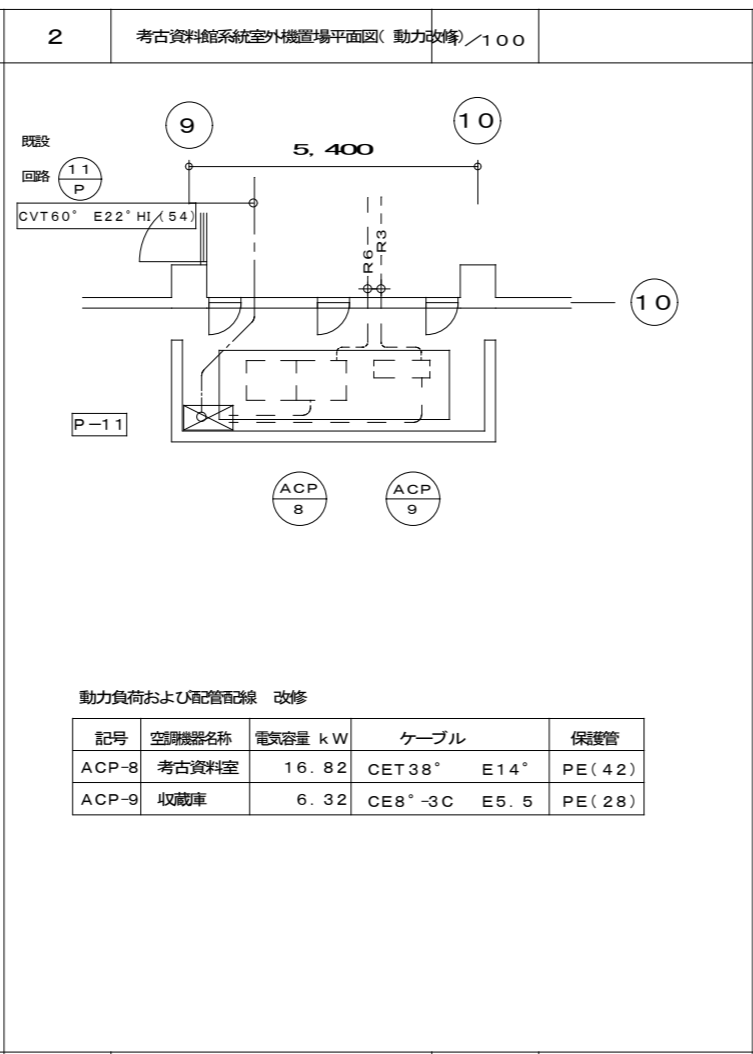
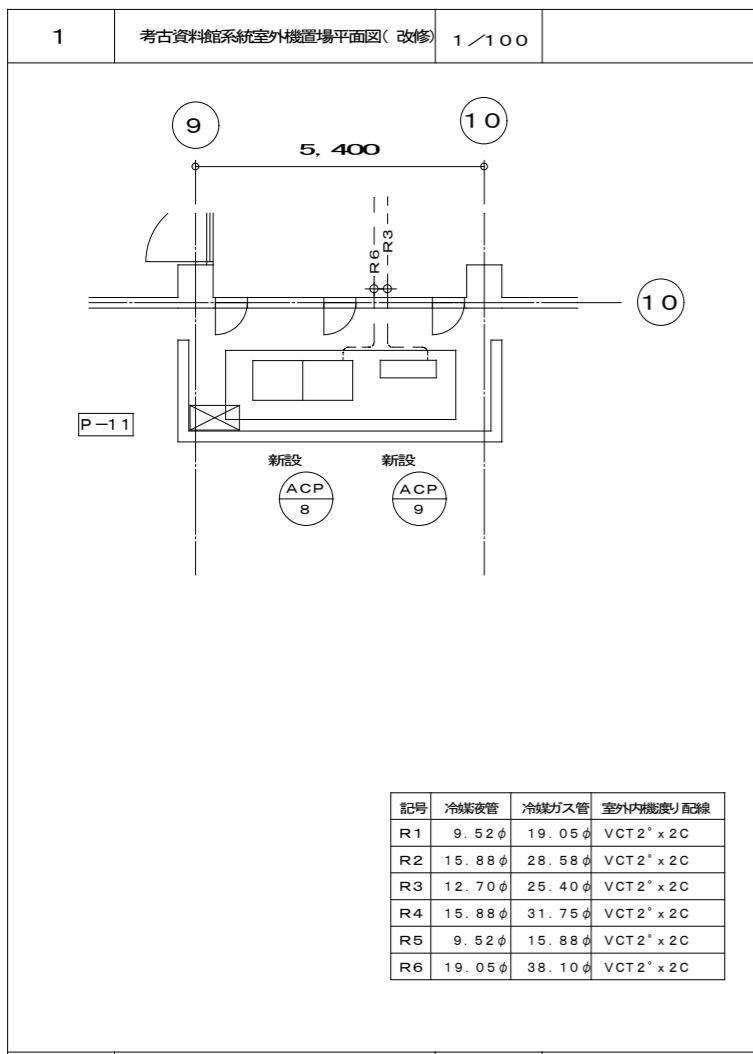


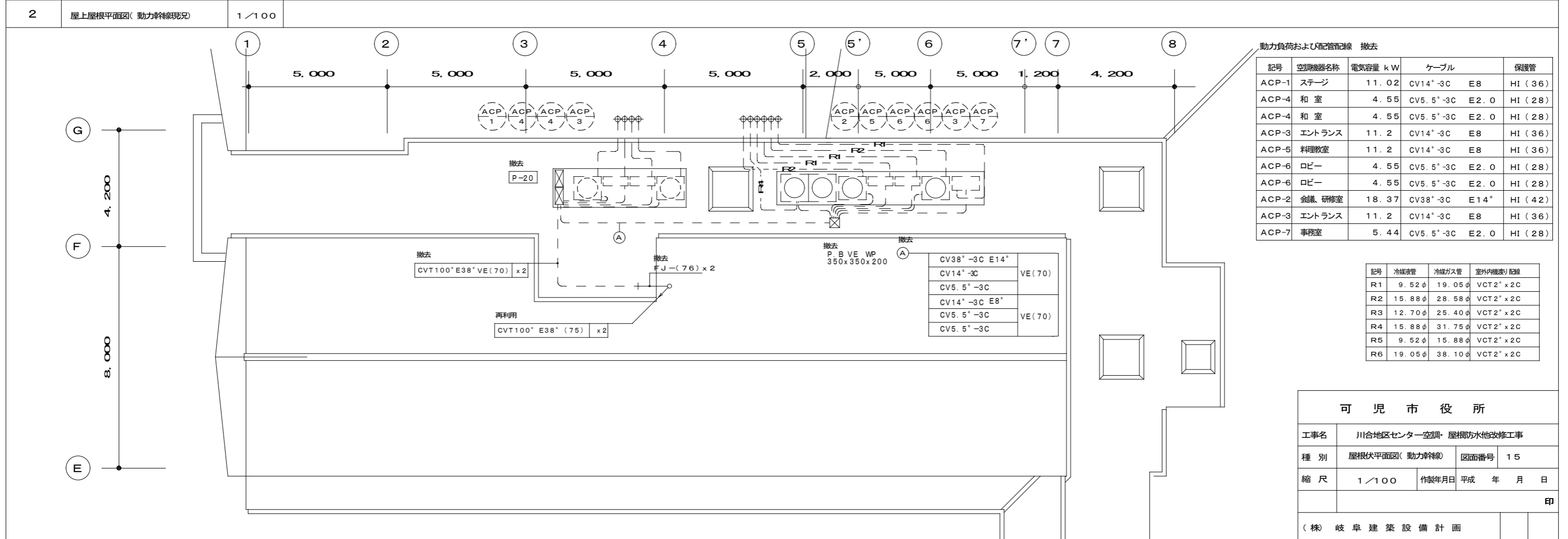
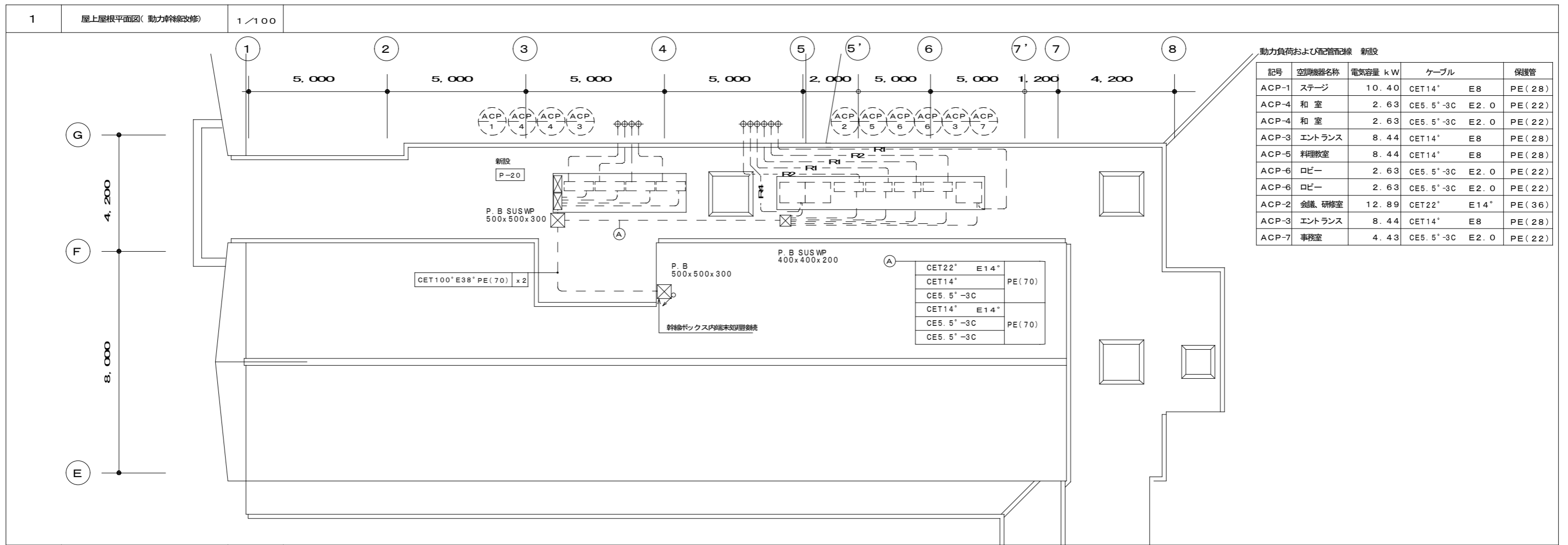
可 児 市 役 所			
工事名	川合地区センター空調・屋根防水他改修工事		
種 別	屋根裏平面詳細図	図面番号	12
縮 尺	1/100	作製年月日	平成 年 月 日
印			
(株) 岐阜建築設備計画			



可児市役所

工事名	川合地区センター空調・屋根防水他改修工事		
種別	屋根伏詳細図(機器配管設備)	図面番号	13
縮尺	1/100	作製年月日	平成 年 月 日
印			
(株) 岐阜建築設備計画			



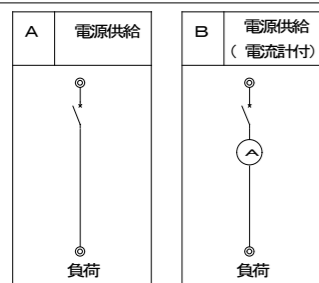


可児市役所

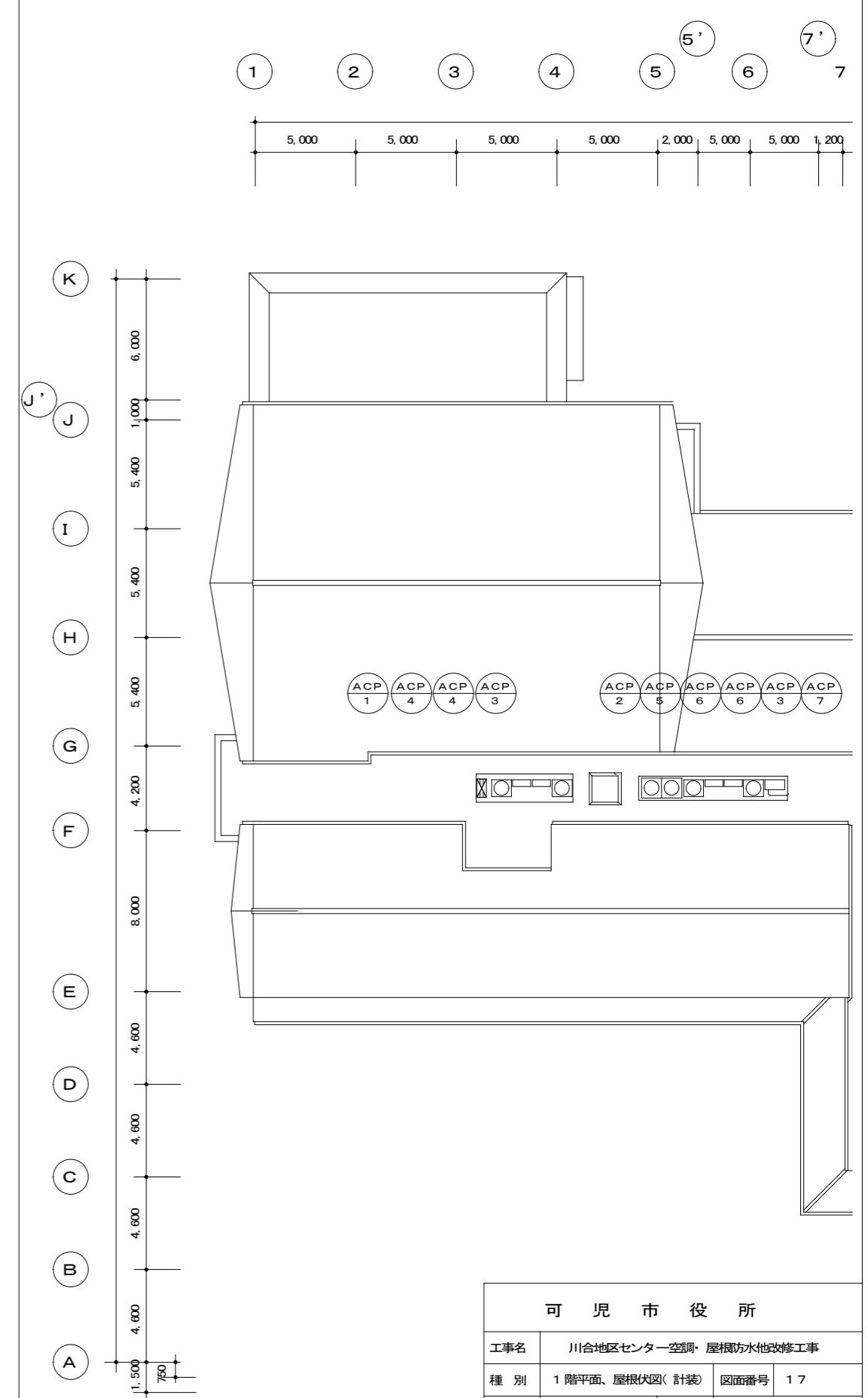
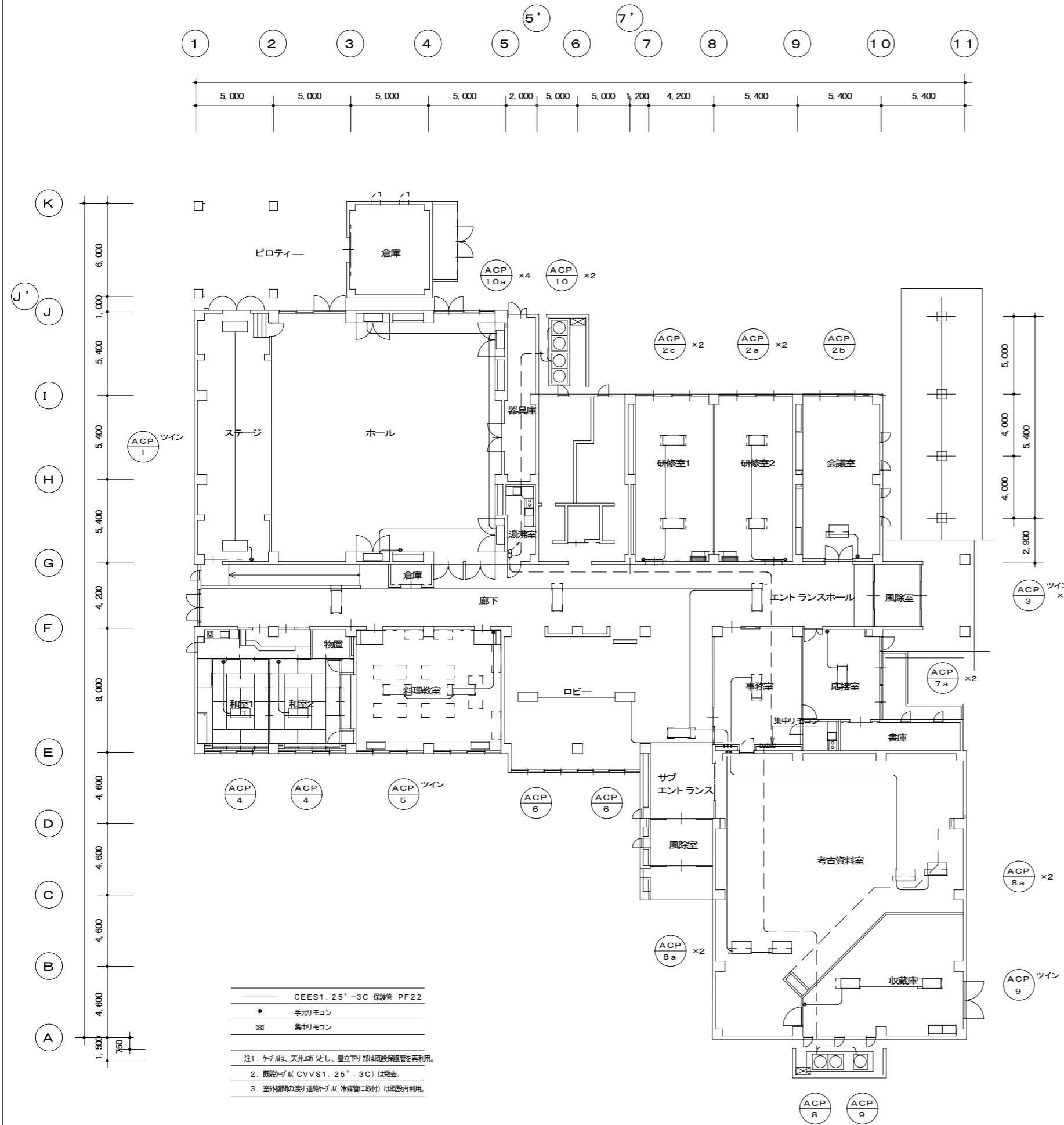
工事名	川合地区センター空調・屋根防水他改修工事		
種別	屋根伏平面図(動力幹線)	図面番号	15
縮尺	1/100	作製年月日	平成 年 月 日
印			
(株) 岐阜建築設備計画			

盤名称		主幹		負荷													
記号	総容量(kW)	幹線No.	幹線サイズ	配線用遮断器	電圧計	表示灯	結線図	負荷記号	負荷名称	容量kW	電気方式 相数 電圧	台数	配線用遮断器 種別 極数 AF AT	保護 リレー	展開図 結線図 制御図	コンデンサ備考 (μF)	
P-10 SUS WP	33.88	10 P	既設 100°	◎				ACP-10	空調機	12.89	3 200	1	ELB 3 100 75	B			
								ACP-10	空調機	12.89	3 200	1	ELB 3 100 75	B			
								L-10 送り		8.1	3 200	1	MCB 3 50 50	A			
P-11 SUS WP	22.75	11 P	既設 60°	◎				ACP-8	空調機	16.42	3 200	1	ELB 3 100 100	B			
								ACP-9	空調機	6.33	3 200	1	ELB 3 50 50	B			
P-20 SUS WP	32.54	20 P	既設 100°	◎				ACP-1	空調機	10.40	3 200	1	ELB 3 50 50	B			
								ACP-4	空調機	2.63	3 200	1	ELB 3 50 30	B			
								ACP-4	空調機	2.63	3 200	1	ELB 3 50 30	B			
								ACP-3	空調機	8.44	3 200	1	ELB 3 50 50	B			
								ACP-5	空調機	8.44	3 200	1	ELB 3 50 50	B			
	31.02	21 P	既設 100°	◎					ACP-6	空調機	2.63	3 200	1	ELB 3 50 30	B		
									ACP-6	空調機	2.63	3 200	1	ELB 3 50 30	B		
									ACP-2	空調機	12.89	3 200	1	ELB 3 100 75	B		
									ACP-3	空調機	8.44	3 200	1	ELB 3 50 50	B		
									ACP-7	空調機	4.43	3 200	1	ELB 3 50 30	B		

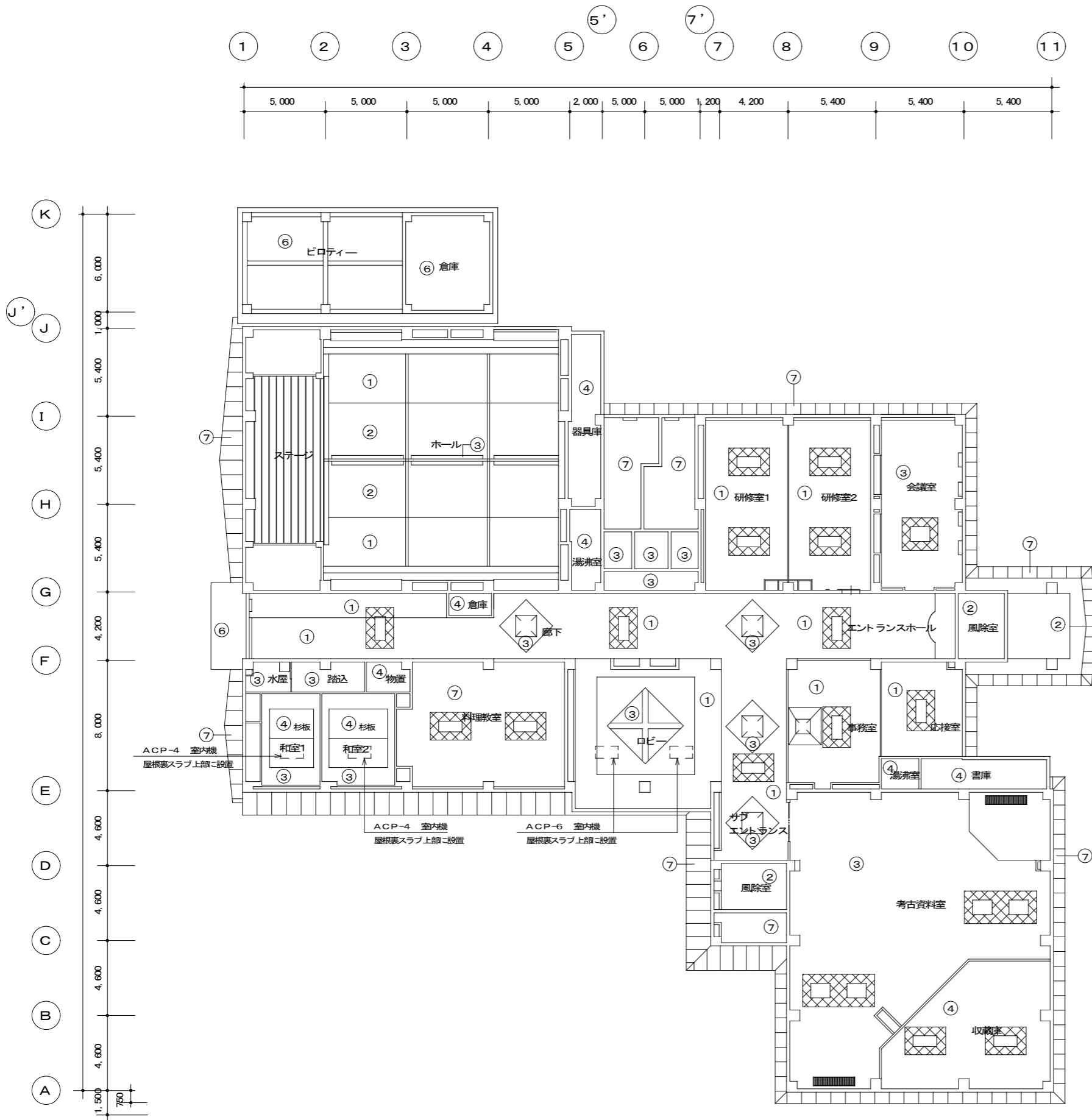
盤名称		主幹		負荷													
記号	総容量(kW)	幹線No.	幹線サイズ	配線用遮断器	電圧計	表示灯	結線図	負荷記号	負荷名称	容量kW	電気方式 相数 電圧	台数	配線用遮断器 種別 極数 AF AT	保護 リレー	展開図 結線図 制御図	コンデンサ備考 (μF)	
P-10 SUS WP	40.7	10 P	既設 100°	◎				ACP-10	空調機	18.8	3 200	1	ELB 3 225 125	B			
								ACP-10	空調機	18.8	3 200	1	ELB 3 225 125	B			
								L-10 送り		8.1	3 200	1	MCB 3 50 50	A			
P-11 SUS WP	30.61	11 P	既設 60°	◎				ACP-8	空調機	22.48	3 200	1	ELB 3 225 125	B			
								ACP-9	空調機	8.13	3 200	1	ELB 3 50 50	B			
P-20 SUS WP	42.54	20 P	既設 100°	◎				ACP-1	空調機	11.02	3 200	1	ELB 3 100 75	B			
								ACP-4	空調機	4.55	3 200	1	ELB 3 50 30	B			
								ACP-4	空調機	4.55	3 200	1	ELB 3 50 30	B			
								ACP-3	空調機	11.2	3 200	1	ELB 3 100 75	B			
								ACP-5	空調機	11.2	3 200	1	ELB 3 100 75	B			
	50.76	21 P	既設 100°	◎					ACP-6	空調機	4.55	3 200	1	ELB 3 50 30	B		
									ACP-5	空調機	11.2	3 200	1	ELB 3 100 75	B		
									ACP-2	空調機	18.37	3 200	1	ELB 3 225 125	B		
									ACP-3	空調機	11.2	3 200	1	ELB 3 100 75	B		
									ACP-7	空調機	5.44	3 200	1	ELB 3 50 30	B		





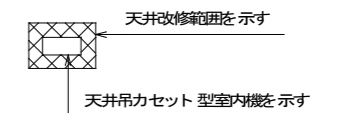


可 見 市 役 所			
工事名	川合地区センター空調・屋根防水他改修工事		
種 別	1階平面、屋根伏図(計装)	図面番号	17
縮 尺	1/200	作製年月日	平成 年 月 日
印			
(株) 岐阜建築設備計画			



記号	天井仕上
①	PB下地 t=9.5岩綿吸音板貼
②	PB下地 t=9.5岩綿吸音板貼 キューブ
③	PB下地 t=9.5ビニルクロス貼
④	化粧石膏ボード貼 t=9.5
⑤	硬質木毛セメント板(リブ)t=14AEP吹付
⑥	合板型枠打放し 屋内用吹付け仕上
⑦	珪酸カルシウム板 t=6目スカシ貼
⑧	フッ素鋼板/パネル

凡例



空調・換気設備機器更新ともなう既設天井取付器具の取外し再取付は下記による。

会議室		
照明器具: 埋込形 FPL96Wx4		2個
照明器具: 非常照明埋込形 J13W		2個
スピーカー: 天井埋込形		1個
火災感知器(ホッ、定温)		1個
吹出口: CL#5 1,500L		3個
吸込口: HS-1,500x300		1個

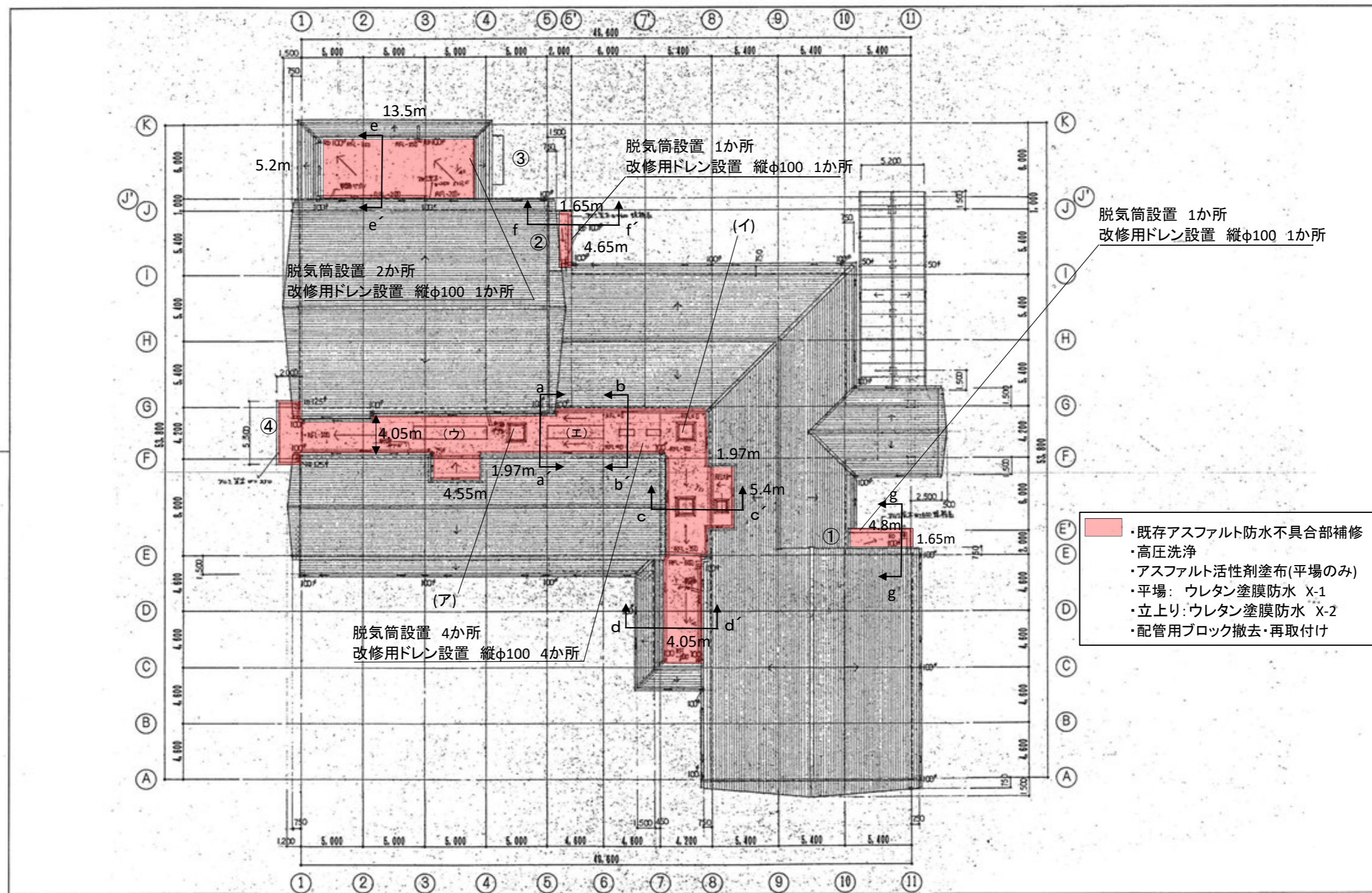
考古資料室		
照明器具: ダウンライト FPL27W		27個
照明器具: 非常照明埋込形 J13W		3個
スピーカー: 天井埋込形		2個
火災感知器(ホッ、定温)		4個
吹出口: VHS-600x200		11個
吹出口: VHS-600x300		1個
吸込口: HS-300x300		2個
アルミルーバー: 2,500x500		2個

可児市役所

工事名	川合地区センター空調・屋根防水他改修工事		
種別	天井伏図	図面番号	18
縮尺	1/200	作製年月日	平成 年 月 日

印

(株) 岐阜建築設備計画

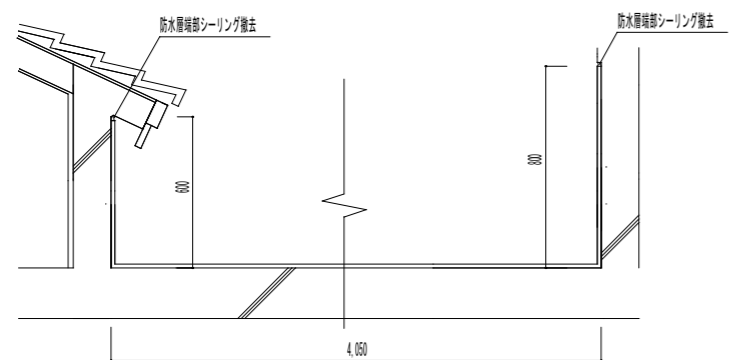


可児市役所  
建設部施設住宅課

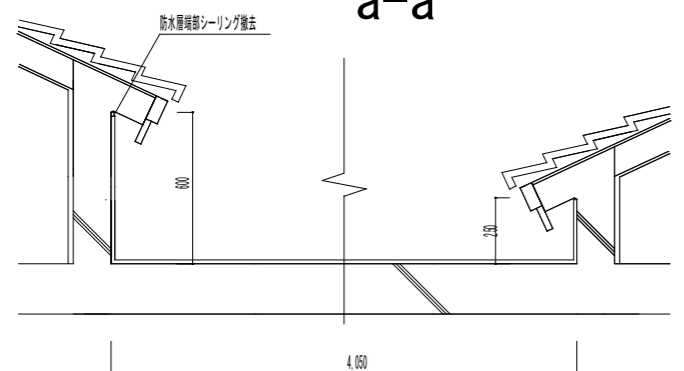
工事名称 川合地区センター空調・屋根防水他改修工事  
図面名 屋根伏せ図(防水改修)

図面番号

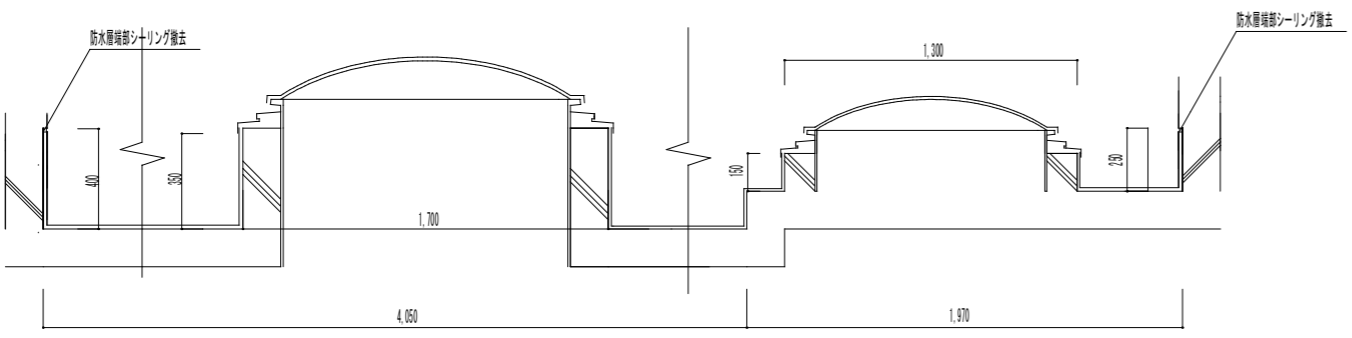
19



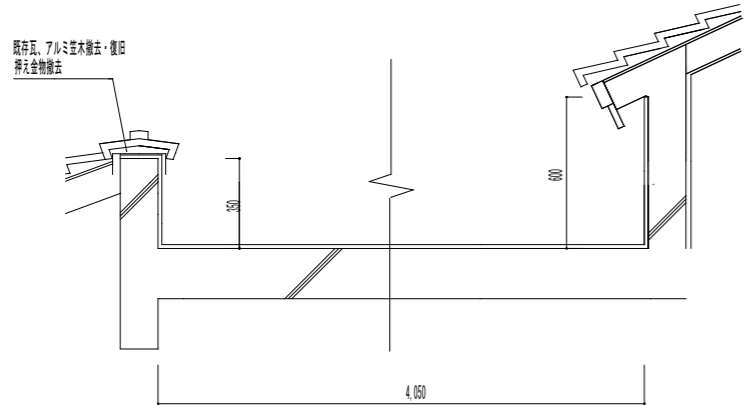
a-a'



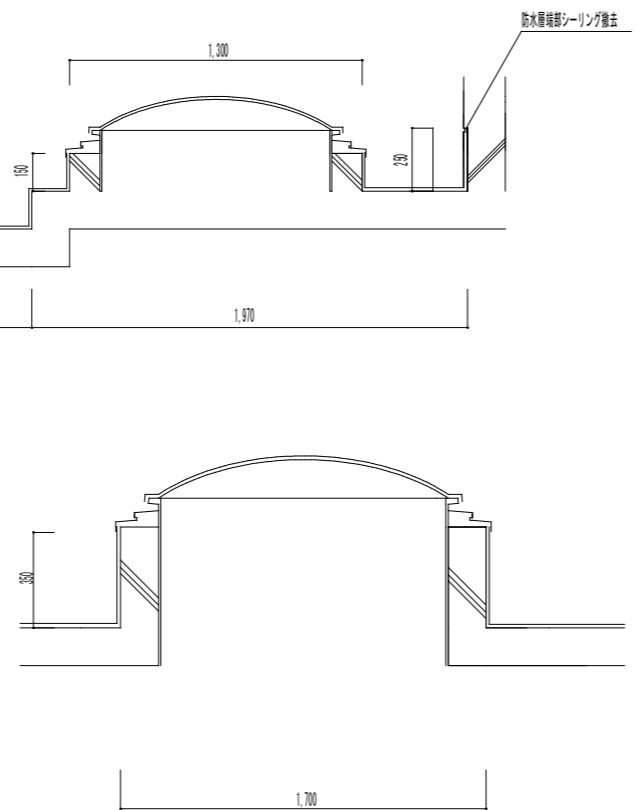
b-b'



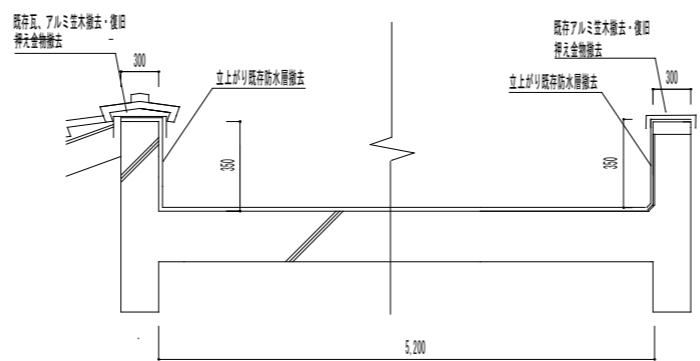
c-c'



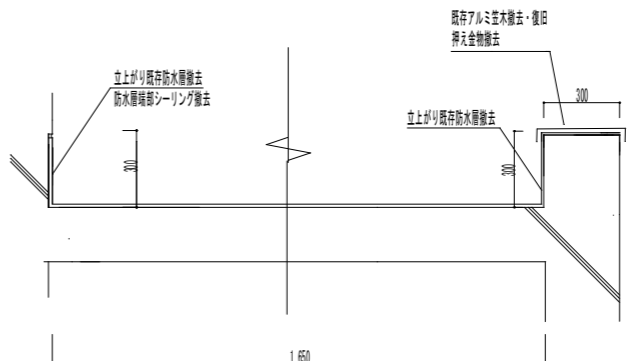
d-d'



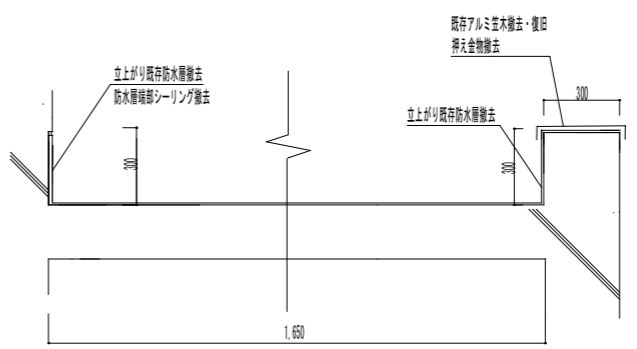
(ア)、(イ)



e-e'

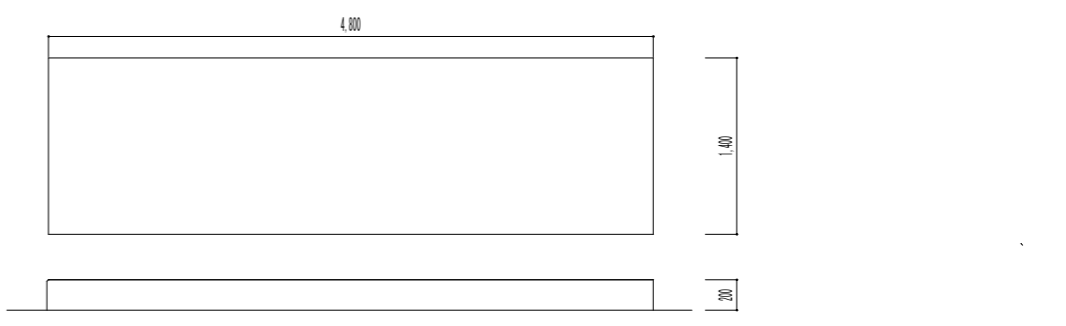


f-f'

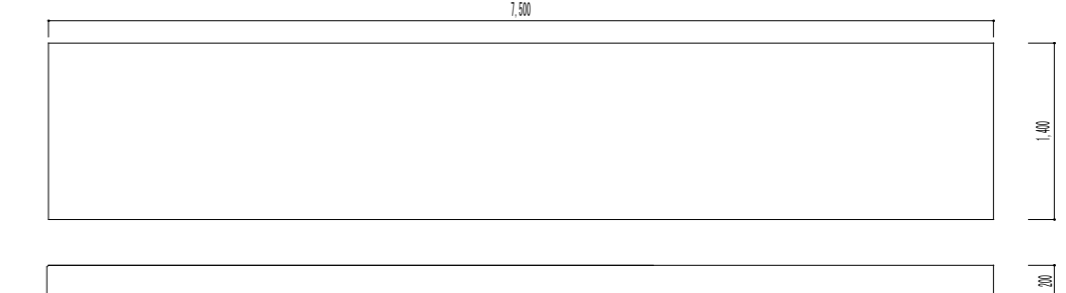


g-g'

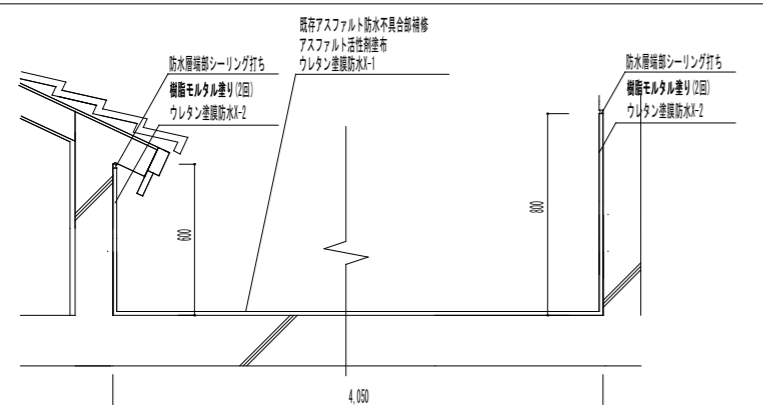
(ウ)



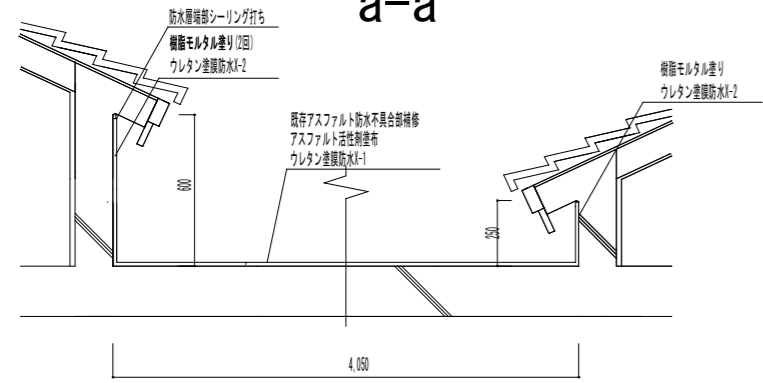
(エ)



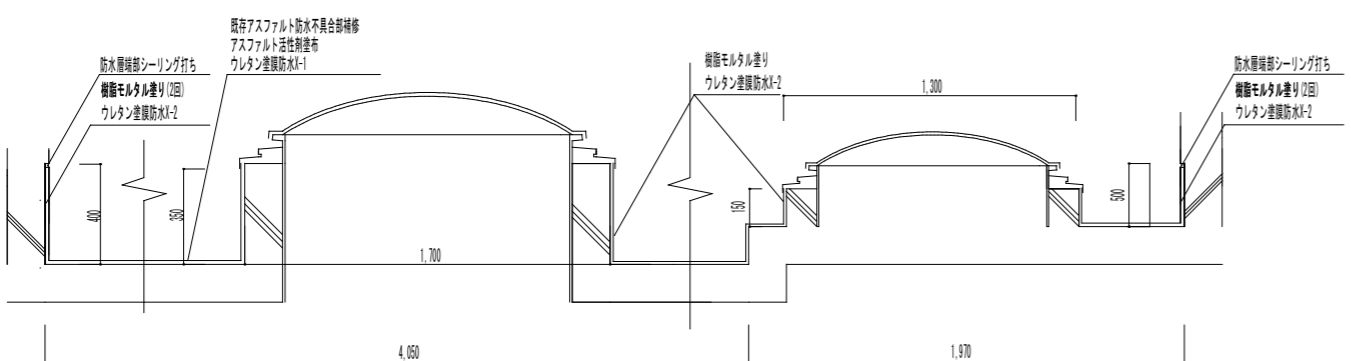
年月日	工事名称	図面番号
縮尺	川合地区センター空調・屋根防水他改修工事	20
1/30、60	図面名	現況屋上断面図、設備基礎



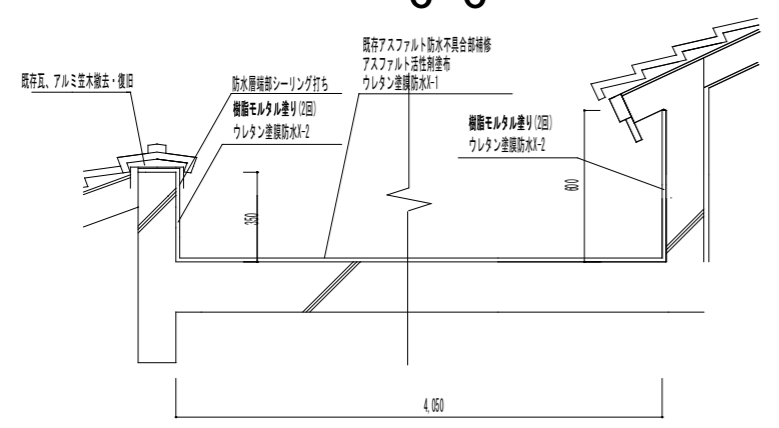
a-a'



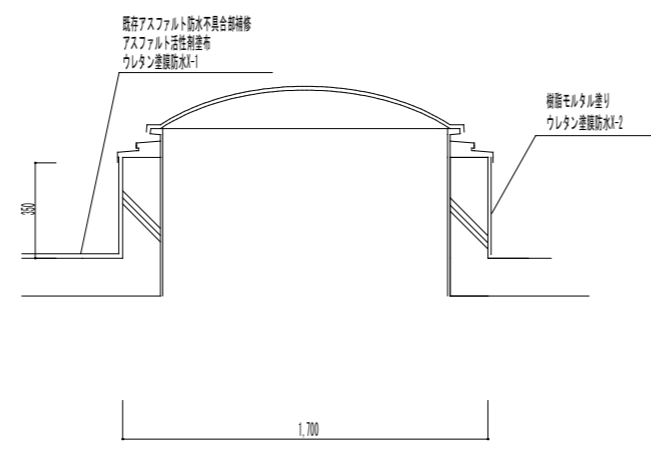
b-b'



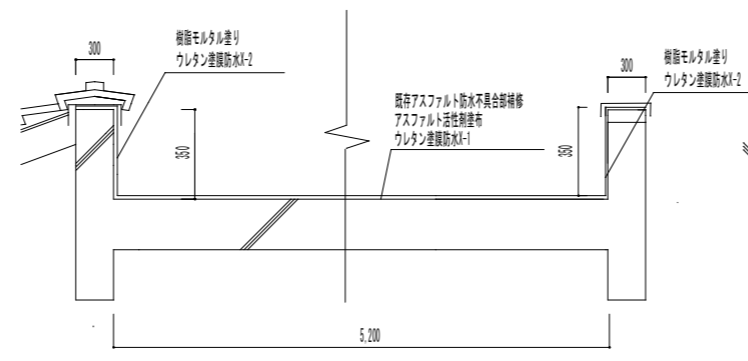
c-c'



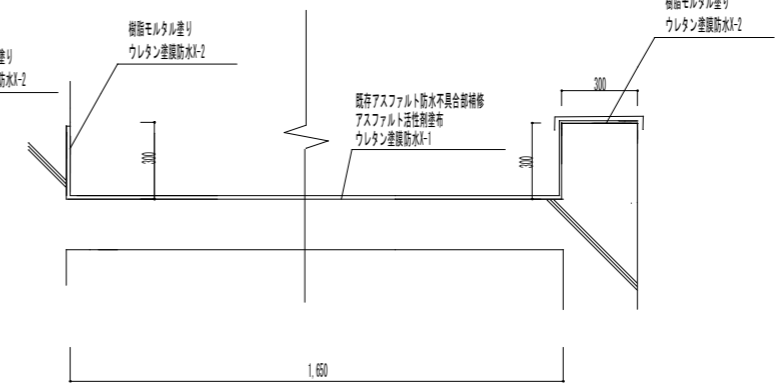
d-d'



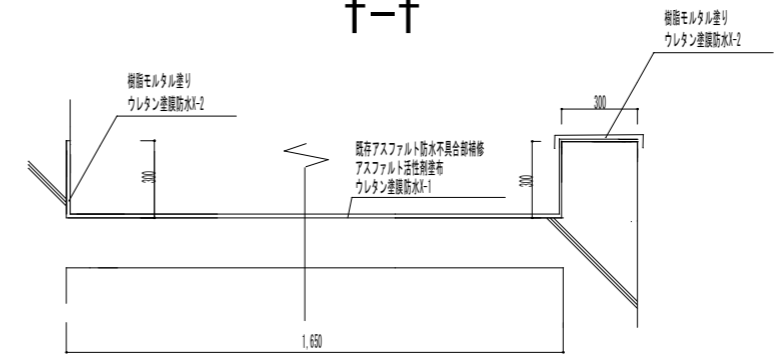
(ア)、(イ)



e-e'

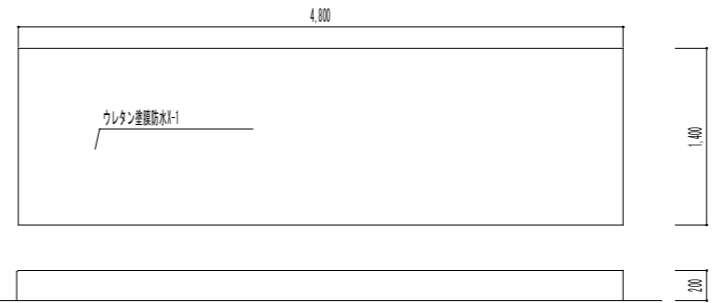


f-f'

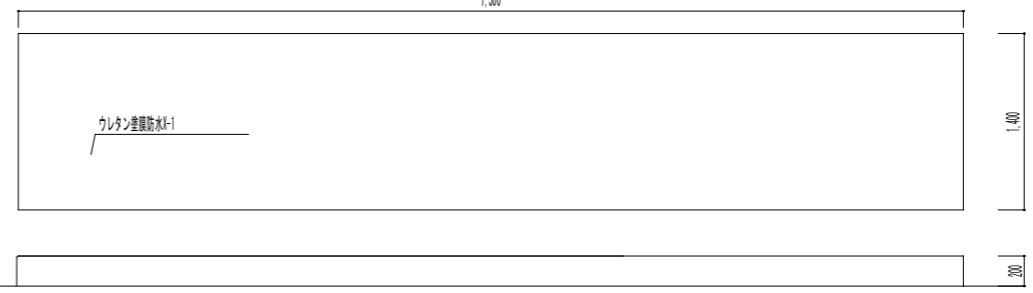


g-g'

(ウ)

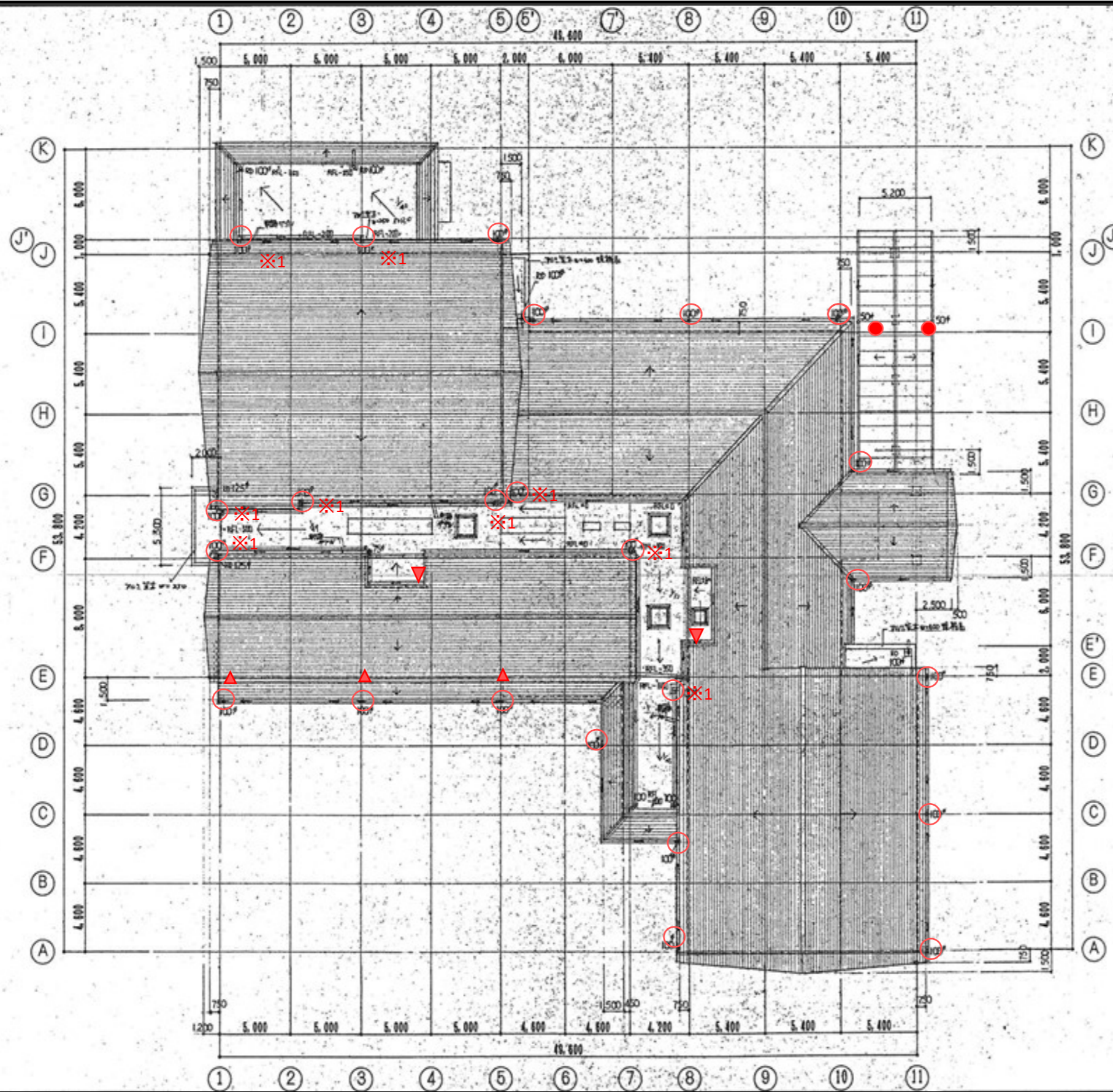


(エ)



				年月日	工事名称	図面番号
				縮尺	図面名	
				1/30、60	川合地区センター空調・屋根防水他改修工事 改修屋上断面図、設備基礎	21





凡例	
○	落口(塩ビ100φ)、竖樋一部(エルボ・竖ソケット含む)(SUS105φ)取付
○※1	落口(塩ビ100φ)、竖樋一部(エルボ含む)(VU100φ)取付
●	落口(塩ビ75φ)、竖樋一部(エルボ・竖ソケット含む)(SUS80φ)取付
▼	落口(塩ビ75φ)、竖樋一部(エルボ含む)(VU75φ)
▲	落口(塩ビ75φ)、竖樋(エルボ・スライドエルボ含む)(VU75φ)、竖金物取付

<b>可児市役所</b> 建設部施設住宅課	工事名称 川合地区センター空調・屋根防水他改修工事	図面番号 <b>22</b>
	図面名 屋根伏せ図(屋根改修)	



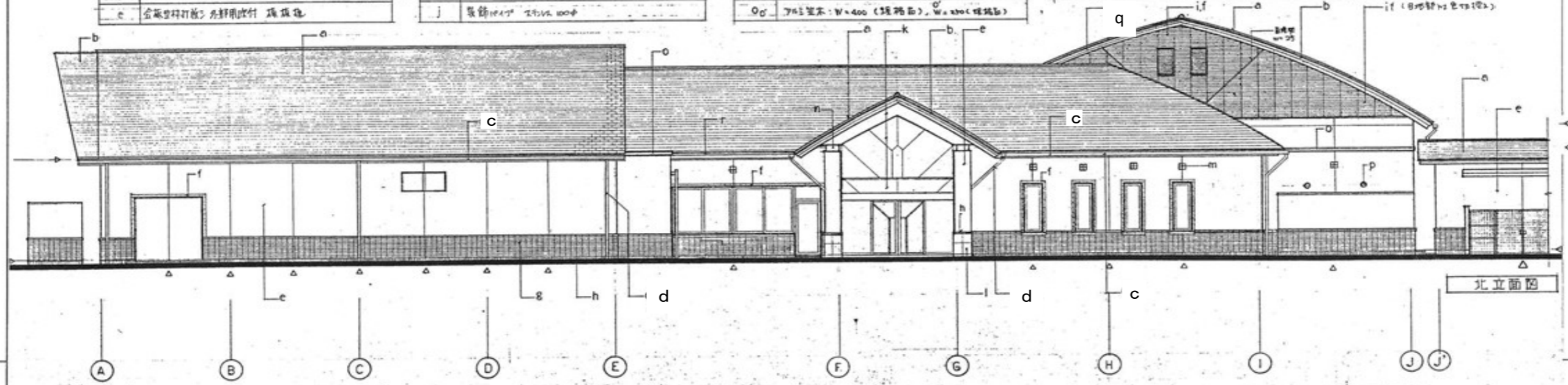
既設仕上表

a	屋根：平瓦葺き 下地 瓦葺き 270×450mm 角切付 100φ
b	軒金：鋳鉄製 角切付 100φ
c	軒板：破風板付 木製 130×40 2段
d	壁脚：スチール管（縦向き）100φ×10φ（角切付 100φ）
e	金葉：鋳鉄製 角切付 100φ

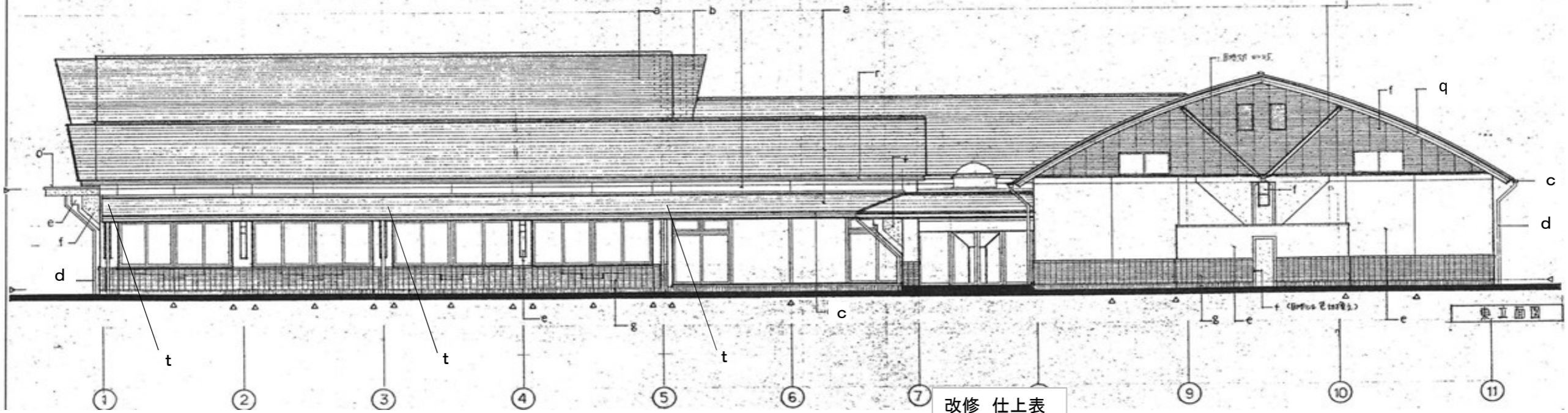
f	金葉：鋳鉄製 角切付 100φ
g	破風板：木製 130×40 2段
h	柱脚：スチール管（縦向き）100φ×10φ
i	柱脚：スチール管（縦向き）100φ×10φ
j	金葉：鋳鉄製 角切付 100φ

k	スチール金葉 100φ
l	破風板：木製 130×40 2段
m	柱脚：スチール管（縦向き）100φ×10φ
n	柱脚：スチール管（縦向き）100φ×10φ
o	柱脚：スチール管（縦向き）100φ×10φ

p	破風板：木製 130×40 2段
q	破風板：木製 130×40 2段
r	破風板
s	



北立面図



東立面図

改修仕上表

c	軒板(前高130角、曲がり)軒金物(@800SUS)取換え 既設破風板(木製130×40 2段)の上に鋼板(t0.4)、角納め取付け
d	落口75~100φ(塩ビ)、壁脚一部(SUS80~105φ)取付け ※屋上壁脚は、VU75~100φ
q	既設破風板(木製130×40 2段)の上に鋼板t0.4取付け
t	落口75φ(塩ビ)、壁脚(VU75φ)、壁金物取付け
	※壁脚は軒板より1.0m程度下を撤去・新設とする。(VU75φを除く)
	※上記取付けによる既設材は、撤去・処分とする。

可見市役所

建設部施設住宅課

工事名称

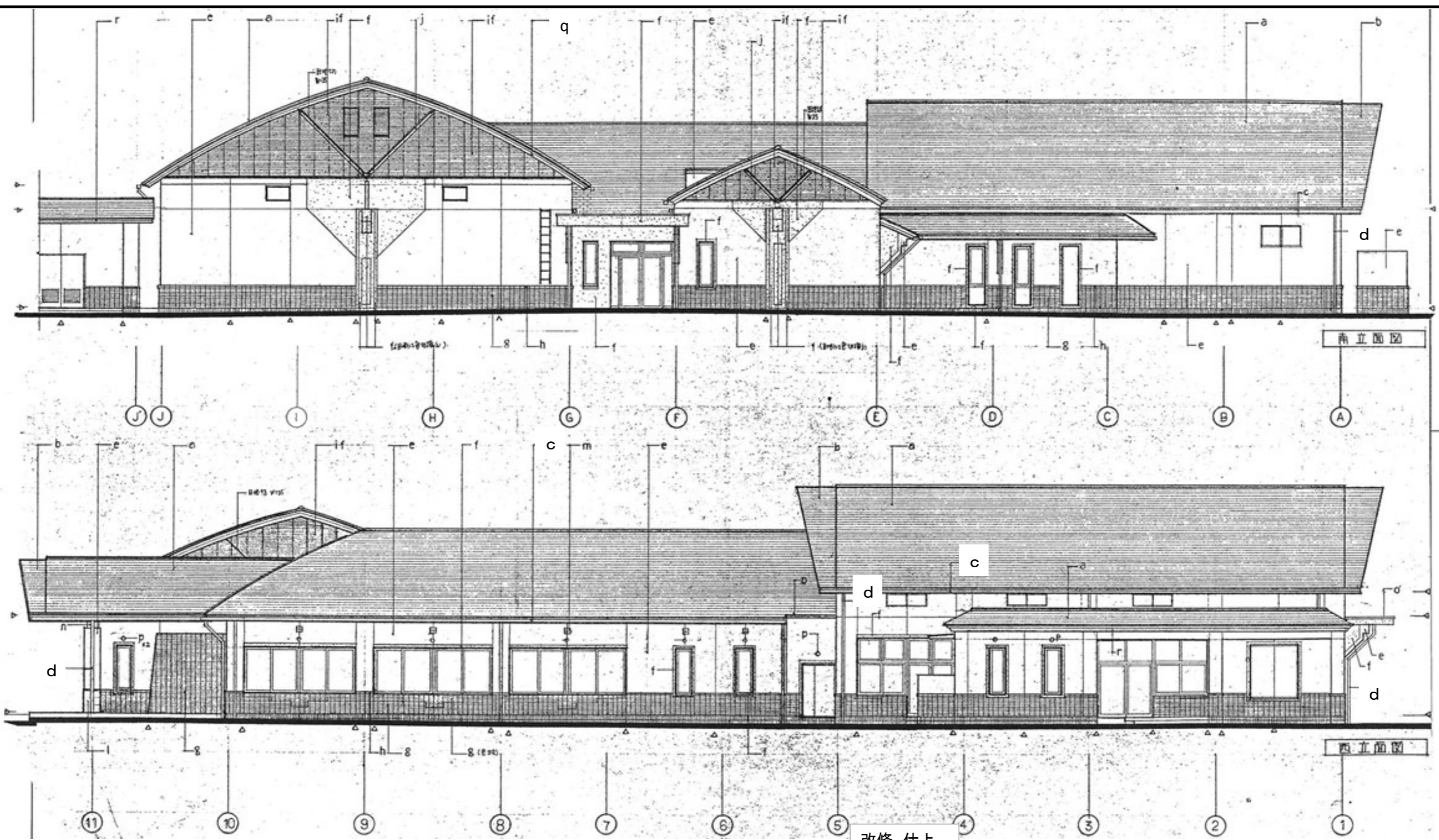
川合地区センター空調・屋根防水他改修工事

図面名

北・東立面図

図面番号

23



改修 仕上

c	軒樋(前高130角、曲がり)軒金物(@800SUS)取換え 既設破風板(木製130×40 2段)の上に鋼板(t0.4)、角納め取付け
d	落口75~100φ(塩ビ)、豎樋一部(SUS80~105φ)取付け ※屋上豎樋は、VU75~100φ
q	既設破風板(木製130×40 2段)の上に鋼板t0.4取付け
	※豎樋は軒樋より1.0m程度下を撤去・新設とする。(VU75φを除く)
	※上記取付けによる既設材は、撤去・処分とする。

<b>可児市役所</b> 建設部施設住宅課	工事名称 川合地区センター空調・屋根防水他改修工事	図面番号 <b>24</b>
	図面名 南・西立面図	